



宮崎労働局長 記者発表項目一覧

令和4年3月4日（金）

記者発表項目

- ① 一般職業紹介状況≪令和4年1月分≫（3月4日発表）
- ② 宮崎労働局における雇用調整助成金の支給決定状況について
- ③ 令和3年度 新規学校卒業予定者の求職・求人等の状況（1月末）
- ④ えるぼし認定通知書交付式を開催します
- ⑤ 建設アスベスト給付金制度が創設されました
- ⑥ 2022年度労働基準監督官試験について
- ⑦ 宮崎労働局・労働基準監督署・公共職業安定所主要行事予定（令和4年3月）
- ⑧ 宮崎労働局広報紙「GOGO!宮崎労働局」（第60号）

担当窓口

宮崎労働局 雇用環境・均等室 企画・調整係 飯村

宮崎市橘通東3-1-22 宮崎合同庁舎4階

TEL:0985-38-8821 FAX:0985-38-5028

宮崎労働局発表
令和4年3月4日解禁

【照会先】

宮崎労働局職業安定部
部長 小川 和人
職業安定課長 早瀬 幸則
地方労働市場情報官 中山 智子
(代表電話)0985(38)8823

報道関係者 各位

一般職業紹介状況(令和4年1月分)

令和4年1月の有効求人倍率(受理地別・季節調整値)は、**1.38倍**と前月より**0.01ポイント**上昇。
有効求人倍率は、79ヶ月連続で1倍台を維持。

正社員有効求人倍率(原数値)は、**1.11倍**と前年同月より**0.13ポイント**上昇。

雇用失業情勢は、求人が緩やかに持ち直すなか就職環境に明るさがみられるが、新型コロナウイルス感染症が雇用と与える影響に十分注意する必要がある。

- ・令和4年1月の【有効求人倍率】(季節調整値)は、前月より0.01ポイント上昇。
- ・【有効求職者数】は、前月比(季節調整値)で1.4%増、前年同月比(原数値)で1.2%減(7ヶ月連続)。
- ・【有効求人数】は、前月比(季節調整値)で2.3%増、前年同月比(原数値)で13.2%増(13ヶ月連続)。
- ・【新規求職者数】は、前年同月比(原数値)6.1%増、【新規求人数】は、前年同月比(原数値)12.0%増となった。

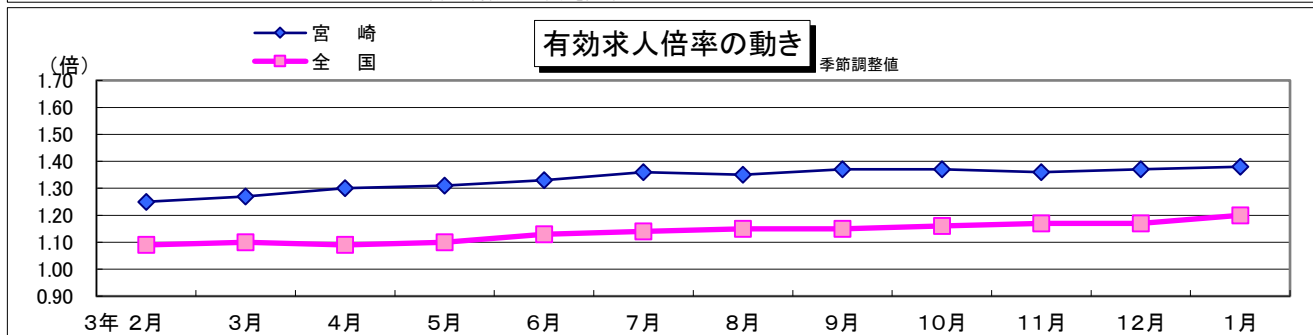
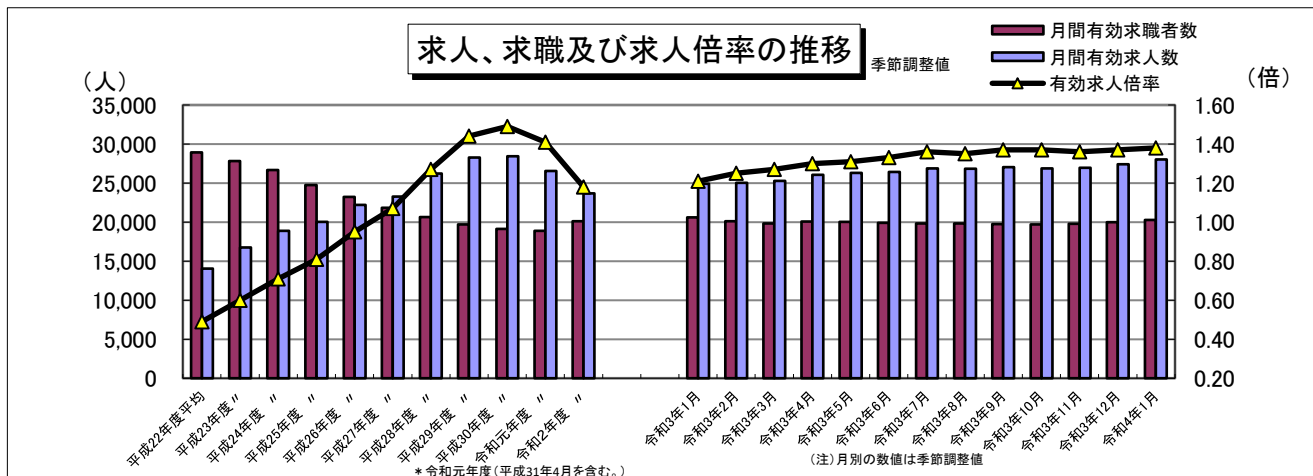
本県の労働市場における有効求人倍率(季節調整値)は、有効求職者数(同)が前月比1.4%増加し、有効求人数(同)は前月比2.3%増加したことから、前月より0.01ポイント上回り1.38倍となった。

新規求職者数(原数値)は、前年同月比で6.1%(280人)増加となった。なお、有効求職者数(原数値)は、前年同月比1.2%(236人)減少し7ヶ月連続で減少となっている。

新規常用求職者(パートを除く)を求職時の態様別にみると、前年同月比で在職者が8.6%(100人)増、離職者が3.8%(67人)減、無業者が10.9%(16人)増となった。なお、離職者のうち、事業主都合離職者は25.1%(94人)減となっている。

一方、新規求人数(原数値)は、前年同月比で12.0%(1,208人)増加となった。また、有効求人数(原数値)は、前年同月比で13.2%(3,338人)の増加で13ヶ月連続となっている。

新規求人数を産業別にみると、前年同月比で18産業中11産業で増加となった。内訳としては、製造業で256人(28.4%)増、医療、福祉で255人(8.3%)増等となる一方、公務、その他で33人(6.7%)減、複合サービス事業で24人(16.7%)減等(18産業中7産業で減少)となったことから、全体で1,208人(12.0%)の増加となった。



有効求人倍率(季節調整値、倍)

	令和3年												令和4年
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
宮崎	1.25	1.27	1.30	1.31	1.33	1.36	1.35	1.37	1.37	1.36	1.37	1.38	
全国	1.09	1.10	1.09	1.10	1.13	1.14	1.15	1.15	1.16	1.17	1.17	1.20	

○季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、令和3年12月以前の数値は、令和4年1月分公表時に新季節指数により改訂されている。

(注1)本公表資料における有効求人倍率、有効求人数、新規求人数は、宮崎労働局管内のハローワークが受理した求人数(受理地別求人数)により算出したものである。
(注2)ハローワークインターネットサービスの機能拡充に伴い、令和3年9月以降の数値には、ハローワークに来所せず、オンライン上で求職登録した求職者数や、求職者がハローワークインターネットサービスの求人に直接応募した就職件数等が含まれている。

1. 新規求職の動き<季節調整値>

<数値の対比は前月比>

○【新規求職者数】(季節調整値)は、4,574人で2.3%(105人)増加となった。

新規求職(パートを含む、人)

	令和3年												令和4年
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
新規求職数	4,275	4,309	4,459	4,299	4,390	4,448	4,527	4,376	4,446	4,490	4,469	4,574	
前月比	-0.9%	0.8%	3.5%	-3.6%	2.1%	1.3%	1.8%	-3.3%	1.6%	1.0%	-0.5%	2.3%	

* 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、令和3年12月以前の数値は、令和4年1月分公表時に新季節指数により改訂されている。

2. 新規求人の動き<季節調整値>

<数値の対比は前月比>

○【新規求人数】(季節調整値)は、10,236人で1.5%(151人)減少となった。

新規求人(パートを含む、人)

	令和3年												令和4年
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
新規求人	8,924	8,982	9,190	9,427	9,451	9,708	9,789	9,588	9,709	9,570	10,387	10,236	
前月比	-2.7%	0.6%	2.3%	2.6%	0.3%	2.7%	0.8%	-2.1%	1.3%	-1.4%	8.5%	-1.5%	

* 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、令和3年12月以前の数値は、令和4年1月分公表時に新季節指数により改訂されている。

3. 職業紹介状況について(パートを含む)<原数値>

<数値の対比は前年同月比>

○【職業紹介状況】は、紹介件数が28件(0.7%)減の4,198件となり、就職件数は98件(7.1%)増の1,470件となった。就職率(対新規求職者)は、0.3ポイント上回って30.1%となった。

就職(パートを含む、件)

	令和2年												令和3年
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
就職件数	1,671	2,339	1,811	1,568	1,837	1,644	1,479	1,677	1,808	1,470	1,382	1,372	
	令和3年												令和4年
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
	1,712	2,349	2,054	1,723	1,889	1,663	1,557	1,736	1,684	1,603	1,319	1,470	
対前年同月比	2.5%	0.4%	13.4%	9.9%	2.8%	1.2%	5.3%	3.5%	-6.9%	9.0%	-4.6%	7.1%	

	令和2年												令和3年
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
就職率	37.5%	47.8%	29.1%	35.7%	40.5%	38.9%	37.7%	41.0%	42.3%	41.0%	45.1%	29.8%	
	令和3年												令和4年
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
	39.0%	47.2%	32.9%	39.8%	43.3%	39.4%	36.3%	40.8%	39.0%	41.4%	41.0%	30.1%	

4. 正社員有効求人倍率の動き<原数値>

○【正社員有効求人倍率】(原数値)は、1.11倍となり、前年同月で0.13ポイント上昇。
(正社員有効求人数 13,014人 常用フルタイム有効求職者数11,754人)

(注)ハローワークインターネットサービスの機能拡充に伴う令和3年9月以降の数値の取扱いについては、1頁の(注2)を参照

次回公表予定日 令和4年3月29(火)

別表1 職業紹介状況(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	令和4年1月	令和3年12月	対前月 増減率(差) (%)	令和3年1月	対前年同月 増減率(差) (%)
1 月間有効求職者数(人)	19,016	18,181	—	19,252	▲1.2
季節調整値	* 20,279	* 20,007	1.4	20,588	▲1.5
2 新規求職申込件数(件)	4,882	3,214	—	4,602	6.1
3 月間有効求人数(人)	28,644	27,464	—	25,306	13.2
季節調整値	* 28,038	* 27,414	2.3	24,907	12.6
4 新規求人数(人)	11,260	9,504	—	10,052	12.0
5 紹介件数(件)	4,198	3,179	\	4,226	▲0.7
6 就職件数(件)	1,470	1,319		1,372	7.1
7 就職率(6/2)(%)	30.1	41.0		29.8	0.3
8 充足数(件)	1,436	1,301		1,365	5.2
9 充足率(8/4)(%)	12.8	13.7		13.6	▲0.8

* 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、令和3年12月以前の数値は、令和4年1月分公表時に新季節指数により改訂されている。

別表2 有効求人倍率(季節調整値、倍)

	令和4年1月	令和3年12月	前月差 (ポイント)	令和3年1月
宮崎県	1.38	1.37	0.01	1.21
全国	1.20	1.17	0.03	1.08

別表3 雇用保険一般受給者実人員の推移(基本手当基本分、人)

※令和元年度(平成31年4月を含む。)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和元年度	3,579	4,141	4,034	4,566	4,635	4,596	4,458	4,098	3,935	3,922	3,670	3,726
令和2年度	3,594	4,053	4,652	5,013	5,252	5,222	4,939	4,532	4,383	4,235	4,137	4,297
令和3年度	4,223	4,275	4,836	4,921	5,054	4,802	4,461	4,446	4,189	4,014		

(受給者実人員＝失業給付を実際に受けた受給資格者の実数をいう)

別表4 安定所別有効求人倍率(原数値、倍)

	令和4年1月	令和3年12月	令和3年1月	前年同月差 (ポイント)
宮崎	1.47	1.44	1.30	0.17
延岡	1.36	1.43	1.10	0.26
日向	1.38	1.47	1.16	0.22
都城	1.84	1.87	1.67	0.17
日南	1.17	1.08	1.05	0.12
高鍋	1.46	1.53	1.25	0.21
小林	1.72	1.69	1.47	0.25
県計	1.51	1.51	1.31	0.20

(注)ハローワークインターネットサービスの機能拡充に伴う令和3年9月以降の数値の取扱いについては、1頁の(注2)を参照

別表5 九州各県の有効求人倍率(季節調整値、倍)

	令和4年1月	令和3年12月	前月差 (ポイント)	令和3年1月
福岡	1.11	1.08	0.03	1.02
佐賀	1.27	1.28	▲0.01	1.08
長崎	1.16	1.14	0.02	0.98
熊本	1.37	1.35	0.02	1.18
大分	1.29	1.22	0.07	1.07
宮崎	1.38	1.37	0.01	1.21
鹿児島	1.33	1.33	0.00	1.12
沖縄	0.78	0.76	0.02	0.71

* 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、令和3年12月以前の数値は、令和4年1月分公表時に新季節指数により改訂されている。

別表6 パートタイム職業紹介状況

	令和4年1月	令和3年12月	令和3年1月	前年同月 増減率・差 (%)
1 月間有効求職者数(人)	7,229	6,933	7,315	▲1.2
2 新規求職申込件数(件)	1,735	1,071	1,508	15.1
3 月間有効求人数(人)	10,556	10,042	8,882	18.8
4 新規求人数(人)	4,385	3,455	3,761	16.6
5 紹介件数(件)	1,385	1,055	1,501	▲7.7
6 就職件数(件)	583	504	482	21.0
7 充足数(件)	575	502	484	18.8
8 充足率(%)	13.1%	14.5%	12.9%	0.2

別表7 新規常用求職者の求職時の態様別内訳(パートを除く)

県 計		24歳以下	25歳～34歳	35歳～44歳	45歳～54歳	55歳～64歳	65歳以上	合計
新規求職申込件数	令和4年1月	391	699	648	712	510	177	3,137
	令和3年1月	386	685	711	644	491	171	3,088
	前年比	1.3%	2.0%	▲8.9%	10.6%	3.9%	3.5%	1.6%
在職者	令和4年1月	139	307	301	311	167	44	1,269
	令和3年1月	130	295	298	264	158	24	1,169
	前年比	6.9%	4.1%	1.0%	17.8%	5.7%	83.3%	8.6%
離職者	令和4年1月	213	366	320	373	313	120	1,705
	令和3年1月	223	365	381	353	317	133	1,772
	前年比	▲4.5%	0.3%	▲16.0%	5.7%	▲1.3%	▲9.8%	▲3.8%
事業主都合	令和4年1月	16	34	45	81	72	32	280
	令和3年1月	22	57	83	92	83	37	374
	前年比	▲27.3%	▲40.4%	▲45.8%	▲12.0%	▲13.3%	▲13.5%	▲25.1%
自己都合	令和4年1月	195	327	267	276	202	81	1,348
	令和3年1月	195	305	288	250	208	72	1,318
	前年比	0.0%	7.2%	▲7.3%	10.4%	▲2.9%	12.5%	2.3%
無業者	令和4年1月	39	26	27	28	30	13	163
	令和3年1月	33	25	32	27	16	14	147
	前年比	18.2%	4.0%	▲15.6%	3.7%	87.5%	▲7.1%	10.9%

(注) ハローワークインターネットサービスの機能拡充に伴う令和3年9月以降の数値の取扱いについては、1頁の(注2)を参照

別表8 産業別・規模別新規求人状況(原数値)

項目	求人状況					
	令和4年1月	令和3年12月	令和3年1月	前年同 月比(%)	前年 同月差	
産業別・規模別						
A.B 農、林、漁業	276	266	292	▲5.5	▲16	
C 鉱業、採石業、砂利採取業	8	6	9	▲11.1	▲1	
D 建設業	867	685	739	17.3	128	
E 製造業	1,158	1,019	902	28.4	256	
食料品製造業	283	295	241	17.4	42	
飲料・たばこ・飼料製造業	41	25	69	▲40.6	▲28	
繊維工業	48	78	68	▲29.4	▲20	
木材・木製品製造業	99	95	67	47.8	32	
家具・装備品製造業	14	24	14	0.0	0	
パルプ・紙・紙加工品製造業	13	5	0	-	13	
印刷・同関連業	22	34	23	▲4.3	▲1	
化学工業	99	25	20	395.0	79	
石油製品・石炭製品製造業	0	0	0	-	0	
プラスチック製品製造業	58	45	49	18.4	9	
ゴム製品製造業	26	3	14	85.7	12	
窯業・土石製品製造業	20	33	22	▲9.1	▲2	
鉄鋼業	3	3	2	50.0	1	
非鉄金属製造業	0	1	0	-	0	
金属製品製造業	19	79	45	▲57.8	▲26	
はん用機械器具製造業	52	35	28	85.7	24	
生産用機械器具製造業	20	22	16	25.0	4	
業務用機械器具製造業	5	21	20	▲75.0	▲15	
電子部品・デバイス・電子回路製造業	167	52	132	26.5	35	
電気機械器具製造業	98	88	35	180.0	63	
情報通信機械器具製造業	2	13	2	0.0	0	
輸送用機械器具製造業	47	29	19	147.4	28	
その他の製造業	22	14	16	37.5	6	
F 電気・ガス・熱供給・水道業	3	4	8	▲62.5	▲5	
G 情報通信業	230	248	120	91.7	110	
H 運輸業、郵便業	590	309	522	13.0	68	
I 卸売業、小売業	1,119	869	995	12.5	124	
J 金融業、保険業	96	41	50	92.0	46	
K 不動産業、物品賃貸業	138	106	119	16.0	19	
L 学術研究、専門・技術サービス業	235	161	243	▲3.3	▲8	
M 宿泊業、飲食サービス業	619	515	382	62.0	237	
宿泊業	167	128	60	178.3	107	
N 生活関連サービス業、娯楽業	279	243	247	13.0	32	
O 教育、学習支援業	219	144	193	13.5	26	
P 医療、福祉	3,318	2,934	3,063	8.3	255	
Q 複合サービス事業	120	99	144	▲16.7	▲24	
R サービス業(他に分類されないもの)	1,527	1,580	1,533	▲0.4	▲6	
S.T 公務、その他	458	275	491	▲6.7	▲33	
合計	11,260	9,504	10,052	12.0	1,208	
規模別	29人以下	6,873	6,149	6,126	12.2	747
	30～99人	2,716	2,193	2,414	12.5	302
	100～299人	1,094	837	974	12.3	120
	300～499人	190	122	280	▲32.1	▲90
	500～999人	338	136	220	53.6	118
	1,000人以上	49	67	38	28.9	11

産業分類は、平成25年10月改定の「日本標準産業分類」に基づく。

(参考) 季節調整替えによる改定の結果

	有効求人倍率		
	改訂後	改訂前	改訂幅
令和3年1月	1.21	1.21	0.00
2月	1.25	1.25	0.00
3月	1.27	1.27	0.00
4月	1.30	1.30	0.00
5月	1.31	1.34	▲ 0.03
6月	1.33	1.33	0.00
7月	1.36	1.37	▲ 0.01
8月	1.35	1.37	▲ 0.02
9月	1.37	1.36	0.01
10月	1.37	1.36	0.01
11月	1.36	1.33	0.03
12月	1.37	1.35	0.02

正社員の有効求人倍率（原数値）の推移

○ 正社員有効求人倍率は、1.11倍と前年同月比0.13ポイント上昇。

(倍)

	平成 16年	平成 17年	平成 18年	平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年
1月		0.45	0.43	0.46	0.40	0.28	0.25	0.34	0.39	0.42	0.51	0.59	0.68	0.82	0.98	1.05	1.03	0.98	1.11
2月		0.43	0.44	0.47	0.40	0.26	0.24	0.35	0.38	0.42	0.51	0.58	0.69	0.81	0.97	1.05	0.99	0.99	
3月		0.41	0.43	0.43	0.38	0.24	0.24	0.33	0.37	0.41	0.50	0.57	0.67	0.77	0.93	1.01	0.92	0.98	
4月		0.36	0.39	0.38	0.33	0.21	0.22	0.30	0.34	0.37	0.46	0.53	0.64	0.74	0.90	0.98	0.86	0.95	
5月		0.32	0.39	0.35	0.32	0.19	0.21	0.29	0.34	0.36	0.46	0.52	0.65	0.75	0.90	0.97	0.82	0.96	
6月		0.30	0.38	0.35	0.29	0.18	0.21	0.30	0.34	0.38	0.48	0.52	0.67	0.77	0.95	1.00	0.84	0.98	
7月		0.31	0.38	0.35	0.30	0.19	0.22	0.31	0.35	0.40	0.49	0.55	0.67	0.79	0.96	0.99	0.84	1.00	
8月		0.32	0.41	0.37	0.32	0.19	0.24	0.33	0.37	0.43	0.51	0.59	0.71	0.82	0.96	0.98	0.85	1.00	
9月		0.34	0.41	0.38	0.32	0.20	0.26	0.33	0.38	0.45	0.53	0.61	0.73	0.85	0.97	1.01	0.87	1.02	
10月		0.36	0.41	0.39	0.31	0.21	0.27	0.33	0.39	0.46	0.54	0.63	0.76	0.87	0.99	1.04	0.89	1.05	
11月	0.43	0.39	0.44	0.39	0.31	0.21	0.29	0.35	0.40	0.47	0.58	0.66	0.77	0.90	1.01	1.07	0.94	1.08	
12月	0.44	0.41	0.45	0.41	0.30	0.23	0.33	0.37	0.42	0.50	0.59	0.68	0.81	0.94	1.06	1.10	0.99	1.12	

(資料出所) 宮崎労働局集計

※数値は原数値。

※正社員とは、パートタイムを除く常用のうち、勤め先で正社員・正職員などと呼称される正規労働者をいう。

※正社員有効求人倍率＝正社員有効求人数／常用フルタイム有効求職者数。なお、常用フルタイム有効求職者にはフルタイムの派遣労働者や契約社員を希望する者も含まれるため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

※令和元年は、平成31年1月～4月を含む。

※ハローワークインターネットサービスの機能拡充に伴い、令和3年9月以降の数値には、ハローワークに来所せず、オンライン上で「求職者マイページ」を開設した求職者数が含まれている。

就業地別の求人数を用いた有効求人倍率（季節調整値）（令和4年1月）

「就業地別の求人数を用いた有効求人倍率」とは

→実際に就業する都道府県を求人地として集計した有効求人倍率。なお、通常発表している都道府県別の有効求人倍率は、求人を受理した場所を求人地として集計している。

- 本社が多く所在する地域では、受理地別の有効求人倍率より「就業地別の求人数を用いた有効求人倍率」が低い傾向がある。
- 宮崎県の「就業地別の求人数を用いた有効求人倍率」は1.48倍で受理地別の有効求人倍率(1.38倍)より0.10ポイント高い。

		① 有効求職者数	② 有効求人数	③ 就業地別 有効求人数	④ 有効求人倍率 ②/①	⑤ 就業地別 有効求人倍率 ③/①	⑥差 ⑤-④
令和3年	1月	20,588	24,907	26,516	1.21	1.29	0.08
	2月	20,103	25,041	26,578	1.25	1.32	0.07
	3月	19,839	25,280	26,898	1.27	1.36	0.09
	4月	20,075	26,057	27,714	1.30	1.38	0.08
	5月	20,014	26,307	28,039	1.31	1.40	0.09
	6月	19,891	26,417	28,207	1.33	1.42	0.09
	7月	19,823	26,865	28,498	1.36	1.44	0.08
	8月	19,805	26,827	28,667	1.35	1.45	0.10
	9月	19,752	27,021	28,677	1.37	1.45	0.08
	10月	19,686	26,896	28,581	1.37	1.45	0.08
	11月	19,792	26,969	28,687	1.36	1.45	0.09
	12月	20,007	27,414	29,148	1.37	1.46	0.09
令和4年	1月	20,279	28,038	29,949	1.38	1.48	0.10

(資料出所) 宮崎労働局

- ※ 数値は季節調整値。季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、令和3年12月以前の数値は、令和4年1月分公表時に新季節指数により改訂されている。
- ※ 有効求職者数は求職を受理したハローワークが所在する都道府県単位で集計。
- ※ 季節求人については受理所を就業地とみなしている。
- ※ 1件の求人に複数の就業地があり、就業地毎の求人数が明確でない場合、それぞれの就業地に順番に求人数を割り当てて配分している。
- ※ ハローワークインターネットサービスの機能拡充に伴い、令和3年9月以降の数値には、ハローワークに来所せず、オンライン上で「求職者マイページ」を開設した求職者数が含まれている。



宮崎労働局発表
令和4年3月4日

【照会先】
宮崎労働局職業安定部
(担当)
部長 小川 和人
職業対策課長 田之上 睦子
(電話) 0985-38-8824

宮崎労働局における雇用調整助成金の支給決定状況について

～延べ約2万9千件の支給決定を行い、
雇用の維持を支援した労働者数が33万3000人（延べ）を超えました～

宮崎労働局（局長 田中大介）は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業主に対する雇用調整助成金の支給決定状況について、以下のとおり取りまとめましたのでご報告します。

< 雇用調整助成金の支給申請件数及び支給決定件数（2月18日現在（速報値）） >

- ・支給申請件数 ①：29,792件
- ・支給決定件数 ②：29,552件
- ・支給決定率 ②/①：99.2%
- ・休業対象労働者数（延べ人数）：333,509人

< 2週間前申請（令和4年1月31日～令和4年2月4日分）の処理状況 >

- ・支給決定を行ったものの平均処理日数（土日含む）：4.8日（2月18日現在（速報値））

< 雇用調整助成金の申請状況と雇用保険被保険者数の分析 >

① 雇用調整助成金の申請状況について

雇用調整助成金の申請件数は、令和3年1月の県独自の緊急事態宣言の影響により3月に申請件数のピークを迎えたが、感染者数の減少もあり、4月以降は1,300件程度で推移。

しかしながら、7月下旬より新型コロナウイルス感染症の再拡大が進み、令和3年8月に発令された「まん延防止等重点措置」及び「宮崎県独自の緊急事態宣言」の影響もあって、9月以降は申請件数が大きく増加した。その後、11月以降は再び感染者数が減少したこともあり、申請件数も減少傾向が続いている。今後は令和4年1月に再度適用された「まん延防止等重点措置」の影響が懸念される。

【令和3年1月から令和4年1月までの申請件数の動き】

R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8
1,259 (15.1)	1,590 (26.3)	2,060 (29.6)	1,368 (▲33.6)	1,361 (▲0.5)	1,376 (1.1)	1,395 (1.4)	1,403 (0.6)
R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1			
1,553 (10.7)	1,730 (11.4)	1,281 (▲26.0)	984 (▲23.2)	916 (▲6.9)			

(※) 括弧内は前月比増減率を示す。

② 雇用保険被保険者数（各月末）の推移（単位：人）

雇用保険被保険者数は、ほぼ一環して 30 万人前後で推移。

【令和 4 年 1 月までの雇用保険被保険者数の動き】

R2 (月平均)	R3. 4	R3. 5	R3. 6	R3. 7	R3. 8	R3. 9	R3. 10
301, 939 (0. 1)	299, 918 (0. 5)	302, 560 (0. 3)	303, 835 (0. 3)	303, 693 (0. 3)	303, 018 (0. 2)	303, 043 (0. 2)	302, 873 (0. 3)
R3. 11	R3. 12	R4. 1					
302, 938 (0. 3)	303, 123 (0. 1)	301, 869 (0. 0)					

(※) 括弧内は前年同月比増減率を示す。また雇用保険は 31 日以上の雇用見込みがあり、週所定労働時間が 20 時間以上である場合に加入が必要となる。

<雇用調整助成金とは>

- 雇用調整助成金とは、経済上の理由により事業活動の縮小を余儀なくされた事業主が、労働者に対して一時的に休業等を行い、労働者の雇用の維持を図った場合、事業主が労働者に支払った休業手当等の一部（一定の要件を満たす場合は全部）を助成する制度。
- 令和 2 年 4 月から適用されている新型コロナウイルス感染症に係る雇用調整助成金の特例措置については、5 月以降、段階的に縮小を行うという方針のもと、地域特例^(※1)と業況特例^(※2)については、令和 4 年 6 月末まで現在の助成内容を継続する。原則的な措置については、令和 4 年 6 月末まで現行の助成率の特例を継続しつつ、日額上限について令和 4 年 1 月と 2 月は 11, 000 円、3 月以降は 9, 000 円に段階的に見直す。また、令和 4 年 1 月から、令和 3 年 1 月 8 日以降の解雇等の有無で適用する助成率を判断する。

(※1) 緊急事態措置を実施すべき区域、まん延防止等重点措置を実施すべき区域（以下「重点措置区域」という）において知事による、新型インフルエンザ等対策特別措置法第 18 条に規定する基本的対処方針に沿った要請を受けて同法施行令第 11 条に定める施設における営業時間の短縮等に協力する事業主。

※重点措置区域については、知事が定める区域・業態に係る事業主が対象。

※各区域における緊急事態措置又は重点措置の実施期間の末日の属する月の翌月末まで適用。

(※2) 生産指標が最近 3 か月の月平均で前年又は前々年同期比 30%以上減少の全国の事業主。

なお、令和 3 年 12 月までに業況の確認を行っている事業主は、令和 4 年 1 月 1 日以降に判定基礎期間の初日を迎えるものについては、その段階で業況を再確認する。また、令和 4 年 4 月以降は毎月業況を確認する。



宮崎労働局発表
令和4年3月4日

【照会先】

宮崎労働局職業安定部
部 長 小川 和人
職業安定課長 早瀬 幸則
(電話) 0985-38-8823

令和3年度 新規学校卒業予定者の求職・求人等の状況（1月末） ～高校新卒者の就職内定者に占める県内内定者の割合は64.6%で 大学等新卒者は45.4%となり、ともに過去最高の水準に～

宮崎労働局（局長 田中 大介）では、令和4年3月に県内の学校を卒業する学生等の求職・求人等の状況を調査し、令和4年1月末の状況として取りまとめました。

宮崎労働局では、引き続き企業への積極的な求人開拓のほか、新規学卒者の就職支援の強化に努めてまいります。

【高校新卒者】（別紙1：令和4年1月末）

- 就職内定率は94.3%、前年比（95.2%）0.9ポイントの減
- 就職内定者に占める県内内定者の割合は64.6%、同（61.5%）3.1ポイントの増
（参考）令和3年3月末の県内内定者の割合62.7%
- 求職者全体の求人倍率は1.89倍、同（1.74倍）0.15ポイントの増
うち県内求職者に対する求人倍率は2.87倍、同（2.78倍）0.09ポイントの増
- 求人数は3,957人、同（3,956人）0.03%の増
- 求職者数は2,093人、同（2,279人）8.2%の減
求職者全体に占める県内希望者の割合は65.9%、同（62.5%）3.4ポイントの増

【大学等新卒者】（別紙2：令和4年1月末）

- 大学等就職内定率は75.9%、前年比（78.3%）2.4ポイントの減
- 大学就職内定率は72.2%、同（75.0%）2.8ポイントの減
- 短大就職内定率は88.5%、同（87.9%）0.6ポイントの増
- 高専就職内定率は96.8%、同（97.6%）0.8ポイントの減

※1 高校新卒者の数値は県内の高校からの報告（学校やハローワークによる職業紹介を希望している生徒の状況等）を、大学新卒者の数値は、県内の大学等9校から宮崎労働局への報告を取りまとめたものです。

※2 高校新卒者の求人数は、県内の事業所より提出されたものを公表しています。

新規学校卒業者の求職・求人・就職の状況

〈令和4年3月卒業予定者〉

宮崎労働局

区分	令和4年1月末現在			前年同月			対前年 増減率・差	
	計	男	女	計	男	女		
高 校	① 求職者数	2,093	1,282	811	2,279	1,409	870	-8.2%
	うち 県内	1,380	759	621	1,425	784	641	-3.2%
	うち 県外	713	523	190	854	625	229	-16.5%
	求職者全体に占める 県内希望者の割合	65.9%	59.2%	76.6%	62.5%	55.6%	73.7%	3.4
校	② 就職内定者数	1,974	1,218	756	2,169	1,347	822	-9.0%
	うち 県内	1,276	704	572	1,335	731	604	-4.4%
	うち 県外	698	514	184	834	616	218	-16.3%
	就職内定者に占める 県内内定者の割合	64.6%	57.8%	75.7%	61.5%	54.3%	73.5%	3.1
卒	③ 有効求職者数	119	64	55	110	62	48	8.2%
	うち 県内	104	55	49	90	53	37	15.6%
	うち 県外	15	9	6	20	9	11	-25.0%
業	④ 求人数	3,957			3,956			0.03%
	⑤ 求人倍率④ / ①	1.89			1.74			0.15
	県内求職者に対する 求人倍率	2.87			2.78			0.09
	⑥ 就職内定率② / ①	94.3%	95.0%	93.2%	95.2%	95.6%	94.5%	-0.9
	うち 県内	92.5%	92.8%	92.1%	93.7%	93.2%	94.2%	-1.2
	うち 県外	97.9%	98.3%	96.8%	97.7%	98.6%	95.2%	0.2

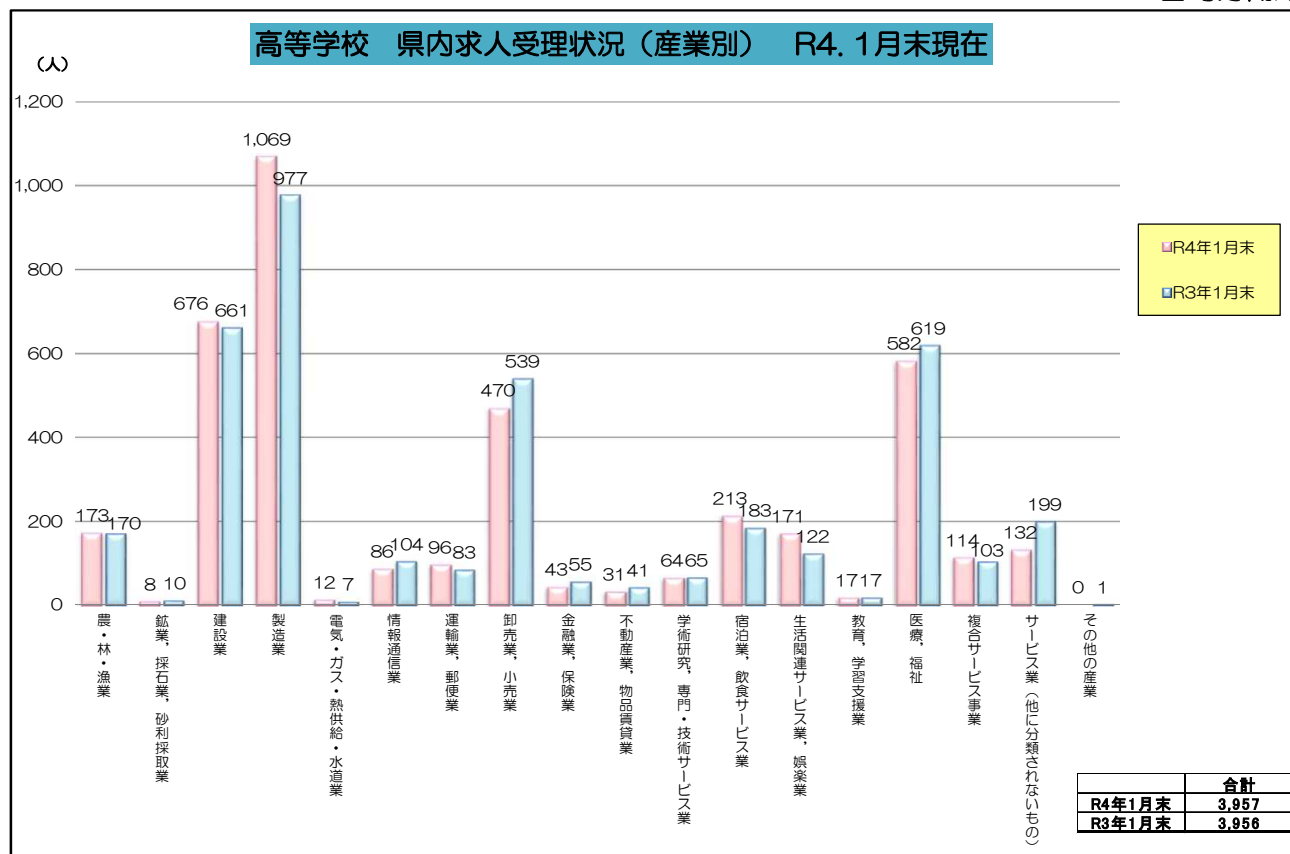
※中学卒業の求職者は、令和4年1月末現在で男2名。就職内定者は男1名(県外)。

※求人数は県内の事業所より提出されたものを公表している。

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、高校新卒者の内定開始時期について1か月延期され10月16日(今年度は9月16日)となった。

令和4年3月高等学校卒業予定者に係る産業別求人状況 【令和4年1月末現在】

宮崎労働局



産業分類	R4年1月末	R3年1月末	対前年増減率
農・林・漁業	173	170	1.8%
鉱業、採石業、砂利採取業	8	10	▲20.0%
建設業	676	661	2.3%
製造業	1069	977	9.4%
電気・ガス・熱供給・水道業	12	7	71.4%
情報通信業	86	104	▲17.3%
運輸業、郵便業	96	83	15.7%
卸売業、小売業	470	539	▲12.8%
金融業、保険業	43	55	▲21.8%
不動産業、物品賃貸業	31	41	▲24.4%
学術研究、専門・技術サービス業	64	65	▲1.5%
宿泊業、飲食サービス業	213	183	16.4%
生活関連サービス業、娯楽業	171	122	40.2%
教育、学習支援業	17	17	0.0%
医療、福祉	582	619	▲6.0%
複合サービス事業	114	103	10.7%
サービス業（他に分類されないもの）	132	199	▲33.7%
その他の産業	0	1	▲100.0%
合計	3,957	3,956	0.0%

新規高等学校卒業者の求人・求職・就職状況

		7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末
① 求 人 数	H 6. 3卒	3,982	4,533	4,813	5,010	5,178	5,368	5,576	5,703	5,752	5,779	—	—
	H 7. 3卒	2,876	3,388	3,784	4,066	4,227	4,477	4,696	4,961	5,016	5,019	—	—
	H 8. 3卒	2,524	2,988	3,294	3,587	3,763	3,923	4,122	4,270	4,319	4,321	—	—
	H 9. 3卒	2,074	2,531	2,859	3,122	3,348	3,521	3,694	3,873	3,900	3,903	—	—
	H10. 3卒	1,930	2,239	2,565	2,808	2,910	3,035	3,176	3,272	3,300	3,304	—	—
	H11. 3卒	1,095	1,272	1,426	1,600	1,708	1,821	1,944	2,085	2,109	2,111	—	—
	H12. 3卒	723	980	1,181	1,415	1,556	1,751	2,070	2,242	2,331	2,332	2,335	2,335
	H13. 3卒	863	1,064	1,265	1,459	1,739	1,964	2,106	2,242	2,265	2,269	2,269	2,269
	H14. 3卒	660	843	959	1,082	1,377	1,501	1,724	1,879	1,924	1,931	1,932	1,933
	H15. 3卒	526	725	890	1,086	1,337	1,430	1,660	1,815	1,892	1,893	1,893	1,893
	H16. 3卒	556	807	1,012	1,279	1,483	1,623	1,844	2,038	2,114	2,119	2,119	2,119
	H17. 3卒	755	1,081	1,345	1,688	1,899	1,974	2,161	2,257	2,301	2,313	2,316	2,316
	H18. 3卒	819	1,150	1,383	1,686	1,882	1,978	2,182	2,263	2,293	2,294	2,294	2,294
	H19. 3卒	1,283	1,560	1,806	2,169	2,278	2,379	2,523	2,620	2,650	2,650	2,651	2,651
	H20. 3卒	1,254	1,534	1,710	2,028	2,255	2,331	2,410	2,441	2,488	2,488	2,489	2,492
	H21. 3卒	1,449	1,649	1,770	1,962	2,010	2,073	2,131	2,154	2,156	2,156	2,156	2,156
	H22. 3卒	750	1,007	1,085	1,268	1,383	1,492	1,627	1,708	1,728	1,731	1,741	1,741
	H23. 3卒	765	1,034	1,189	1,395	1,503	1,609	1,736	1,784	1,819	1,825	1,825	1,825
	H24. 3卒	930	1,187	1,396	1,673	1,801	1,905	2,029	2,081	2,126	2,129	2,129	2,129
	H25. 3卒	1,078	1,436	1,692	2,031	2,149	2,284	2,390	2,461	2,485	2,485	2,486	2,486
	H26. 3卒	1,403	1,765	1,997	2,289	2,434	2,553	2,625	2,667	2,677	2,682	2,682	2,686
	H27. 3卒	1,897	2,163	2,586	2,870	2,939	3,016	3,079	3,099	3,102	3,102	3,102	3,102
	H28. 3卒	2,408	2,709	2,960	3,181	3,235	3,293	3,340	3,360	3,371	3,375	3,375	3,372
	H29. 3卒	2,913	3,215	3,400	3,573	3,646	3,699	3,725	3,746	3,750	3,753	3,754	3,754
H30. 3卒	3,448	3,696	3,866	4,022	4,073	4,099	4,126	4,138	4,141	4,141	4,142	4,148	
H31. 3卒	3,901	4,094	4,161	4,344	4,407	4,445	4,480	4,498	4,504	4,518	4,522	4,520	
R2. 3卒	4,039	4,183	4,316	4,437	4,481	4,523	4,537	4,547	4,552	4,553	4,553	4,560	
R3. 3卒	3,161	3,367	3,532	3,678	3,794	3,905	3,956	3,970	3,978	3,978	3,980	3,984	
R4. 3卒	3,323	3,513	3,672	3,782	3,830	3,919	3,957						
対前年増減率	5.1%	4.3%	4.0%	2.8%	0.9%	0.4%	0.0%						
② 求 職 者 数 (全 体 (県 外 + 県 内))	H 6. 3卒	5,555	5,493	5,633	5,965	6,092	6,066	6,021	6,047	5,952	5,734	—	—
	H 7. 3卒	5,758	5,623	5,699	5,667	5,710	5,715	5,704	5,571	5,464	5,215	—	—
	H 8. 3卒	5,642	5,523	5,460	5,458	5,480	5,480	5,391	5,258	5,123	4,907	—	—
	H 9. 3卒	5,394	5,149	5,121	5,024	5,035	5,010	4,990	4,826	4,658	4,570	—	—
	H10. 3卒	5,317	5,231	5,028	4,972	5,014	5,000	4,935	4,827	4,606	4,482	—	—
	H11. 3卒	4,754	4,562	4,427	4,383	4,388	4,349	4,287	4,112	3,929	3,728	—	—
	H12. 3卒	4,422	4,284	4,223	4,181	4,170	4,221	3,988	3,852	3,697	3,613	3,569	3,548
	H13. 3卒	4,600	4,439	4,279	4,196	4,243	4,232	4,086	3,966	3,854	3,744	3,741	3,715
	H14. 3卒	4,379	4,143	4,150	4,115	4,133	4,025	3,830	3,679	3,517	3,371	3,388	3,338
	H15. 3卒	4,123	3,836	3,582	3,542	3,610	3,644	3,495	3,412	3,271	3,242	3,269	3,202
	H16. 3卒	3,977	3,863	3,710	3,646	3,762	3,709	3,591	3,517	3,447	3,397	3,369	3,358
	H17. 3卒	3,793	3,726	3,673	3,607	3,645	3,648	3,532	3,468	3,358	3,309	3,309	3,300
	H18. 3卒	3,581	3,547	3,382	3,383	3,386	3,371	3,329	3,256	3,194	3,179	3,161	3,155
	H19. 3卒	3,563	3,520	3,545	3,554	3,511	3,473	3,401	3,347	3,308	3,306	3,273	3,259
	H20. 3卒	3,464	3,356	3,391	3,268	3,318	3,314	3,261	3,238	3,211	3,197	3,196	3,193
	H21. 3卒	3,207	3,122	3,203	3,177	3,193	3,168	3,112	3,058	3,002	3,001	2,985	2,948
	H22. 3卒	3,160	3,063	3,021	2,916	2,927	2,888	2,838	2,768	2,748	2,762	2,743	2,724
	H23. 3卒	3,094	2,945	2,872	2,774	2,825	2,817	2,770	2,738	2,767	2,772	2,777	2,763
	H24. 3卒	2,977	2,892	2,769	2,801	2,850	2,829	2,802	2,753	2,735	2,745	2,745	2,745
	H25. 3卒	3,281	3,112	3,037	2,926	2,935	2,897	2,864	2,838	2,815	2,809	2,870	2,870
	H26. 3卒	2,912	2,852	2,849	2,730	2,772	2,753	2,739	2,730	2,730	2,729	2,725	2,721
	H27. 3卒	2,974	2,902	2,910	2,914	2,909	2,891	2,845	2,825	2,800	2,795	2,793	2,793
	H28. 3卒	2,936	2,821	2,756	2,778	2,790	2,736	2,718	2,721	2,701	2,695	2,694	2,693
	H29. 3卒	2,748	2,757	2,745	2,741	2,740	2,715	2,713	2,709	2,712	2,708	2,707	2,706
H30. 3卒	2,508	2,557	2,561	2,537	2,540	2,543	2,520	2,505	2,504	2,498	2,497	2,496	
H31. 3卒	2,666	2,643	2,611	2,628	2,619	2,630	2,609	2,612	2,593	2,588	2,587	2,586	
R2. 3卒	2,563	2,522	2,530	2,527	2,536	2,532	2,530	2,524	2,591	2,586	2,586	2,585	
R3. 3卒	2,438	2,458	2,455	2,385	2,332	2,305	2,279	2,252	2,260	2,253	2,249	2,245	
R4. 3卒	2,144	2,085	2,047	2,071	2,060	2,053	2,093						

新規高等学校卒業者の求人・求職・就職状況

		7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末			
求職者数	③うち県内	H 6. 3卒	3,216	3,236	3,248	3,486	3,608	3,597	3,559	3,572	3,474	3,308	—	—		
		H 7. 3卒	3,252	3,176	3,197	3,331	3,400	3,455	3,459	3,346	3,274	3,074	—	—		
		H 8. 3卒	3,441	3,451	3,377	3,398	3,457	3,469	3,392	3,289	3,185	3,017	—	—		
		H 9. 3卒	3,144	3,094	3,032	3,023	3,056	3,031	3,024	2,921	2,747	2,668	—	—		
		H10. 3卒	2,897	2,924	2,696	2,739	2,799	2,777	2,731	2,673	2,489	2,373	—	—		
		H11. 3卒	2,472	2,269	2,184	2,248	2,357	2,364	2,337	2,214	2,074	1,912	—	—		
		H12. 3卒	2,236	2,284	2,253	2,384	2,497	2,521	2,433	2,352	2,203	2,161	2,119	2,103		
		H13. 3卒	2,561	2,453	2,400	2,449	2,584	2,606	2,537	2,455	2,354	2,286	2,287	2,263		
		H14. 3卒	2,501	2,293	2,316	2,369	2,513	2,453	2,352	2,240	2,147	2,042	2,059	2,009		
		H15. 3卒	2,347	2,231	2,131	2,146	2,210	2,303	2,184	2,149	2,052	2,030	2,075	2,013		
		H16. 3卒	2,406	2,310	2,274	2,317	2,457	2,421	2,351	2,274	2,221	2,189	2,167	2,157		
		H17. 3卒	2,343	2,291	2,333	2,330	2,399	2,392	2,281	2,230	2,148	2,104	2,105	2,097		
		H18. 3卒	2,122	2,097	1,950	1,997	2,042	2,024	1,990	1,948	1,875	1,856	1,836	1,832		
		H19. 3卒	2,085	1,996	2,052	2,139	2,117	2,077	2,029	1,979	1,947	1,951	1,932	1,919		
		H20. 3卒	1,989	1,948	1,957	1,919	1,960	1,948	1,894	1,885	1,858	1,845	1,840	1,838		
		H21. 3卒	1,801	1,754	1,739	1,716	1,753	1,741	1,699	1,657	1,610	1,616	1,603	1,593		
		H22. 3卒	1,724	1,674	1,634	1,662	1,745	1,735	1,709	1,671	1,649	1,669	1,654	1,642		
		H23. 3卒	1,714	1,585	1,493	1,539	1,621	1,668	1,646	1,640	1,652	1,658	1,662	1,649		
		H24. 3卒	1,619	1,558	1,467	1,577	1,667	1,664	1,655	1,629	1,611	1,620	1,622	1,622		
		H25. 3卒	1,950	1,848	1,706	1,712	1,761	1,731	1,716	1,699	1,673	1,669	1,721	1,721		
		H26. 3卒	1,597	1,583	1,586	1,542	1,632	1,633	1,626	1,616	1,607	1,605	1,601	1,598		
		H27. 3卒	1,563	1,460	1,549	1,589	1,612	1,610	1,570	1,552	1,521	1,518	1,518	1,518		
		H28. 3卒	1,606	1,568	1,519	1,540	1,574	1,535	1,522	1,525	1,519	1,514	1,513	1,512		
		H29. 3卒	1,539	1,575	1,523	1,546	1,545	1,546	1,550	1,544	1,547	1,542	1,541	1,540		
		H30. 3卒	1,429	1,450	1,457	1,474	1,481	1,485	1,471	1,462	1,459	1,457	1,457	1,457		
		H31. 3卒	1,553	1,557	1,523	1,538	1,542	1,554	1,538	1,546	1,536	1,532	1,531	1,530		
		R2. 3卒	1,535	1,489	1,491	1,498	1,504	1,504	1,503	1,501	1,540	1,536	1,536	1,535		
		R3. 3卒	1,443	1,532	1,510	1,471	1,457	1,441	1,425	1,406	1,419	1,412	1,408	1,405		
		R4. 3卒	1,357	1,329	1,315	1,365	1,361	1,366	1,380							
		就職希望者に占める県内希望者の割合	③うち県内	H 6. 3卒	57.9%	58.9%	57.7%	58.4%	59.2%	59.3%	59.1%	59.1%	58.4%	57.7%	—	—
				H 7. 3卒	56.5%	56.5%	56.1%	58.8%	59.5%	60.5%	60.6%	60.1%	59.9%	58.9%	—	—
				H 8. 3卒	61.0%	62.5%	61.8%	62.3%	63.1%	63.3%	62.9%	62.6%	62.2%	61.5%	—	—
				H 9. 3卒	58.3%	60.1%	59.2%	60.2%	60.7%	60.5%	60.6%	60.5%	59.0%	58.4%	—	—
H10. 3卒	54.5%			55.9%	53.6%	55.1%	55.8%	55.5%	55.3%	55.4%	54.0%	52.9%	—	—		
H11. 3卒	52.0%			49.7%	49.3%	51.3%	53.7%	54.4%	54.5%	53.8%	52.8%	51.3%	—	—		
H12. 3卒	50.6%			53.3%	53.4%	57.0%	59.9%	59.7%	61.0%	61.1%	59.6%	59.8%	59.4%	59.3%		
H13. 3卒	55.7%			55.3%	56.1%	58.4%	60.9%	61.6%	62.1%	61.9%	61.1%	61.1%	61.1%	60.9%		
H14. 3卒	57.1%			55.3%	55.8%	57.6%	60.8%	60.9%	61.4%	60.9%	61.0%	60.6%	60.8%	60.2%		
H15. 3卒	56.9%			58.2%	59.5%	60.6%	61.2%	63.2%	62.5%	63.0%	62.7%	62.6%	63.5%	62.9%		
H16. 3卒	60.5%			59.8%	61.3%	63.5%	65.3%	65.3%	65.5%	64.7%	64.4%	64.4%	64.3%	64.2%		
H17. 3卒	61.8%			61.5%	63.5%	64.6%	65.8%	65.6%	64.6%	64.3%	64.0%	63.6%	63.6%	63.5%		
H18. 3卒	59.3%			59.1%	57.7%	59.0%	60.3%	60.0%	59.8%	59.8%	58.7%	58.4%	58.1%	58.1%		
H19. 3卒	58.5%			56.7%	57.9%	60.2%	60.3%	59.8%	59.7%	59.1%	58.9%	59.0%	59.0%	58.9%		
H20. 3卒	57.4%			58.0%	57.7%	58.7%	59.1%	58.8%	58.1%	58.2%	57.9%	57.7%	57.6%	57.6%		
H21. 3卒	56.2%			56.2%	54.3%	54.0%	54.9%	55.0%	54.6%	54.2%	53.6%	53.8%	53.7%	54.0%		
H22. 3卒	54.6%			54.7%	54.1%	57.0%	59.6%	60.1%	60.2%	60.4%	60.0%	60.4%	60.3%	60.3%		
H23. 3卒	55.4%			53.8%	52.0%	55.5%	57.4%	59.2%	59.4%	59.9%	59.7%	59.8%	59.8%	59.7%		
H24. 3卒	54.4%			53.9%	53.0%	56.3%	58.5%	58.8%	59.1%	59.2%	58.9%	59.0%	59.1%	59.1%		
H25. 3卒	59.4%			59.4%	56.2%	58.5%	60.0%	59.8%	59.9%	59.9%	59.4%	59.4%	60.0%	60.0%		
H26. 3卒	54.8%			55.5%	55.7%	56.5%	58.9%	59.3%	59.4%	59.2%	58.9%	58.8%	58.8%	58.7%		
H27. 3卒	52.6%			50.3%	53.2%	54.5%	55.4%	55.7%	55.2%	54.9%	54.3%	54.3%	54.4%	54.4%		
H28. 3卒	54.7%			55.6%	55.1%	55.4%	56.4%	56.1%	56.0%	56.0%	56.2%	56.2%	56.2%	56.1%		
H29. 3卒	56.0%			57.1%	55.5%	56.4%	56.4%	56.9%	57.1%	57.0%	57.0%	56.9%	56.9%	56.9%		
H30. 3卒	57.0%			56.7%	56.9%	58.1%	58.3%	58.4%	58.4%	58.4%	58.3%	58.3%	58.4%	58.4%		
H31. 3卒	58.3%			58.9%	58.3%	58.5%	58.9%	59.1%	58.9%	59.2%	59.2%	59.2%	59.2%	59.2%		
R2. 3卒	59.9%			59.0%	58.9%	59.3%	59.3%	59.4%	59.4%	59.5%	59.4%	59.4%	59.4%	59.4%		
R3. 3卒	59.2%			62.3%	61.5%	61.7%	62.5%	62.5%	62.5%	62.4%	62.8%	62.7%	62.6%	62.6%		
R4. 3卒	63.3%			63.7%	64.2%	65.9%	66.1%	66.5%	65.9%							

新規高等学校卒業者の求人・求職・就職状況

		7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末			
求人倍率	求職者全体に対する求人倍率 ①/②	H 6. 3卒	0.72	0.83	0.85	0.84	0.85	0.88	0.93	0.94	0.97	1.01	-	-		
		H 7. 3卒	0.50	0.60	0.66	0.72	0.74	0.78	0.82	0.89	0.92	0.96	-	-		
		H 8. 3卒	0.45	0.54	0.60	0.66	0.69	0.72	0.76	0.81	0.84	0.88	-	-		
		H 9. 3卒	0.38	0.49	0.56	0.62	0.66	0.70	0.74	0.80	0.84	0.85	-	-		
		H10. 3卒	0.36	0.43	0.51	0.56	0.58	0.61	0.64	0.68	0.72	0.74	-	-		
		H11. 3卒	0.23	0.28	0.32	0.37	0.39	0.42	0.45	0.51	0.54	0.57	-	-		
		H12. 3卒	0.16	0.23	0.28	0.34	0.37	0.41	0.52	0.58	0.63	0.65	0.65	0.66		
		H13. 3卒	0.19	0.24	0.30	0.35	0.41	0.46	0.52	0.57	0.59	0.61	0.61	0.61		
		H14. 3卒	0.15	0.20	0.23	0.26	0.33	0.37	0.45	0.51	0.55	0.57	0.57	0.58		
		H15. 3卒	0.13	0.19	0.25	0.31	0.37	0.39	0.47	0.53	0.58	0.58	0.58	0.59		
		H16. 3卒	0.14	0.21	0.27	0.35	0.39	0.44	0.51	0.58	0.61	0.62	0.63	0.63		
		H17. 3卒	0.20	0.29	0.37	0.47	0.52	0.54	0.61	0.65	0.69	0.70	0.70	0.70		
		H18. 3卒	0.23	0.32	0.41	0.50	0.56	0.59	0.66	0.70	0.72	0.72	0.73	0.73		
		H19. 3卒	0.36	0.44	0.51	0.61	0.65	0.68	0.74	0.78	0.80	0.80	0.81	0.81		
		H20. 3卒	0.36	0.46	0.50	0.62	0.68	0.70	0.74	0.75	0.77	0.78	0.78	0.78		
		H21. 3卒	0.45	0.53	0.55	0.62	0.63	0.65	0.68	0.70	0.72	0.72	0.72	0.73		
		H22. 3卒	0.24	0.33	0.36	0.43	0.47	0.52	0.57	0.62	0.63	0.63	0.63	0.64		
		H23. 3卒	0.25	0.35	0.41	0.50	0.53	0.57	0.63	0.65	0.66	0.66	0.66	0.66		
		H24. 3卒	0.31	0.41	0.50	0.60	0.63	0.67	0.72	0.76	0.78	0.78	0.78	0.78		
		H25. 3卒	0.33	0.46	0.56	0.69	0.73	0.79	0.83	0.87	0.88	0.88	0.87	0.87		
		H26. 3卒	0.48	0.62	0.70	0.84	0.88	0.93	0.96	0.98	0.98	0.98	0.98	0.99		
		H27. 3卒	0.64	0.75	0.89	0.98	1.01	1.04	1.08	1.10	1.11	1.11	1.11	1.11		
		H28. 3卒	0.82	0.96	1.07	1.15	1.16	1.20	1.23	1.23	1.25	1.25	1.25	1.25		
		H29. 3卒	1.06	1.17	1.24	1.30	1.33	1.36	1.37	1.38	1.38	1.39	1.39	1.39		
		H30. 3卒	1.37	1.45	1.51	1.59	1.60	1.61	1.64	1.65	1.65	1.66	1.66	1.66		
		H31. 3卒	1.46	1.55	1.59	1.65	1.68	1.69	1.72	1.72	1.74	1.75	1.75	1.75		
		R2. 3卒	1.58	1.66	1.71	1.76	1.77	1.79	1.79	1.80	1.76	1.76	1.76	1.76		
		R3. 3卒	1.30	1.37	1.44	1.54	1.63	1.69	1.74	1.76	1.76	1.77	1.77	1.77		
		R4. 3卒	1.55	1.68	1.79	1.83	1.86	1.91	1.89							
		求人倍率	県内求職者に対する求人倍率 ①/③	H 6. 3卒	1.24	1.40	1.48	1.44	1.44	1.49	1.57	1.60	1.66	1.75	-	-
				H 7. 3卒	0.88	1.07	1.18	1.22	1.24	1.30	1.36	1.48	1.53	1.63	-	-
H 8. 3卒	0.73			0.87	0.98	1.06	1.09	1.13	1.22	1.30	1.36	1.43	-	-		
H 9. 3卒	0.66			0.82	0.94	1.03	1.10	1.16	1.22	1.33	1.42	1.46	-	-		
H10. 3卒	0.67			0.77	0.95	1.03	1.04	1.09	1.16	1.22	1.33	1.39	-	-		
H11. 3卒	0.44			0.56	0.65	0.71	0.72	0.77	0.83	0.94	1.02	1.10	-	-		
H12. 3卒	0.32			0.43	0.52	0.59	0.62	0.69	0.85	0.95	1.06	1.08	1.10	1.11		
H13. 3卒	0.34			0.43	0.53	0.60	0.67	0.75	0.83	0.91	0.96	0.99	0.99	1.00		
H14. 3卒	0.26			0.37	0.41	0.46	0.55	0.61	0.73	0.84	0.90	0.95	0.94	0.96		
H15. 3卒	0.22			0.32	0.42	0.51	0.60	0.62	0.76	0.84	0.92	0.93	0.91	0.94		
H16. 3卒	0.23			0.35	0.45	0.55	0.60	0.67	0.78	0.90	0.95	0.97	0.98	0.98		
H17. 3卒	0.32			0.47	0.58	0.72	0.79	0.83	0.95	1.01	1.07	1.10	1.10	1.10		
H18. 3卒	0.39			0.55	0.71	0.84	0.92	0.98	1.10	1.16	1.22	1.24	1.25	1.25		
H19. 3卒	0.62			0.78	0.88	1.01	1.08	1.15	1.24	1.32	1.36	1.36	1.37	1.38		
H20. 3卒	0.63			0.79	0.87	1.06	1.15	1.20	1.27	1.29	1.34	1.35	1.35	1.36		
H21. 3卒	0.80			0.94	1.02	1.14	1.15	1.19	1.25	1.30	1.34	1.33	1.34	1.35		
H22. 3卒	0.44			0.60	0.66	0.76	0.79	0.86	0.95	1.02	1.05	1.04	1.05	1.06		
H23. 3卒	0.45			0.65	0.80	0.91	0.93	0.96	1.05	1.09	1.10	1.10	1.10	1.11		
H24. 3卒	0.57			0.76	0.95	1.06	1.08	1.14	1.23	1.28	1.32	1.31	1.31	1.31		
H25. 3卒	0.55			0.78	0.99	1.19	1.22	1.32	1.39	1.45	1.49	1.49	1.44	1.44		
H26. 3卒	0.88			1.11	1.26	1.48	1.49	1.56	1.61	1.65	1.67	1.67	1.68	1.68		
H27. 3卒	1.21			1.48	1.67	1.81	1.82	1.87	1.96	2.00	2.04	2.04	2.04	2.04		
H28. 3卒	1.50			1.73	1.95	2.07	2.06	2.15	2.19	2.20	2.22	2.23	2.23	2.23		
H29. 3卒	1.89			2.04	2.23	2.31	2.36	2.39	2.40	2.43	2.42	2.43	2.44	2.44		
H30. 3卒	2.41			2.55	2.65	2.73	2.75	2.76	2.80	2.83	2.84	2.84	2.84	2.85		
H31. 3卒	2.51			2.63	2.73	2.82	2.86	2.86	2.91	2.91	2.93	2.95	2.95	2.95		
R2. 3卒	2.63			2.81	2.89	2.96	2.98	3.01	3.02	3.03	2.96	2.96	2.96	2.97		
R3. 3卒	2.19			2.20	2.34	2.50	2.60	2.71	2.78	2.82	2.80	2.82	2.83	2.84		
R4. 3卒	2.45			2.64	2.79	2.77	2.81	2.87	2.87							

新規高等学校卒業生の求人・求職・就職状況

		7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末	
④全体 (県外+県内)	H 6. 3卒	—	—	2,733	4,312	4,859	5,123	5,350	5,679	5,821	5,734	—	—	
	H 7. 3卒	—	—	2,559	3,869	4,316	4,624	4,943	5,204	5,343	5,215	—	—	
	H 8. 3卒	—	—	2,271	3,566	3,999	4,388	4,666	4,919	4,991	4,863	—	—	
	H 9. 3卒	—	—	2,099	3,291	3,674	3,955	4,239	4,481	4,531	4,508	—	—	
	H10. 3卒	—	—	2,163	3,070	3,618	3,850	4,079	4,312	4,384	4,379	—	—	
	H11. 3卒	—	—	1,731	2,529	2,833	3,056	3,245	3,511	3,555	3,582	—	—	
	H12. 3卒	—	—	1,294	2,043	2,358	2,697	2,916	3,359	3,480	3,488	3,515	3,525	
	H13. 3卒	—	—	1,402	2,119	2,529	2,800	3,202	3,487	3,608	3,645	3,660	3,672	
	H14. 3卒	—	—	1,108	1,851	2,148	2,478	2,725	3,033	3,152	3,209	3,229	3,270	
	H15. 3卒	—	—	944	1,557	1,863	2,243	2,474	2,804	3,009	3,054	3,122	3,132	
	H16. 3卒	—	—	970	1,630	1,989	2,432	2,661	3,074	3,219	3,257	3,309	3,329	
	H17. 3卒	—	—	1,108	1,867	2,290	2,674	2,830	3,078	3,172	3,189	3,228	3,252	
	H18. 3卒	—	—	1,249	1,954	2,249	2,618	2,773	2,999	3,057	3,090	3,112	3,115	
	H19. 3卒	—	—	1,350	2,189	2,544	2,864	2,992	3,153	3,213	3,224	3,215	3,218	
	H20. 3卒	—	—	1,452	2,201	2,485	2,839	2,937	3,089	3,136	3,146	3,151	3,152	
	H21. 3卒	—	—	1,392	2,120	2,391	2,640	2,737	2,865	2,894	2,905	2,929	2,899	
	H22. 3卒	—	—	963	1,586	1,852	2,155	2,297	2,501	2,594	2,621	2,671	2,692	
	H23. 3卒	—	—	1,144	1,710	1,971	2,271	2,376	2,571	2,688	2,722	2,733	2,743	
	H24. 3卒	—	—	1,092	1,853	2,143	2,431	2,555	2,653	2,688	2,716	2,723	2,726	
	H25. 3卒	—	—	1,077	1,936	2,331	2,601	2,683	2,762	2,789	2,793	2,866	2,867	
	H26. 3卒	—	—	1,025	1,931	2,318	2,554	2,621	2,685	2,709	2,717	2,721	2,720	
	H27. 3卒	—	—	1,418	2,219	2,524	2,676	2,730	2,777	2,788	2,789	2,789	2,791	
	H28. 3卒	—	—	1,386	2,229	2,467	2,556	2,611	2,678	2,689	2,692	2,692	2,692	
	H29. 3卒	—	—	1,531	2,255	2,446	2,551	2,615	2,671	2,694	2,697	2,697	2,700	
	H30. 3卒	—	—	1,434	2,122	2,273	2,368	2,441	2,467	2,486	2,490	2,492	2,492	
	H31. 3卒	—	—	1,512	2,227	2,409	2,480	2,541	2,572	2,580	2,584	2,584	2,584	
	R2. 3卒	—	—	1,599	2,144	2,294	2,385	2,444	2,498	2,586	2,584	2,584	2,584	
	R3. 3卒	—	—	※	1,439	1,931	2,097	2,169	2,218	2,241	2,239	2,239	2,240	
	R4. 3卒	—	—	1,160	1,723	1,847	1,898	1,974						
	⑤うち県内	H 6. 3卒	—	—	1,191	2,243	2,596	2,807	2,999	3,259	3,364	3,308	—	—
		H 7. 3卒	—	—	1,122	1,954	2,273	2,532	2,797	3,016	3,167	3,074	—	—
H 8. 3卒		—	—	1,056	1,965	2,266	2,555	2,768	2,990	3,066	2,979	—	—	
H 9. 3卒		—	—	954	1,679	1,955	2,172	2,389	2,607	2,630	2,611	—	—	
H10. 3卒		—	—	836	1,395	1,706	1,848	2,015	2,221	2,290	2,277	—	—	
H11. 3卒		—	—	530	965	1,168	1,344	1,507	1,722	1,762	1,787	—	—	
H12. 3卒		—	—	453	918	1,190	1,369	1,543	1,930	2,027	2,042	2,068	2,080	
H13. 3卒		—	—	582	968	1,247	1,470	1,819	2,054	2,160	2,195	2,210	2,221	
H14. 3卒		—	—	358	776	984	1,253	1,456	1,724	1,846	1,887	1,907	1,941	
H15. 3卒		—	—	310	653	854	1,178	1,352	1,654	1,830	1,873	1,937	1,947	
H16. 3卒		—	—	359	736	981	1,337	1,536	1,885	2,029	2,064	2,111	2,130	
H17. 3卒		—	—	453	908	1,218	1,541	1,664	1,886	1,982	1,994	2,030	2,051	
H18. 3卒		—	—	457	868	1,063	1,368	1,487	1,707	1,748	1,775	1,794	1,798	
H19. 3卒		—	—	512	985	1,266	1,554	1,668	1,811	1,863	1,872	1,876	1,879	
H20. 3卒		—	—	520	1,034	1,232	1,535	1,614	1,758	1,793	1,799	1,800	1,801	
H21. 3卒		—	—	493	947	1,109	1,318	1,397	1,497	1,526	1,537	1,561	1,556	
H22. 3卒		—	—	298	718	892	1,151	1,272	1,449	1,530	1,554	1,603	1,616	
H23. 3卒		—	—	375	751	951	1,209	1,300	1,483	1,580	1,611	1,620	1,630	
H24. 3卒		—	—	381	871	1,088	1,345	1,450	1,545	1,572	1,596	1,603	1,606	
H25. 3卒		—	—	362	950	1,267	1,496	1,566	1,635	1,655	1,658	1,719	1,720	
H26. 3卒		—	—	343	949	1,254	1,453	1,511	1,572	1,586	1,593	1,597	1,597	
H27. 3卒		—	—	537	1,066	1,302	1,430	1,477	1,510	1,511	1,514	1,515	1,516	
H28. 3卒		—	—	588	1,129	1,309	1,380	1,429	1,486	1,508	1,511	1,511	1,511	
H29. 3卒		—	—	689	1,175	1,317	1,407	1,463	1,511	1,531	1,531	1,531	1,534	
H30. 3卒		—	—	735	1,154	1,265	1,350	1,408	1,433	1,445	1,450	1,452	1,453	
H31. 3卒		—	—	799	1,234	1,368	1,429	1,482	1,512	1,524	1,528	1,528	1,528	
R2. 3卒	—	—	854	1,223	1,323	1,386	1,433	1,479	1,537	1,534	1,534	1,534		
R3. 3卒	—	—	※	832	1,157	1,273	1,335	1,381	1,404	1,401	1,401	1,402		
R4. 3卒	—	—	700	1,094	1,186	1,231	1,276							

※高校新卒者の内定開始時期について、R3. 3卒は、新型コロナウイルス感染症の影響により1か月延期された。

新規高等学校卒業者の求人・求職・就職状況

		7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末
内 定 者 数	H 6. 3卒	—	—	43.6%	52.0%	53.4%	54.8%	56.1%	57.4%	57.8%	57.7%	—	—
	H 7. 3卒	—	—	43.8%	50.5%	52.7%	54.8%	56.6%	58.0%	59.3%	58.9%	—	—
	H 8. 3卒	—	—	46.5%	55.1%	56.7%	58.2%	59.3%	60.8%	61.4%	61.3%	—	—
	H 9. 3卒	—	—	45.5%	51.0%	53.2%	54.9%	56.4%	58.2%	58.0%	57.9%	—	—
	H10. 3卒	—	—	38.7%	45.4%	47.2%	48.0%	49.4%	51.5%	52.2%	52.0%	—	—
	H11. 3卒	—	—	30.6%	38.2%	41.2%	44.0%	46.4%	49.0%	49.6%	49.9%	—	—
	H12. 3卒	—	—	35.0%	44.9%	50.5%	50.8%	52.9%	57.5%	58.2%	58.5%	58.8%	59.0%
	H13. 3卒	—	—	41.5%	45.7%	49.3%	52.5%	56.8%	58.9%	59.9%	60.2%	60.4%	60.5%
	H14. 3卒	—	—	32.3%	41.9%	45.8%	50.6%	53.4%	56.8%	58.6%	58.8%	59.1%	59.4%
	H15. 3卒	—	—	32.8%	41.9%	45.8%	52.5%	54.6%	59.0%	60.8%	61.3%	62.0%	62.2%
	H16. 3卒	—	—	37.0%	45.2%	49.3%	55.0%	57.7%	61.3%	63.0%	63.4%	63.8%	64.0%
	H17. 3卒	—	—	40.9%	48.6%	53.2%	57.6%	58.8%	61.3%	62.5%	62.5%	62.9%	63.1%
	H18. 3卒	—	—	36.6%	44.4%	47.3%	52.3%	53.6%	56.9%	57.2%	57.4%	57.6%	57.7%
	H19. 3卒	—	—	37.9%	45.0%	49.8%	54.3%	55.7%	57.4%	58.0%	58.1%	58.4%	58.4%
	H20. 3卒	—	—	35.8%	47.0%	49.6%	54.1%	55.0%	56.9%	57.2%	57.2%	57.1%	57.1%
	H21. 3卒	—	—	35.4%	44.7%	46.4%	49.9%	51.0%	52.3%	52.7%	52.9%	53.3%	53.7%
	H22. 3卒	—	—	30.9%	45.3%	48.2%	53.4%	55.4%	57.9%	59.0%	59.3%	60.0%	60.0%
	H23. 3卒	—	—	32.8%	43.9%	48.2%	53.2%	54.7%	57.7%	58.8%	59.2%	59.3%	59.4%
	H24. 3卒	—	—	34.9%	47.0%	50.8%	55.3%	56.8%	58.2%	58.5%	58.8%	58.9%	58.9%
	H25. 3卒	—	—	33.6%	49.1%	54.4%	57.5%	58.4%	59.2%	59.3%	59.4%	60.0%	60.0%
	H26. 3卒	—	—	33.5%	49.1%	54.1%	56.9%	57.6%	58.5%	58.5%	58.6%	58.7%	58.7%
	H27. 3卒	—	—	37.9%	48.0%	51.6%	53.4%	54.1%	54.4%	54.2%	54.3%	54.3%	54.3%
	H28. 3卒	—	—	42.4%	50.7%	53.1%	54.0%	54.7%	55.5%	56.1%	56.1%	56.1%	56.1%
	H29. 3卒	—	—	45.0%	52.1%	53.8%	55.2%	55.9%	56.6%	56.8%	56.8%	56.8%	56.8%
	H30. 3卒	—	—	51.3%	54.4%	55.7%	57.0%	57.7%	58.1%	58.1%	58.2%	58.3%	58.3%
	H31. 3卒	—	—	52.8%	55.4%	56.8%	57.6%	58.3%	58.8%	59.1%	59.1%	59.1%	59.1%
R2. 3卒	—	—	53.4%	57.0%	57.7%	58.1%	58.6%	59.2%	59.4%	59.4%	59.4%	59.4%	
R3. 3卒	—	—	※	—	57.8%	59.9%	60.7%	61.5%	62.3%	62.7%	62.6%	62.6%	
R4. 3卒	—	—	60.3%	63.5%	64.2%	64.9%	64.6%						

※高校新卒者の内定開始時期について、R3. 3卒は、新型コロナウイルス感染症の影響により1か月延期された。

新規高等学校卒業者の求人・求職・就職状況

		7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末	
全体 (県外+県内)	H 6. 3卒	—	—	2,900	1,653	1,233	943	671	368	131	0	—	—	
	H 7. 3卒	—	—	3,140	1,798	1,394	1,091	761	367	121	0	—	—	
	H 8. 3卒	—	—	3,189	1,892	1,481	1,092	725	339	132	44	—	—	
	H 9. 3卒	—	—	3,022	1,733	1,361	1,055	751	345	127	62	—	—	
	H10. 3卒	—	—	2,865	1,902	1,396	1,150	856	515	222	103	—	—	
	H11. 3卒	—	—	2,696	1,854	1,555	1,293	1,042	601	374	146	—	—	
	H12. 3卒	—	—	2,929	2,138	1,812	1,524	1,072	493	217	125	54	23	
	H13. 3卒	—	—	2,877	2,077	1,714	1,432	884	479	246	99	81	43	
	H14. 3卒	—	—	3,042	2,264	1,985	1,547	1,105	646	365	162	159	68	
	H15. 3卒	—	—	2,638	1,985	1,747	1,401	1,021	608	262	188	147	70	
	H16. 3卒	—	—	2,740	2,016	1,773	1,277	930	443	228	140	60	29	
	H17. 3卒	—	—	2,565	1,740	1,355	974	702	390	186	120	81	48	
	H18. 3卒	—	—	2,133	1,429	1,137	753	556	257	137	89	49	40	
	H19. 3卒	—	—	2,195	1,365	967	609	409	194	95	82	58	41	
	H20. 3卒	—	—	1,939	1,067	833	475	324	149	75	51	45	41	
	H21. 3卒	—	—	1,811	1,057	802	528	375	193	108	96	56	49	
	H22. 3卒	—	—	2,058	1,330	1,075	733	541	267	154	141	72	32	
	H23. 3卒	—	—	1,728	1,064	854	546	394	167	79	50	44	20	
	H24. 3卒	—	—	1,677	948	707	398	247	100	47	29	22	19	
	H25. 3卒	—	—	1,960	990	604	296	181	76	26	16	4	3	
	H26. 3卒	—	—	1,824	799	454	199	118	45	21	12	4	1	
	H27. 3卒	—	—	1,492	695	385	215	115	48	12	6	4	2	
	H28. 3卒	—	—	1,370	549	323	180	107	43	12	3	2	1	
	H29. 3卒	—	—	1,214	486	294	164	98	38	18	11	10	6	
	H30. 3卒	—	—	1,127	415	267	175	79	38	18	8	5	4	
	H31. 3卒	—	—	1,099	401	210	150	68	40	13	4	3	2	
	R2. 3卒	—	—	931	383	242	147	86	26	5	2	2	1	
	R3. 3卒	—	—	※	946	401	208	110	34	19	14	10	5	
	R4. 3卒	—	—	887	348	213	155	119						
	未 内 定 者 数	H 6. 3卒	—	—	2,057	1,243	1,012	790	560	313	110	0	—	—
		H 7. 3卒	—	—	2,075	1,377	1,127	923	662	330	107	0	—	—
H 8. 3卒		—	—	2,321	1,433	1,191	914	624	299	119	38	—	—	
H 9. 3卒		—	—	2,078	1,344	1,101	859	635	314	117	57	—	—	
H10. 3卒		—	—	1,860	1,344	1,093	929	716	452	199	96	—	—	
H11. 3卒		—	—	1,654	1,283	1,189	1,020	830	492	312	125	—	—	
H12. 3卒		—	—	1,800	1,466	1,307	1,152	890	422	176	119	51	23	
H13. 3卒		—	—	1,818	1,481	1,337	1,136	718	401	194	91	77	42	
H14. 3卒		—	—	1,958	1,593	1,529	1,200	896	516	301	155	152	68	
H15. 3卒		—	—	1,821	1,493	1,356	1,125	832	495	222	157	138	66	
H16. 3卒		—	—	1,915	1,581	1,476	1,084	815	389	192	125	56	27	
H17. 3卒		—	—	1,880	1,422	1,181	851	617	344	166	110	75	46	
H18. 3卒		—	—	1,493	1,129	979	656	503	241	127	81	42	34	
H19. 3卒		—	—	1,540	1,154	851	523	361	168	84	79	56	40	
H20. 3卒		—	—	1,437	885	728	413	280	127	65	46	40	37	
H21. 3卒		—	—	1,246	769	644	423	302	160	84	79	42	37	
H22. 3卒		—	—	1,336	944	853	584	437	222	119	115	51	26	
H23. 3卒		—	—	1,118	788	670	459	346	157	72	47	42	19	
H24. 3卒		—	—	1,086	706	579	319	205	84	39	24	19	16	
H25. 3卒		—	—	1,344	762	494	235	150	64	18	11	2	1	
H26. 3卒		—	—	1,243	593	378	180	115	44	21	12	4	1	
H27. 3卒		—	—	1,012	523	310	180	93	42	10	4	3	2	
H28. 3卒		—	—	931	411	265	155	93	39	11	3	2	1	
H29. 3卒		—	—	834	371	228	139	87	33	16	11	10	6	
H30. 3卒		—	—	722	320	216	135	63	29	14	7	5	4	
H31. 3卒	—	—	724	304	174	125	56	34	12	4	3	2		
R2. 3卒	—	—	637	275	181	118	70	22	3	2	2	1		
R3. 3卒	—	—	※	639	300	168	90	25	15	11	7	3		
R4. 3卒	—	—	615	271	175	135	104							

※高校新卒者の内定開始時期について、R3. 3卒は、新型コロナウイルス感染症の影響により1か月延期された。

新規高等学校卒業者の求人・求職・就職状況

		7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末	
内 定 率	求職者全体の 内定率 ④/ ②	H 6. 3卒	—	—	48.5	72.3	79.8	84.5	88.9	93.9	97.8	100.0	—	—
		H 7. 3卒	—	—	44.9	68.3	75.6	80.9	86.7	93.4	97.8	100.0	—	—
		H 8. 3卒	—	—	41.6	65.3	73.0	80.1	86.6	93.6	97.4	99.1	—	—
		H 9. 3卒	—	—	41.0	65.5	73.0	78.9	84.9	92.9	97.3	98.6	—	—
		H10. 3卒	—	—	43.0	61.7	72.2	77.0	82.7	89.3	95.2	97.7	—	—
		H11. 3卒	—	—	39.1	57.7	64.6	70.3	75.7	85.4	90.5	96.1	—	—
		H12. 3卒	—	—	30.6	48.9	56.5	63.9	73.1	87.2	94.1	96.5	98.5	99.4
		H13. 3卒	—	—	32.8	50.5	59.6	66.2	78.4	87.9	93.6	97.4	97.8	98.8
		H14. 3卒	—	—	26.7	45.0	52.0	61.6	71.1	82.4	89.6	95.2	95.3	98.0
		H15. 3卒	—	—	26.4	44.0	51.6	61.6	70.8	82.2	92.0	94.2	95.5	97.8
		H16. 3卒	—	—	26.1	44.7	52.9	65.6	74.1	87.4	93.4	95.9	98.2	99.1
		H17. 3卒	—	—	30.2	51.8	62.8	73.3	80.1	88.8	94.5	96.4	97.6	98.5
		H18. 3卒	—	—	36.9	57.8	66.4	77.7	83.3	92.1	95.7	97.2	98.4	98.7
		H19. 3卒	—	—	38.1	61.6	72.5	82.5	88.0	94.2	97.1	97.5	98.2	98.7
		H20. 3卒	—	—	42.8	67.4	74.9	85.7	90.1	95.4	97.7	98.4	98.6	98.7
		H21. 3卒	—	—	43.5	66.7	74.9	83.3	87.9	93.7	96.4	96.8	98.1	98.3
		H22. 3卒	—	—	31.9	54.4	63.3	74.6	80.9	90.4	94.4	94.9	97.4	98.8
		H23. 3卒	—	—	39.8	61.6	69.8	80.6	85.8	93.9	97.1	98.2	98.4	99.3
		H24. 3卒	—	—	39.4	66.2	75.2	85.9	91.2	96.4	98.3	98.9	99.2	99.3
		H25. 3卒	—	—	35.5	66.2	79.4	89.8	93.7	97.3	99.1	99.4	99.9	99.9
		H26. 3卒	—	—	36.0	70.7	83.6	92.8	95.7	98.4	99.2	99.6	99.9	100.0
		H27. 3卒	—	—	48.7	76.1	86.8	92.6	96.0	98.3	99.6	99.8	99.9	99.9
		H28. 3卒	—	—	50.3	80.2	88.4	93.4	96.1	98.4	99.6	99.9	99.9	100.0
		H29. 3卒	—	—	55.8	82.3	89.3	94.0	96.4	98.6	99.3	99.6	99.6	99.8
	H30. 3卒	—	—	56.0	83.6	89.5	93.1	96.9	98.5	99.3	99.7	99.8	99.8	
	H31. 3卒	—	—	57.9	84.7	92.0	94.3	97.4	98.5	99.5	99.8	99.9	99.9	
	R2. 3卒	—	—	63.2	84.8	90.5	94.2	96.6	99.0	99.8	99.9	99.9	100.0	
	R3. 3卒	—	—	※	—	60.3	82.8	91.0	95.2	98.5	99.2	99.4	99.6	99.8
	R4. 3卒	—	—	56.7	83.2	89.7	92.5	94.3						
	県内求職者の 内定率 ⑤/ ③	H 6. 3卒	—	—	36.7	64.3	72.0	78.0	84.3	91.2	96.8	100.0	—	—
		H 7. 3卒	—	—	35.1	58.7	66.9	73.3	80.9	90.1	96.7	100.0	—	—
H 8. 3卒		—	—	31.3	57.8	65.5	73.7	81.6	90.9	96.3	98.7	—	—	
H 9. 3卒		—	—	31.5	55.5	64.0	71.7	79.0	89.3	95.7	97.9	—	—	
H10. 3卒		—	—	31.0	50.9	61.0	66.5	73.8	83.1	92.0	96.0	—	—	
H11. 3卒		—	—	24.3	42.9	49.6	56.9	64.5	77.8	85.0	93.5	—	—	
H12. 3卒		—	—	20.1	38.5	47.7	54.3	63.4	82.1	92.0	94.5	97.6	98.9	
H13. 3卒		—	—	24.3	39.5	48.3	56.4	71.7	83.7	91.8	96.0	96.6	98.1	
H14. 3卒		—	—	15.5	32.8	39.2	51.1	61.9	77.0	86.0	92.4	92.6	96.6	
H15. 3卒		—	—	14.5	30.4	38.6	51.2	61.9	77.0	89.2	92.3	93.3	96.7	
H16. 3卒		—	—	15.8	31.8	39.9	55.2	65.3	82.9	91.4	94.3	97.4	98.7	
H17. 3卒		—	—	19.4	39.0	50.8	64.4	73.0	84.6	92.3	94.8	96.4	97.8	
H18. 3卒		—	—	23.4	43.5	52.1	67.6	74.7	87.6	93.2	95.6	97.7	98.1	
H19. 3卒		—	—	25.0	46.0	59.8	74.8	82.2	91.5	95.7	96.0	97.1	97.9	
H20. 3卒		—	—	26.6	53.9	62.9	78.8	85.2	93.3	96.5	97.5	97.8	98.0	
H21. 3卒		—	—	28.3	55.2	63.3	75.7	82.2	90.3	94.8	95.1	97.4	97.7	
H22. 3卒		—	—	18.2	43.2	51.1	66.3	74.4	86.7	92.8	93.1	96.9	98.4	
H23. 3卒		—	—	25.1	48.8	58.7	72.5	79.0	90.4	95.6	97.2	97.5	98.8	
H24. 3卒		—	—	26.0	55.2	65.3	80.8	87.6	94.8	97.6	98.5	98.8	99.0	
H25. 3卒		—	—	21.2	55.5	71.9	86.4	91.3	96.2	98.9	99.3	99.9	99.9	
H26. 3卒		—	—	21.6	61.5	76.8	89.0	92.9	97.3	98.7	99.3	99.8	99.9	
H27. 3卒		—	—	34.7	67.1	80.8	88.8	94.1	97.3	99.3	99.7	99.8	99.9	
H28. 3卒		—	—	38.7	73.3	83.2	89.9	93.9	97.4	99.3	99.8	99.9	99.9	
H29. 3卒		—	—	45.2	76.0	85.2	91.0	94.4	97.9	99.0	99.3	99.4	99.6	
H30. 3卒	—	—	50.4	78.3	85.4	90.9	95.7	98.0	99.0	99.5	99.7	99.7		
H31. 3卒	—	—	52.5	80.2	88.7	92.0	96.4	97.8	99.2	99.7	99.8	99.9		
R2. 3卒	—	—	57.3	81.6	88.0	92.2	95.3	98.5	99.8	99.9	99.9	99.9		
R3. 3卒	—	—	※	—	56.6	79.4	88.3	93.7	98.2	98.9	99.2	99.5	99.8	
R4. 3卒	—	—	53.2	80.1	87.1	90.1	92.5							

※高校新卒者の内定開始時期について、R3. 3卒は、新型コロナウイルス感染症の影響により1か月延期された。

		令和4年1月末現在				前年同月				前年比				
		合計	大学	短大	高专	合計	大学	短大	高专	合計	大学	短大	高专	
卒業予定者	計	2,541	2,040	337	164	2,557	2,036	347	174	-0.6%	0.2%	-2.9%	-5.7%	
	男	1,298	1,139	30	129	1,311	1,151	22	138	-1.0%	-1.0%	36.4%	-6.5%	
	女	1,243	901	307	35	1,246	885	325	36	-0.2%	1.8%	-5.5%	-2.8%	
求職者数①	計	1,949	1,550	304	95	1,985	1,570	290	125	-1.8%	-1.3%	4.8%	-24.0%	
	男	912	812	24	76	921	811	16	94	-1.0%	0.1%	50.0%	-19.1%	
	女	1,037	738	280	19	1,064	759	274	31	-2.5%	-2.8%	2.2%	-38.7%	
求人件数		14,375	10,235	842	3,298	12,714	8,319	967	3,428	13.1%	23.0%	-12.9%	-3.8%	
	県うち	1,908	1,333	441	134	1,984	1,342	490	152	-3.8%	-0.7%	-10.0%	-11.8%	
就職内定者数②	計	1,480	1,119	269	92	1,554	1,177	255	122	-4.8%	-4.9%	5.5%	-24.6%	
	男	676	586	17	73	690	589	10	91	-2.0%	-0.5%	70.0%	-19.8%	
	女	804	533	252	19	864	588	245	31	-6.9%	-9.4%	2.9%	-38.7%	
	うち県内	計	672	410	254	8	664	414	241	9	1.2%	-1.0%	5.4%	-11.1%
		男	221	199	15	7	194	180	9	5	13.9%	10.6%	66.7%	40.0%
		女	451	211	239	1	470	234	232	4	-4.0%	-9.8%	3.0%	-75.0%
就職内定者に占める県内内定者の割合		45.4%	36.6%	94.4%	8.7%	42.7%	35.2%	94.5%	7.4%	2.7	1.5	-0.1	1.3	
有効求職者数①②	計	469	431	35	3	431	393	35	3	8.8%	9.7%	0.0%	0.0%	
	男	236	226	7	3	231	222	6	3	2.2%	1.8%	16.7%	0.0%	
	女	233	205	28	0	200	171	29	0	16.5%	19.9%	-3.4%	-	
就職内定率②①	計	75.9%	72.2%	88.5%	96.8%	78.3%	75.0%	87.9%	97.6%	-2.4	-2.8	0.6	-0.8	
	男	74.1%	72.2%	70.8%	96.1%	74.9%	72.6%	62.5%	96.8%	-0.8	-0.4	8.3	-0.7	
	女	77.5%	72.2%	90.0%	100.0%	81.2%	77.5%	89.4%	100.0%	-3.7	-5.3	0.6	0	

※宮崎大学医学部・県立看護大学は含まない。 ※端数処理の関係で最下位の数値があわない場合がある。

※この調査は、宮崎労働局管内の大学等9校が、R 4.1月末日時点で学生からの報告等により把握している内定状況等を取りまとめたものです。本調査は大学等の協力により可能な範囲で把握した数字を取りまとめており、報告のない学生や連絡の取れない学生などは未内定として計上しています。なお、厚生労働省及び文部科学省が公表している「大学等卒業予定者の就職内定状況調査」は抽出調査として実施しており、調査時点ごとに、電話・面接等の方法により抽出した学生全員に対して学校を通じて内定状況を確認した結果であり、調査方法等が異なることから、この調査と直接数値を比較できるものではありません。

大学等の求人・求職・就職状況【大学・短大・高専】

宮崎労働局

		10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末	
求 人 数	① 全体（県外＋県内）	H10. 3卒	12,600	12,860	13,067	13,302	13,398	13,522
		H11. 3卒	10,031	10,277	10,426	10,596	10,672	10,732
		H12. 3卒	7,601	7,982	8,116	8,308	8,419	8,473
		H13. 3卒	8,622	8,947	9,101	9,160	9,265	9,054
		H14. 3卒	9,776	9,983	10,218	10,475	10,603	10,674
		H15. 3卒	14,532	15,028	15,525	15,737	13,681	16,043
		H16. 3卒	13,437	14,040	14,369	14,807	15,058	15,562
		H17. 3卒	16,629	17,233	17,606	18,109	18,561	17,791
		H18. 3卒	20,799	21,803	23,118	23,861	24,144	24,327
		H19. 3卒	25,706	26,804	28,336	28,862	29,057	29,399
		H20. 3卒	31,175	32,278	32,586	33,131	33,349	33,504
		H21. 3卒	29,748	30,379	31,553	32,662	34,731	35,526
		H22. 3卒	29,984	31,051	32,363	34,220	35,605	36,874
		H23. 3卒	22,610	23,818	24,696	25,819	26,706	26,978
		H24. 3卒	30,082	31,241	31,951	32,720	33,068	33,324
		H25. 3卒	45,544	47,584	48,538	49,670	51,297	51,568
		H26. 3卒	47,073	48,480	49,189	50,076	50,695	50,773
		H27. 3卒	55,720	56,860	57,882	58,741	59,124	59,416
		H28. 3卒	58,776	59,742	61,118	61,661	61,284	62,156
		H29. 3卒	60,811	61,966	62,680	64,053	64,394	64,410
		H30. 3卒	60,653	63,475	65,233	65,902	65,752	65,807
		H31. 3卒	52,926	54,455	54,644	55,027	55,429	55,484
		R2. 3卒	45,578	46,386	47,100	47,806	47,911	47,923
		R3. 3卒	34,482	34,811	35,364	35,657	35,772	35,803
	R4. 3卒	79,236	83,673	85,188	70,749			
	② うち県内	H10. 3卒	1,783	1,906	2,029	2,163	2,225	2,294
		H11. 3卒	1,490	1,564	1,658	1,736	1,805	1,835
		H12. 3卒	1,048	1,110	1,149	1,257	1,328	1,250
		H13. 3卒	1,331	1,376	1,437	1,469	1,562	1,612
		H14. 3卒	1,261	1,228	1,267	1,356	1,408	1,446
		H15. 3卒	1,720	1,888	2,281	2,399	2,291	2,558
		H16. 3卒	1,471	1,662	1,763	1,925	2,049	2,117
		H17. 3卒	1,556	1,739	1,812	1,958	2,181	2,216
		H18. 3卒	1,702	1,847	2,031	2,203	2,332	2,401
		H19. 3卒	1,986	2,387	2,568	2,748	2,811	2,898
		H20. 3卒	3,198	3,394	3,370	3,669	3,600	3,490
H21. 3卒		1,863	2,030	2,095	2,149	2,209	2,238	
H22. 3卒		1,596	1,740	1,867	2,051	2,122	2,190	
H23. 3卒		1,873	1,974	2,068	2,256	2,408	2,442	
H24. 3卒		2,002	2,170	2,225	2,439	2,539	2,595	
H25. 3卒		2,864	3,036	3,179	3,371	3,516	3,540	
H26. 3卒		2,249	2,531	2,824	2,960	3,089	3,107	
H27. 3卒		3,406	3,603	3,718	3,900	3,947	3,978	
H28. 3卒		3,407	3,564	3,722	3,838	3,933	3,959	
H29. 3卒		3,986	4,219	4,327	4,454	4,508	4,519	
H30. 3卒		4,735	4,900	5,057	5,168	5,267	5,283	
H31. 3卒		4,263	4,489	4,686	4,766	4,814	4,837	
R2. 3卒		3,822	4,108	4,204	4,295	4,323	4,330	
R3. 3卒		2,993	3,174	3,274	3,351	3,391	3,408	
R4. 3卒	2,639	3,130	3,190	3,202				
③ 求 職 者 数	H10. 3卒	2,621	2,574	2,531	2,526	2,440	2,372	
	H11. 3卒	2,468	2,424	2,454	2,379	2,205	2,156	
	H12. 3卒	2,265	2,243	2,232	2,206	2,140	2,082	
	H13. 3卒	2,322	2,286	2,259	2,218	2,067	2,030	
	H14. 3卒	2,203	2,086	2,039	2,062	1,922	1,843	
	H15. 3卒	2,254	2,165	2,106	1,993	1,943	1,975	
	H16. 3卒	2,307	2,301	2,249	2,150	2,049	2,113	
	H17. 3卒	2,225	2,219	2,224	2,168	2,050	2,066	
	H18. 3卒	2,192	2,113	2,113	2,058	1,952	1,972	
	H19. 3卒	2,416	2,381	2,314	2,271	2,180	2,174	
	H20. 3卒	2,379	2,346	2,309	2,259	2,148	2,144	
	H21. 3卒	2,396	2,362	2,332	2,305	2,117	2,140	
	H22. 3卒	2,127	2,069	2,031	1,989	1,952	1,843	
	H23. 3卒	2,187	2,137	2,114	2,043	1,963	1,863	
	H24. 3卒	2,102	2,040	2,019	1,954	1,864	1,845	
	H25. 3卒	2,169	2,123	2,094	2,055	1,931	1,905	
	H26. 3卒	2,116	2,082	2,028	1,992	1,835	1,801	
	H27. 3卒	2,165	2,150	2,101	2,082	2,055	1,878	
	H28. 3卒	2,154	2,127	2,069	2,045	2,017	1,856	
	H29. 3卒	2,212	2,196	2,155	2,115	2,103	1,947	
	H30. 3卒	2,150	2,121	2,107	2,083	2,062	1,949	
	H31. 3卒	2,212	2,176	2,116	2,106	2,074	1,952	
	R2. 3卒	2,133	2,116	2,114	2,039	2,027	1,904	
	R3. 3卒	2,073	2,037	2,061	1,985	1,846	1,793	
R4. 3卒	2,006	2,001	1,956	1,949				

大学等の求人・求職・就職状況【大学・短大・高専】

宮崎労働局

		10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末			
求人 倍率	求職者全体に対する求人倍率 ① / ③	H10. 3卒	4.81	5.00	5.16	5.27	5.49	5.70		
		H11. 3卒	4.06	4.24	4.25	4.45	4.84	4.98		
		H12. 3卒	3.36	3.56	3.64	3.77	3.93	4.07		
		H13. 3卒	3.71	3.91	4.03	4.13	4.48	4.46		
		H14. 3卒	4.44	4.79	5.01	5.08	5.52	5.79		
		H15. 3卒	6.45	6.94	7.37	7.90	7.04	8.12		
		H16. 3卒	5.82	6.10	6.39	6.89	7.35	7.36		
		H17. 3卒	7.47	7.77	7.92	8.35	9.05	8.61		
		H18. 3卒	9.49	10.32	10.94	11.59	12.37	12.34		
		H19. 3卒	10.64	11.26	12.25	12.71	13.33	13.52		
		H20. 3卒	13.10	13.76	14.11	14.67	15.53	15.63		
		H21. 3卒	12.42	12.86	13.53	14.17	16.41	16.60		
		H22. 3卒	14.10	15.01	15.93	17.20	18.24	20.01		
		H23. 3卒	10.34	11.15	11.68	12.64	13.60	14.48		
		H24. 3卒	14.31	15.31	15.83	16.75	17.74	18.06		
		H25. 3卒	21.00	22.41	23.18	24.17	26.56	27.07		
		H26. 3卒	22.25	23.29	24.25	25.14	27.63	28.19		
		H27. 3卒	25.74	26.45	27.55	28.21	28.77	31.64		
		H28. 3卒	27.29	28.09	29.54	30.15	30.38	28.10		
		H29. 3卒	27.49	28.22	29.09	30.29	30.62	33.08		
		H30. 3卒	28.21	29.93	30.96	31.64	31.89	33.76		
		H31. 3卒	23.93	25.03	25.82	26.13	26.73	28.42		
		R2. 3卒	21.37	21.92	22.28	23.45	23.64	25.17		
		R3. 3卒	16.63	17.09	17.16	17.96	19.38	19.97		
		R4. 3卒	39.50	41.82	43.55	36.30				
		求人 倍率	県内求職者に対する求人倍率 ② / ③	H10. 3卒	0.68	0.74	0.80	0.86	0.91	0.97
				H11. 3卒	0.60	0.65	0.68	0.73	0.82	0.85
				H12. 3卒	0.46	0.49	0.51	0.57	0.62	0.60
				H13. 3卒	0.57	0.60	0.64	0.66	0.76	0.79
				H14. 3卒	0.57	0.59	0.62	0.66	0.73	0.78
				H15. 3卒	0.76	0.87	1.08	1.20	1.18	1.30
				H16. 3卒	0.64	0.72	0.78	0.90	1.00	1.00
				H17. 3卒	0.70	0.78	0.81	0.90	1.06	1.07
				H18. 3卒	0.78	0.87	0.96	1.07	1.19	1.22
				H19. 3卒	0.82	1.00	1.11	1.21	1.29	1.33
				H20. 3卒	1.34	1.45	1.46	1.62	1.68	1.63
H21. 3卒	0.78			0.86	0.90	0.93	1.04	1.05		
H22. 3卒	0.75			0.84	0.92	1.03	1.09	1.19		
H23. 3卒	0.73			0.81	0.88	1.00	1.08	1.18		
H24. 3卒	0.89			0.97	1.02	1.15	1.29	1.32		
H25. 3卒	1.32			1.43	1.52	1.64	1.82	1.86		
H26. 3卒	1.06			1.22	1.39	1.49	1.68	1.73		
H27. 3卒	1.57			1.68	1.77	1.87	1.92	2.12		
H28. 3卒	1.58			1.68	1.80	1.88	1.95	2.13		
H29. 3卒	1.80			1.92	2.01	2.11	2.14	2.32		
H30. 3卒	2.20			2.31	2.40	2.48	2.55	2.71		
H31. 3卒	1.93			2.06	2.21	2.26	2.32	2.48		
R2. 3卒	1.79			1.94	1.99	2.11	2.13	2.27		
R3. 3卒	1.44			1.56	1.59	1.69	1.84	1.90		
R4. 3卒	1.32			1.56	1.63	1.64				
求人 倍率	④ 全体（県外＋県内）			H10. 3卒	1,386	1,559	1,712	1,866	1,986	2,078
				H11. 3卒	1,176	1,336	1,455	1,542	1,671	1,817
				H12. 3卒	996	1,191	1,301	1,448	1,584	1,767
				H13. 3卒	997	1,130	1,268	1,430	1,565	1,826
				H14. 3卒	864	986	1,091	1,283	1,423	1,688
				H15. 3卒	740	946	1,131	1,298	1,522	1,749
				H16. 3卒	788	989	1,216	1,401	1,629	1,961
				H17. 3卒	817	1,069	1,292	1,466	1,678	1,931
				H18. 3卒	871	1,099	1,336	1,471	1,656	1,845
				H19. 3卒	1,067	1,279	1,564	1,693	1,847	2,039
				H20. 3卒	1,074	1,343	1,479	1,673	1,808	2,020
		H21. 3卒	1,091	1,235	1,432	1,546	1,799	1,992		
		H22. 3卒	845	998	1,152	1,278	1,430	1,629		
		H23. 3卒	876	1,075	1,236	1,379	1,516	1,717		
		H24. 3卒	874	1,018	1,204	1,337	1,452	1,721		
		H25. 3卒	1,025	1,188	1,324	1,458	1,582	1,793		
		H26. 3卒	991	1,145	1,265	1,392	1,542	1,707		
		H27. 3卒	1,187	1,333	1,486	1,570	1,618	1,792		
		H28. 3卒	1,170	1,338	1,488	1,579	1,670	1,824		
		H29. 3卒	1,282	1,436	1,558	1,652	1,731	1,876		
		H30. 3卒	1,266	1,460	1,569	1,671	1,756	1,901		
		H31. 3卒	1,340	1,482	1,604	1,693	1,778	1,888		
		R2. 3卒	1,249	1,390	1,534	1,634	1,732	1,844		
		R3. 3卒	1,105	1,228	1,418	1,554	1,588	1,701		
		R4. 3卒	1,136	1,268	1,412	1,480				

大学等の求人・求職・就職状況【大学・短大・高専】

宮崎労働局

		10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末			
内 定 者 数	⑤ うち 県 内	H10. 3卒	348	387	438	652	728	841		
		H11. 3卒	306	358	410	566	651	787		
		H12. 3卒	275	372	424	521	570	869		
		H13. 3卒	229	267	332	447	523	840		
		H14. 3卒	153	351	432	547	666	837		
		H15. 3卒	258	392	482	575	720	889		
		H16. 3卒	274	383	549	631	790	1,019		
		H17. 3卒	266	421	525	615	755	922		
		H18. 3卒	306	401	559	637	771	906		
		H19. 3卒	343	476	642	701	792	923		
		H20. 3卒	366	500	572	694	783	903		
		H21. 3卒	351	432	529	583	773	904		
		H22. 3卒	309	396	471	546	658	765		
		H23. 3卒	326	420	517	594	691	850		
		H24. 3卒	353	438	529	594	659	831		
		H25. 3卒	389	461	549	633	719	882		
		H26. 3卒	375	442	526	608	686	823		
		H27. 3卒	483	569	650	701	747	869		
		H28. 3卒	472	559	638	686	742	834		
		H29. 3卒	521	592	671	721	773	904		
		H30. 3卒	486	577	639	720	749	834		
		H31. 3卒	494	606	681	734	774	849		
		R2. 3卒	436	512	608	653	705	772		
		R3. 3卒	363	438	572	664	709	787		
		R4. 3卒	471	533	624	672				
		就 職 内 定 者 に 占 め る 県 内 内 定 者 の 割 合	⑤ / ④	H10. 3卒	25.1%	24.8%	25.6%	34.9%	36.7%	40.5%
				H11. 3卒	26.0%	26.8%	28.2%	36.7%	39.0%	43.3%
				H12. 3卒	27.6%	31.2%	32.6%	36.0%	36.0%	49.2%
				H13. 3卒	23.0%	23.6%	26.2%	31.3%	33.4%	46.0%
				H14. 3卒	17.7%	35.6%	39.6%	42.6%	46.8%	49.6%
				H15. 3卒	34.9%	41.4%	42.6%	44.3%	47.3%	50.8%
				H16. 3卒	34.8%	38.7%	45.1%	45.0%	48.5%	52.0%
				H17. 3卒	32.6%	39.4%	40.6%	42.0%	45.0%	47.7%
				H18. 3卒	35.1%	36.5%	41.8%	43.3%	46.6%	49.1%
H19. 3卒	32.1%			37.2%	41.0%	41.4%	42.9%	45.3%		
H20. 3卒	34.1%			37.2%	38.7%	41.5%	43.3%	44.7%		
H21. 3卒	32.2%			35.0%	36.9%	37.7%	43.0%	45.4%		
H22. 3卒	36.6%			39.7%	40.9%	42.7%	46.0%	47.0%		
H23. 3卒	37.2%			39.1%	41.8%	43.1%	45.6%	49.5%		
H24. 3卒	40.4%			43.0%	43.9%	44.4%	45.4%	48.3%		
H25. 3卒	38.0%			38.8%	41.5%	43.4%	45.4%	49.2%		
H26. 3卒	37.8%			38.6%	41.6%	43.7%	44.5%	48.2%		
H27. 3卒	40.7%			42.7%	43.7%	44.6%	46.2%	48.5%		
H28. 3卒	40.3%			41.8%	42.9%	43.4%	44.4%	45.7%		
H29. 3卒	40.6%			41.2%	43.1%	43.6%	44.7%	48.2%		
H30. 3卒	38.4%			39.5%	40.7%	43.1%	42.7%	43.9%		
H31. 3卒	36.9%			40.9%	42.5%	43.4%	43.5%	45.0%		
R2. 3卒	34.9%			36.8%	39.6%	40.0%	40.7%	41.9%		
R3. 3卒	32.9%			35.7%	40.3%	42.7%	44.6%	46.3%		
R4. 3卒	41.5%			42.0%	44.2%	45.4%				
内 定 率 (全 体)	④ / ③			H10. 3卒	52.9	60.6	67.6	73.9	81.4	87.6
				H11. 3卒	47.6	55.1	59.3	64.8	75.8	84.3
				H12. 3卒	44.0	53.1	58.3	65.6	74.0	84.9
				H13. 3卒	42.9	49.4	56.1	64.5	75.7	90.0
				H14. 3卒	39.2	47.3	53.5	62.2	74.0	91.6
				H15. 3卒	32.8	43.7	53.7	65.1	78.3	88.6
				H16. 3卒	34.2	43.0	54.1	65.2	79.5	92.8
				H17. 3卒	36.7	48.2	58.1	67.6	81.9	93.5
				H18. 3卒	39.7	52.0	63.2	71.5	84.8	93.6
		H19. 3卒	44.2	53.7	67.6	74.5	84.7	93.8		
		H20. 3卒	45.1	57.2	64.1	74.1	84.2	94.2		
		H21. 3卒	45.5	52.3	61.4	67.1	85.0	93.1		
		H22. 3卒	39.7	48.2	56.7	64.3	73.3	88.4		
		H23. 3卒	40.1	50.3	58.5	67.5	77.2	92.2		
		H24. 3卒	41.6	49.9	59.6	68.4	77.9	93.3		
		H25. 3卒	47.3	56.0	63.2	70.9	81.9	94.1		
		H26. 3卒	46.8	55.0	62.4	69.9	84.0	94.8		
		H27. 3卒	54.8	62.0	70.7	75.4	78.7	95.4		
		H28. 3卒	54.3	62.9	71.9	77.2	82.8	98.3		
		H29. 3卒	58.0	65.4	72.3	78.1	82.3	96.4		
		H30. 3卒	58.9	68.8	74.5	80.2	85.2	97.5		
		H31. 3卒	60.6	68.1	75.8	80.4	85.7	96.7		
		R2. 3卒	58.6	65.7	72.6	80.1	85.4	96.8		
		R3. 3卒	53.3	60.3	68.8	78.3	86.0	94.9		
R4. 3卒	56.6	63.4	72.2	75.9	82.3	94.9				

※ 宮崎大学医学部・県立看護大学は含まない。

※ 『求人人数』の(うち県内)のH10.3卒、H11.3卒には南九州大学を含まない。(未集計のため)

※ 『内定者数』の(うち県内)のH10.3卒、H11.3卒の10月～12月には宮崎産経大学を含まない。(未集計のため)

求職者数・内定状況の推移【大学】

宮崎労働局

		10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末
求職者数	H10. 3卒	2,016	1,977	1,938	1,927	1,861	1,800
	H11. 3卒	1,812	1,771	1,801	1,736	1,575	1,546
	H12. 3卒	1,634	1,613	1,611	1,588	1,529	1,470
	H13. 3卒	1,682	1,656	1,631	1,623	1,486	1,482
	H14. 3卒	1,612	1,497	1,449	1,473	1,374	1,281
	H15. 3卒	1,701	1,612	1,557	1,461	1,401	1,417
	H16. 3卒	1,613	1,594	1,554	1,471	1,461	1,494
	H17. 3卒	1,578	1,557	1,528	1,461	1,399	1,388
	H18. 3卒	1,464	1,387	1,387	1,363	1,279	1,282
	H19. 3卒	1,739	1,701	1,634	1,611	1,540	1,528
	H20. 3卒	1,772	1,737	1,703	1,657	1,539	1,532
	H21. 3卒	1,795	1,761	1,733	1,705	1,544	1,559
	H22. 3卒	1,535	1,496	1,481	1,446	1,414	1,315
	H23. 3卒	1,628	1,580	1,560	1,495	1,422	1,337
	H24. 3卒	1,612	1,557	1,538	1,484	1,399	1,384
	H25. 3卒	1,664	1,627	1,597	1,566	1,456	1,429
	H26. 3卒	1,643	1,617	1,570	1,541	1,394	1,366
	H27. 3卒	1,628	1,616	1,572	1,559	1,533	1,371
	H28. 3卒	1,697	1,675	1,620	1,597	1,564	1,402
	H29. 3卒	1,734	1,718	1,678	1,647	1,639	1,486
H30. 3卒	1,718	1,692	1,676	1,654	1,633	1,522	
H31. 3卒	1,746	1,711	1,653	1,647	1,619	1,499	
R2. 3卒	1,708	1,698	1,692	1,623	1,614	1,493	
R3. 3卒	1,639	1,610	1,642	1,570	1,439	1,390	
R4.3卒	1,587	1,595	1,558	1,550			
内定者数	H10. 3卒	1,120	1,251	1,368	1,470	1,522	1,547
	H11. 3卒	935	1,048	1,115	1,153	1,230	1,263
	H12. 3卒	788	902	957	1,016	1,087	1,176
	H13. 3卒	762	864	948	1,012	1,084	1,291
	H14. 3卒	674	742	792	910	970	1,152
	H15. 3卒	579	696	831	940	1,065	1,235
	H16. 3卒	626	763	878	1,011	1,122	1,362
	H17. 3卒	600	733	878	990	1,139	1,292
	H18. 3卒	588	768	865	950	1,059	1,181
	H19. 3卒	804	938	1,088	1,167	1,279	1,414
	H20. 3卒	797	987	1,074	1,180	1,282	1,424
	H21. 3卒	818	919	1,072	1,159	1,284	1,431
	H22. 3卒	619	724	831	906	1,003	1,146
	H23. 3卒	630	775	879	977	1,066	1,221
	H24. 3卒	607	711	861	973	1,058	1,282
	H25. 3卒	755	887	985	1,094	1,182	1,343
	H26. 3卒	717	842	935	1,028	1,149	1,286
	H27. 3卒	848	959	1,073	1,138	1,164	1,302
	H28. 3卒	853	976	1,098	1,173	1,245	1,379
	H29. 3卒	952	1,065	1,156	1,232	1,289	1,421
H30. 3卒	967	1,118	1,196	1,274	1,343	1,475	
H31. 3卒	1,028	1,109	1,198	1,261	1,331	1,438	
R2. 3卒	960	1,053	1,157	1,242	1,330	1,438	
R3. 3卒	869	966	1,080	1,177	1,200	1,306	
R4.3卒	883	980	1,078	1,119			
内定率	H10. 3卒	55.6	63.3	70.6	76.3	81.8	85.9
	H11. 3卒	51.6	59.2	61.9	66.4	78.1	81.7
	H12. 3卒	48.2	55.9	59.4	64.0	71.1	80.0
	H13. 3卒	45.3	52.2	58.1	62.4	72.9	87.1
	H14. 3卒	41.8	49.6	54.7	61.8	70.6	89.9
	H15. 3卒	34.0	43.2	53.4	64.3	76.0	87.2
	H16. 3卒	38.8	47.9	56.5	68.7	76.8	91.2
	H17. 3卒	38.0	47.1	57.5	67.8	81.4	93.1
	H18. 3卒	40.2	55.4	62.4	69.7	82.8	92.1
	H19. 3卒	46.2	55.1	66.6	72.4	83.1	92.5
	H20. 3卒	45.0	56.8	63.1	71.2	83.3	93.0
	H21. 3卒	45.6	52.2	61.9	68.0	83.2	91.8
	H22. 3卒	40.3	48.4	56.1	62.7	70.9	87.1
	H23. 3卒	38.7	49.1	56.3	65.4	75.0	91.3
	H24. 3卒	37.7	45.7	56.0	65.6	75.6	92.6
	H25. 3卒	45.4	54.5	61.7	69.9	81.2	94.0
	H26. 3卒	43.6	52.1	59.6	66.7	82.4	94.1
	H27. 3卒	52.1	59.3	68.3	73.0	75.9	95.0
	H28. 3卒	50.3	58.3	67.8	73.5	79.6	98.4
	H29. 3卒	54.9	62.0	68.9	74.8	78.6	95.6
H30. 3卒	56.3	66.1	71.4	77.0	82.2	96.9	
H31. 3卒	58.9	64.8	72.5	76.6	82.2	95.9	
R2. 3卒	56.2	62.0	68.4	76.5	82.4	96.3	
R3. 3卒	53.0	60.0	65.8	75.0	83.4	94.0	
R4.3卒	55.6	61.4	69.2	72.2			
前年との増減幅	2.6	1.4	3.4	-2.8			

※ 宮崎大学医学部・県立看護大学は含まない。

求職者数・内定状況の推移【短大】

宮崎労働局

参考2

		10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末
求 職 者 数	H10. 3卒	489	479	475	480	460	456
	H11. 3卒	528	525	525	517	506	487
	H12. 3卒	517	516	506	504	498	499
	H13. 3卒	516	508	508	475	460	432
	H14. 3卒	489	491	493	492	451	467
	H15. 3卒	457	457	454	437	447	465
	H16. 3卒	606	605	599	582	491	516
	H17. 3卒	536	553	588	599	543	570
	H18. 3卒	612	611	611	580	558	575
	H19. 3卒	560	563	565	545	525	532
	H20. 3卒	497	497	494	492	499	502
	H21. 3卒	501	502	500	500	473	482
	H22. 3卒	477	457	434	427	423	419
	H23. 3卒	446	445	442	436	430	416
	H24. 3卒	364	357	355	344	341	337
	H25. 3卒	382	372	374	369	356	359
	H26. 3卒	350	342	338	332	324	321
	H27. 3卒	403	401	396	390	389	375
	H28. 3卒	335	332	329	328	332	333
	H29. 3卒	356	356	355	346	342	340
	H30. 3卒	316	313	315	313	313	311
H31. 3卒	340	339	339	336	333	331	
R2. 3卒	308	301	304	298	296	294	
R3. 3卒	307	300	292	290	283	279	
R4. 3卒	312	311	303	304			
内 定 者 数	H10. 3卒	155	191	227	278	346	415
	H11. 3卒	126	170	219	266	317	431
	H12. 3卒	111	190	239	324	386	479
	H13. 3卒	132	163	211	303	364	423
	H14. 3卒	114	161	214	287	367	447
	H15. 3卒	88	174	218	274	373	423
	H16. 3卒	90	138	248	297	414	500
	H17. 3卒	121	239	309	373	436	534
	H18. 3卒	170	219	358	408	482	549
	H19. 3卒	156	232	364	414	454	512
	H20. 3卒	172	249	296	384	416	486
	H21. 3卒	178	220	264	290	415	462
	H22. 3卒	117	164	210	259	314	374
	H23. 3卒	139	192	247	292	340	386
	H24. 3卒	151	187	221	242	271	315
	H25. 3卒	159	188	223	248	282	333
	H26. 3卒	157	184	211	245	276	307
	H27. 3卒	208	242	281	300	322	358
	H28. 3卒	199	242	270	286	304	324
	H29. 3卒	210	251	282	299	321	335
	H30. 3卒	184	227	258	282	298	310
H31. 3卒	187	248	282	309	325	328	
R2. 3卒	176	223	262	275	285	289	
R3. 3卒	116	141	216	255	267	272	
R4. 3卒	153	198	243	269			
内 定 率	H10. 3卒	31.7	39.9	47.8	57.9	75.2	91.0
	H11. 3卒	23.9	32.4	41.7	51.5	62.6	88.5
	H12. 3卒	21.5	36.8	47.2	64.3	77.5	96.0
	H13. 3卒	25.6	32.1	41.5	63.8	79.1	97.9
	H14. 3卒	23.3	32.8	43.4	58.3	81.4	95.7
	H15. 3卒	19.3	38.1	48.0	62.7	83.4	91.0
	H16. 3卒	14.9	22.8	41.4	51.0	84.3	96.9
	H17. 3卒	22.6	43.2	52.6	62.3	80.3	93.7
	H18. 3卒	27.8	35.8	58.6	70.3	86.4	95.5
	H19. 3卒	27.9	41.2	64.4	76.0	86.5	96.2
	H20. 3卒	34.6	50.1	59.9	78.0	83.4	96.8
	H21. 3卒	35.5	43.8	52.8	58.0	87.7	95.9
	H22. 3卒	24.5	35.9	48.4	60.7	74.2	89.3
	H23. 3卒	31.2	43.1	55.9	67.0	79.1	92.8
	H24. 3卒	41.5	52.4	62.3	70.3	79.5	93.5
	H25. 3卒	41.6	50.5	59.6	67.2	79.2	92.8
	H26. 3卒	44.9	53.8	62.4	73.8	85.2	95.6
	H27. 3卒	51.6	60.3	71.0	76.9	82.8	95.5
	H28. 3卒	59.4	72.9	82.1	87.2	91.6	97.3
	H29. 3卒	59.0	70.5	79.4	86.4	93.9	98.5
	H30. 3卒	58.2	72.5	81.9	90.1	95.2	99.7
H31. 3卒	55.0	73.2	83.2	92.0	97.6	99.1	
R2. 3卒	57.1	74.1	86.2	92.3	96.3	98.3	
R3. 3卒	37.8	47.0	74.0	87.9	94.3	97.5	
R4. 3卒	49.0	63.7	80.2	88.5			
前年との増減幅	11.2	16.7	6.2	0.6			

求職者数・内定状況の推移【高専】

宮崎労働局

参考2

		10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末
求 職 者 数	H10. 3卒	116	118	118	119	119	116
	H11. 3卒	128	128	128	126	124	123
	H12. 3卒	114	114	115	114	113	113
	H13. 3卒	124	122	120	120	121	116
	H14. 3卒	102	98	97	97	97	95
	H15. 3卒	96	96	95	95	95	93
	H16. 3卒	88	102	96	97	97	103
	H17. 3卒	111	109	108	108	108	108
	H18. 3卒	116	115	115	115	115	115
	H19. 3卒	117	117	115	115	115	114
	H20. 3卒	110	112	112	110	110	110
	H21. 3卒	100	99	99	100	100	99
	H22. 3卒	115	116	116	116	115	109
	H23. 3卒	113	112	112	112	111	110
	H24. 3卒	126	126	126	126	124	124
	H25. 3卒	123	124	123	120	119	117
	H26. 3卒	123	123	120	119	117	114
	H27. 3卒	134	133	133	133	133	132
	H28. 3卒	122	120	120	120	121	121
	H29. 3卒	122	122	122	122	122	121
H30. 3卒	116	116	116	116	116	116	
H31. 3卒	126	126	124	123	122	122	
R2. 3卒	117	117	118	118	117	117	
R3. 3卒	127	127	127	125	124	124	
R4. 3卒	107	95	95	95			
内 定 者 数	H10. 3卒	111	117	117	118	118	116
	H11. 3卒	115	118	121	123	124	123
	H12. 3卒	97	99	105	108	111	112
	H13. 3卒	103	103	109	115	117	112
	H14. 3卒	76	83	85	86	86	89
	H15. 3卒	73	76	82	84	84	91
	H16. 3卒	72	88	90	93	93	99
	H17. 3卒	96	97	105	103	103	105
	H18. 3卒	113	112	113	113	115	115
	H19. 3卒	107	109	112	112	114	113
	H20. 3卒	105	107	109	109	110	110
	H21. 3卒	95	96	96	97	100	99
	H22. 3卒	109	110	111	113	113	109
	H23. 3卒	107	108	110	110	110	110
	H24. 3卒	116	120	122	122	123	124
	H25. 3卒	111	113	116	116	118	117
	H26. 3卒	117	119	119	119	117	114
	H27. 3卒	131	132	132	132	132	132
	H28. 3卒	118	120	120	120	121	121
	H29. 3卒	120	120	120	121	121	120
H30. 3卒	115	115	115	115	115	116	
H31. 3卒	125	125	124	123	122	122	
R2. 3卒	113	114	115	117	117	117	
R3. 3卒	120	121	122	122	121	123	
R4. 3卒	100	90	91	92			
内 定 率	H10. 3卒	95.7	99.2	99.2	99.2	99.2	100.0
	H11. 3卒	89.8	92.2	94.5	97.6	100.0	100.0
	H12. 3卒	85.1	86.8	91.3	94.7	98.2	99.1
	H13. 3卒	83.1	84.4	90.8	95.8	96.7	96.6
	H14. 3卒	74.5	84.7	87.6	88.7	88.7	93.7
	H15. 3卒	76.0	79.2	86.3	88.4	88.4	97.8
	H16. 3卒	81.8	86.3	93.8	95.9	95.9	96.1
	H17. 3卒	86.5	89.0	97.2	95.4	95.4	97.2
	H18. 3卒	97.4	97.4	98.3	98.3	100.0	100.0
	H19. 3卒	91.5	93.2	97.4	97.4	99.1	99.1
	H20. 3卒	95.5	95.5	97.3	99.1	100.0	100.0
	H21. 3卒	95.0	97.0	97.0	97.0	100.0	100.0
	H22. 3卒	94.8	94.8	95.7	97.4	98.3	100.0
	H23. 3卒	94.7	96.4	98.2	98.2	99.1	100.0
	H24. 3卒	92.1	95.2	96.8	96.8	99.2	100.0
	H25. 3卒	90.2	91.1	94.3	96.7	99.2	100.0
	H26. 3卒	95.1	96.7	99.2	100.0	100.0	100.0
	H27. 3卒	97.8	99.2	99.2	99.2	99.2	100.0
	H28. 4卒	96.7	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	H29. 3卒	98.4	98.4	98.4	99.2	99.2	99.2
H30. 3卒	99.1	99.1	99.1	99.1	99.1	100.0	
H31. 3卒	99.2	99.2	100.0	100.0	100.0	100.0	
R2. 3卒	96.6	97.4	97.5	99.2	100.0	100.0	
R3. 3卒	94.5	95.3	96.1	97.6	97.6	99.2	
R4. 3卒	93.5	94.7	95.8	96.8			
前年との増減幅	-1.0	-0.6	-0.3	-0.8			



宮崎労働局発表
令和4年3月4日

【照会先】宮崎労働局雇用環境・均等室
室長 狭間 美恵
監理官 中玉利 浩治
室長補佐 黒木 章寛
(電話) 0985-38-8821

ERUBOSHI

1.株式会社 矢野興業



- 宮崎市 ●建設業
- 令和3年12月15日認定

宮崎労働局（局長 田中大介）は、上記企業を、「女性活躍推進法」に基づき、認定しました。

今回の認定により、当局管内のえるぼし認定企業数は**6社**、となりました。

宮崎県内で初めて建設業での認定企業となります。

交付式開催のご案内

- 【日時】 令和4年3月8日（火） 15時00分～
- 【場所】 宮崎労働局4階労働基準部大会議室（宮崎市橘通東3丁目1番22号）
- 【内容】 局長あいさつ・認定通知書の交付・記念撮影

※取材連絡について

報道各社におかれましては、当日の写真撮影及び交付式終了後の認定企業への取材は可能です。取材の際はご一報お願い致します。

えるぼし
認定通知書交付式を開催します



女性活躍推進に基づく「えるぼし認定」について

女性活躍推進法は、女性の個性と能力が十分に発揮できる社会の実現を目指すための法律です。

この法律に基づいて、事業主は、自社における女性の活躍を推進するための雇用環境整備や多様な労働条件整備に取り組むために「一般事業主行動計画」を策定することになっています。

行動計画の策定・届出を行った事業主のうち、女性の活躍推進に関する取組の実施状況が優良である等の一定の要件を満たした事業主は、申請により「女性活躍推進企業」として、厚生労働大臣の認定を受けることができます。

なお、認定段階は基準を満たした数に応じて3段階あります。

CONTENT

資料 No.

01. えるぼし認定企業 株式会社 矢野興業の取組状況
02. えるぼし認定企業一覧
03. えるぼし認定の概要

株式会社 矢野興業

所在地：宮崎県宮崎市

事業内容：建設業

代表者：代表取締役 矢野 智久

労働者数：52名（女性7名）

認定段階：2段階目



【評価項目】

1 労働時間等の働き方

⇒ 労働者1人当たりの時間外労働及び休日労働の合計時間数の平均が全ての月において、45時間未満である。

2 管理職比率

管理職に占める女性労働者の割合が産業ごとの平均値以上である。

⇒ 管理職に占める女性労働者の割合 4.8% > 産業平均値 2.4%

3 多様なキャリアコース

1項目について実績あり。

⇒ おおむね30歳以上の女性を通常の労働者として採用 1人

以上、3つの評価項目が、全ての認定基準に適合している。



えるぼし認定企業一覧



【R3年12月末現在】

認定企業数 6社

認定 件数	企業名	認定段階	所在地 (市町村)	業種	労働者数	認定年月
1	社会福祉法人常陽社会福祉事業団	★★	都城市	医療・福祉	191名	2019/3/1
2	えびの電子工業株式会社	★★★	えびの市	製造業	683名	2019/11/29
3	社会福祉法人浄信会	★★★	小林市	医療・福祉	137名	2020/10/16
4	株式会社長友総研	★★★	宮崎市	専門・技術 サービス業	14名	2020/11/17
5	A's社会保険労務士法人	★★	宮崎市	専門・技術 サービス業	5名	2021/9/28
6	株式会社矢野興業	★★	宮崎市	建設業	52名	2021/12/15

▶ 女性活躍推進法に基づく認定制度の概要

一般事業主行動計画の策定・届出を行った事業主のうち、女性の活躍推進に関する状況が優良である事業主は、都道府県労働局への申請により、厚生労働大臣の認定を受けることができます。

▶▶ 認定取得のメリット

認定を受けた事業主は、厚生労働大臣が定める認定マークを商品や広告等に付すことができ、女性活躍推進企業であることをPRすることができます。

認定を受けた事業主であることをPRすることにより、優秀な人材の確保や企業イメージの向上等につながることが期待できます。

▶▶ 認定の段階

「えるぼし」認定は、評価基準を満たす項目数に応じて3段階あります。また、2019年（令和元年）5月に女性活躍推進法が改正され、「えるぼし」認定を受けた事業主のうち、女性の活躍推進に関する取組の実施の状況が特に優良な事業主を認定する「プラチナえるぼし」認定ができました。

※「プラチナえるぼし」認定の施行は2020年（令和2年）6月1日から施行されています。

<p>プラチナえるぼし</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 策定した一般事業主行動計画に基づく取組を実施し、当該行動計画に定めた目標を達成したこと。 男女雇用機会均等推進者、職業家庭両立推進者を選任していること。（※） プラチナえるぼしの管理職比率、労働時間等の5つの基準の全てを満たしていること（※） 女性活躍推進法に基づく情報公表項目（社内制度の概要を除く。）のうち、8項目以上を「女性の活躍推進企業データベース」で公表していること。（※） <p>（※）実績を「女性の活躍推進企業データベース」に毎年公表することが必要</p>
<p>えるぼし （3段階目）</p> 	<ul style="list-style-type: none"> えるぼしの管理職比率、労働時間等の5つの基準の全てを満たし、その実績を「女性の活躍推進企業データベース」に毎年公表していること。
<p>えるぼし （2段階目）</p> 	<ul style="list-style-type: none"> えるぼしの管理職比率、労働時間等の5つの基準のうち3つ又は4つの基準を満たし、その実績を「女性の活躍推進企業データベース」に毎年公表していること。 満たさない基準については、事業主行動計画策定指針に定められた取組の中から当該基準に関連するものを実施し、その取組の実施状況について「女性の活躍推進企業データベース」に公表するとともに、2年以上連続してその実績が改善していること。
<p>えるぼし （1段階目）</p> 	<ul style="list-style-type: none"> えるぼしの管理職比率、労働時間等の5つの基準のうち1つ又は2つの基準を満たし、その実績を「女性の活躍推進企業データベース」に毎年公表していること。 満たさない基準については、事業主行動計画策定指針に定められた取組の中から当該基準に関連するものを実施し、その取組の実施状況について「女性の活躍推進企業データベース」に公表するとともに、2年以上連続してその実績が改善していること。

▶ 「女性の職業生活における活躍の状況に関する実績に係る基準」

「1 採用」、「2 継続就業」、「3 労働時間等の働き方」、「4 管理職比率」、「5 多様なキャリアコース」の5つの評価項目があります。

▶▶ 1 採用 (区) ※下線部は、2020年(令和2年)6月1日から新たに追加されています。

次の(i)と(ii)のいずれかに該当すること。

(i) 男女別の採用における競争倍率(応募者数/採用者数)が同程度であること。

(直近3事業年度の平均した「採用における女性の競争倍率×0.8」が、直近3事業年度の平均した「採用における男性の競争倍率」よりも雇用管理区分ごとにそれぞれ低いこと(期間の定めのない労働契約を締結する労働者として雇い入れることを目的とするものに限る。)

(ii) 直近の事業年度において、次の①と②の両方に該当すること。

① 正社員に占める女性労働者の割合が産業ごとの平均値(平均値が4割を超える場合は4割)以上であること。

② 正社員の基幹的な雇用管理区分における女性労働者の割合が産業ごとの平均値(平均値が4割を超える場合は4割)以上であること。

(※) 正社員に雇用管理区分を設定していない場合は、①のみに該当すれば足りる。

- ・(i)女性(男性)の競争倍率
「女性(男性)の応募者数(実質的な採用選考が始まった段階の人数)÷「女性(男性)採用者数(内定者を含んでもよい)」
- ・(i)中途採用を含む
- ・(i)直近3事業年度の女性(男性)の競争倍率の平均値
{「直近事業年度の女性(男性)の競争倍率」+「(直近-1)事業年度の女性(男性)の競争倍率」+「(直近-2)事業年度の女性(男性)の競争倍率」}÷3
- ・(ii)②「平均値」は雇用環境・均等局長が別に定める産業ごとの平均値。詳細は厚生労働省ホームページ(女性活躍推進法特集ページ)へ。

▶▶ 2 継続就業 (区) ※下線部は、2020年(令和2年)6月1日から新たに追加されています。

(i) 直近の事業年度において、次の①と②のいずれかに該当すること。

① 「女性労働者の平均継続勤務年数」÷「男性労働者の平均継続勤務年数」が雇用管理区分ごとにそれぞれ**7割以上**であること。

(※) 期間の定めのない労働契約を締結している労働者に限る。

② 「女性労働者の継続雇用割合」÷「男性労働者の継続雇用割合」が雇用管理区分ごとにそれぞれ**8割以上**であること。

(※) 新規学卒採用者等として雇い入れた労働者であって、期間の定めのない労働契約を締結している労働者に限る。

(ii) (i)を算出することができない場合は、以下でも可。

直近の事業年度において、正社員の女性労働者の平均継続勤務年数が産業ごとの平均値以上であること。

- ・(i)①平均継続勤務年数を算出するにあたり、有期雇用から無期雇用に変換した者については、有期雇用として勤務していた期間についても原則含む(それまでの継続勤務年数が明確でない場合は、改正労働契約法の施行日である2013年(平成25年)4月1日から状況把握日まで勤務継続していることとして差し支えない。また、転換者以外の無期雇用とは別の雇用管理区分としても差し支えない。)
- ・(i)②女性(男性)の継続雇用割合
「9~11事業年度前に採用した女性(男性)労働者であって現在雇用されている者の数」÷「9~11事業年度前に採用した女性(男性)労働者の数」
- ・(ii)「平均値」は雇用環境・均等局長が別に定める産業ごとの平均値。詳細は厚生労働省ホームページ(女性活躍推進法特集ページ)へ。

▶▶ 3 労働時間等の働き方 (区)

雇用管理区分ごとの労働者の法定時間外労働及び法定休日労働時間の合計時間数の平均が、直近の事業年度の各月ごとに全て45時間未満であること。

- ・ 「各月の対象労働者の(法定時間外労働+法定休日労働)の総時間数の合計」÷「対象労働者数」< 45 時間

これにより難しい場合は、

- ・ [「各月の対象労働者の総労働時間数の合計」 - 「各月の法定労働時間の合計 = (40×各月の日数÷7)×対象労働者数」] ÷「対象労働者数」< 45 時間

- ・ 対象者について、

事業場外みなし労働時間制の適用を受ける労働者(労働基準法第38条の2)

専門業務型裁量労働制の適用を受ける労働者(労働基準法第38条の3)

企画業務型裁量労働制の適用を受ける労働者(労働基準法第38条の4)

管理監督者(労働基準法第41条)

高度プロフェッショナル制度の適用を受ける労働者(労働基準法第41条の2)

を除く

- ・ 「各月の労働者数」については、当該月の初日から末日まで従事した労働者をカウントし、各月の「法定時間外労働」、「法定休日労働」、「総労働時間」については、当該月の初日から末日まで従事した労働者の「法定時間外労働」、「法定休日労働」、「総労働時間」をカウントする。

▶▶ 4 管理職比率

次の(i)と(ii)のいずれかに該当すること。

(i) 直近の事業年度において、管理職に占める女性労働者の割合が産業ごとの平均値以上であること。

(ii) 「直近3事業年度の平均した1つ下位の職階から課長級に昇進した女性労働者の割合」÷「直近3事業年度の平均した1つ下位の職階から課長級に昇進した男性労働者の割合」が8割以上であること。

- ・ 「管理職」とは、「課長級」と「課長級より上位の役職(役員を除く)」にある労働者の合計

「課長級」とは、以下のいずれかに該当する者

- ・ 事業所で通常「課長」と呼ばれている者であって、2係以上の組織からなり、若しくは、その構成員が10人以上(課長含む)の長
- ・ 同一事業所において、課長の他に、呼称、構成員に関係なく、その職務の内容及び責任の程度が「課長級」に相当する者(ただし、一番下の職階ではないこと)
- ・ (i) 「平均値」は雇用環境・均等局長が別に定める産業ごとの平均値。詳細は厚生労働省ホームページ(女性活躍推進法特集ページ)へ。
- ・ (ii) 1つ下位の職階から課長級に昇進した女性(男性)労働者の割合(＊)
「直近の事業年度に課長級に昇進した女性(男性)労働者の数」÷「直近の事業年度開始の日に課長級より1つ下の職階の女性(男性)労働者の数」
- ・ (ii) 直近3事業年度の平均値
{「直近の事業年度の(＊)」+「(直近-1)事業年度の(＊)」+「(直近-2)事業年度の(＊)」}÷3
- ・ (ii) 昇進にあたって、一定の勤務年数や、1つ下位の職階に昇進してからの滞留年数を要件としている場合は、分母(1つ下位の職階にある労働者総数)について、当該要件に該当する者に限定しても差し支えない。

▶▶ 5 多様なキャリアコース

直近の3事業年度のうち、以下ア～エについて、

- ・常時雇用する労働者数が301人以上の事業主は2項目以上（非正社員がいる場合は必ずアを含むこと）
- ・常時雇用する労働者数が300人以下の事業主は1項目以上の実績を有すること

ア 女性の非正社員から正社員への転換（派：雇入れ）

イ 女性労働者のキャリアアップに資する雇用管理区分間の転換

ウ 過去に在籍した女性の正社員としての再雇用

エ おおむね30歳以上の女性の正社員としての採用

- ・「非正社員」には、派遣労働者を含む。
- ・「短時間正社員」については、「正社員」に該当する。
「短時間正社員」とは、他の正規型のフルタイムの労働者と比較し、その所定労働時間（所定労働日数）が短い正規型の労働者であって、以下の①、②のいずれにも該当する者
 - ①期間の定めのない労働契約を締結している者
 - ②時間当たりの基本給及び賞与・退職金等の算定方法等が同一事業所に雇用される同種のフルタイムの正規型の労働者と同等である者

【留意点】

- **区**の表示のある項目については、雇用管理区分ごとに把握を行うことが必要。

※「雇用管理区分」とは

職種、資格、雇用形態、就業形態等の労働者の区分であって、当該区分に属している労働者について他の区分に属している労働者と異なる雇用管理を行うことを予定して設定しているものをいう。雇用管理区分が同一かの判断にあたっては、従事する職務の内容、人事異動(転勤、昇進・昇格を含む)の幅や頻度において他の区分に属する労働者との間に、客観的・合理的な違いが存在しているかによって判断する。

(例：総合職（事務系）、総合職（技術系）、一般職（事務系）、契約社員、パートタイム労働者 / 総合職、エリア総合職、一般職 / 事務職、技術職、専門職、現業職 など)

- 雇用管理区分ごとに算出する場合において、属する労働者数が全労働者数の1割程度に満たない雇用管理区分がある場合は、職務内容等に照らし類似の雇用管理区分とまとめて算出して差し支えない。ただし、雇用形態が異なる場合には、まとめて算出することはできない。

職務の内容等に照らし、類似の雇用管理区分をまとめるにあたっては、賃金待遇やキャリアの見通し等に大きな違いがないものに限るよう留意すること。

- 「直近の事業年度」とは、原則として、認定申請を行う事業年度の前の事業年度とする。

ただし、例えば事業年度が毎年4月1日から翌年の3月31日までである事業主が、4月1日に認定申請をしようとする場合など、申請時に前の事業年度の数字を把握することが困難な項目については、前々事業年度までの数値等を用いることができる。

なお、事業年度については、必ずしも「4月1日から翌年の3月31日」となっていなくても、各社における事業年度として差し支えない。

- 「正社員」とは、短時間労働者及び有期雇用労働者の雇用管理の改善等に関する法律（平成5年法律第76号。以下「パート・有期雇用労働法」という。）第2条に規定する通常の労働者をいう。

「非正社員」とは、正社員以外の者をいう。

宮崎労働局発表
令和4年3月4日

【照会先】
宮崎労働局労働基準部労災補償課
労災補償課長 富樫 明
労災管理調整官 西田 和典
(代表電話)0985(38)8825
(直通電話)0985(38)8837

建設アスベスト給付金制度が創設されました

この給付金制度は、昭和47年10月1日～平成16年9月30日の間に建設現場で石綿にばく露し、石綿関連の疾病を発症された労働者、一人親方やそのご遺族の方に対して、一定の要件を満たす場合には、病態区分等に応じて550万円から1,300万円の給付金が支給されます。

既に、労災保険給付（特別加入制度に基づく給付を含む）等を現に受けているまたは既に受けた方であっても、給付金の支給を受けることができます。

1 対象者

以下の①～③の要件を満たす方が対象となります。

- ① 次の表の期間ごとに、表に記載している石綿にさらされる建設業務に従事することにより、
- ② 石綿関連疾病※にかかった
- ③ 労働者や、一人親方・中小事業主（家族従事者等を含む）であること

期間	業務
昭和47年10月1日～昭和50年9月30日	石綿の吹付け作業に係る建設業務
昭和50年10月1日～平成16年9月30日	一定の屋内作業場で行われた作業に係る建設業務

※石綿関連疾病：中皮腫、肺がん、著しい呼吸機能障害を伴うびまん性胸膜肥厚、石綿肺（じん肺管理区分が管理2～4）、良性石綿胸水

2 給付金の請求手続き

具体的な給付金の請求手続きとしては、給付金の請求に必要な書類をそろえ、「厚生労働省労働基準局労災管理課建設アスベスト給付金担当」あて郵送してください。相談窓口として、「労災保険相談ダイヤル」（0570-006031）を設置しておりますので、ご不明な点などあればご相談ください。

昭和47年10月1日～平成16年9月30日の間に

建設現場で石綿にばく露し、

資料1

石綿関連の疾病を発症された

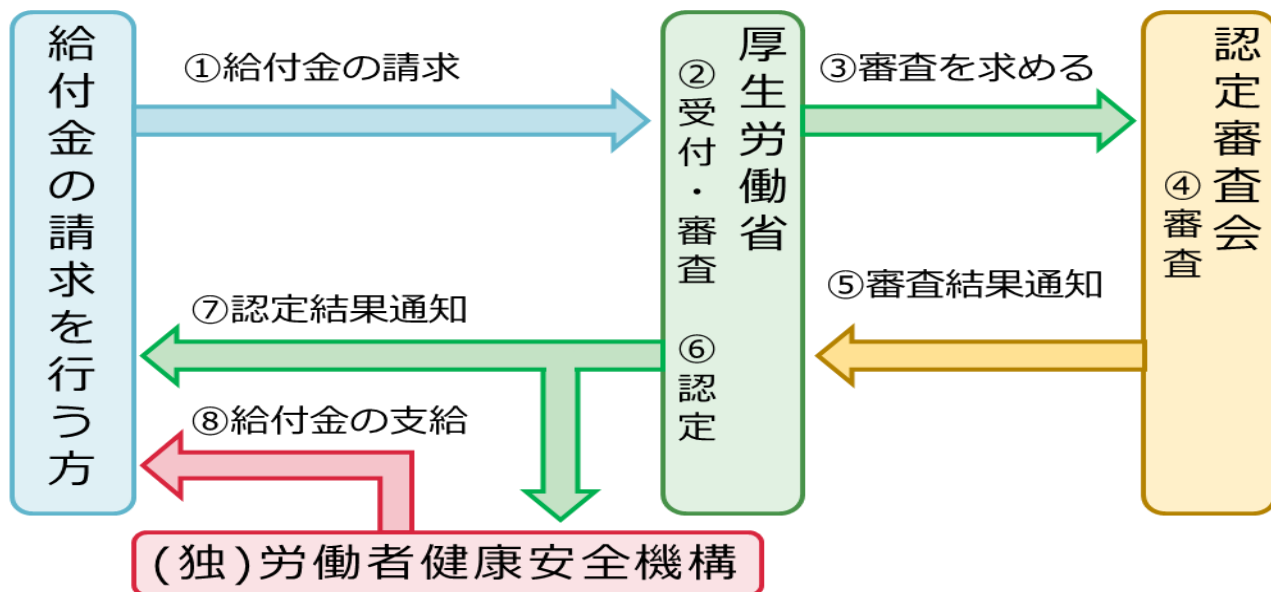
労働者、一人親方やそのご遺族の皆様へ

～建設アスベスト給付金制度が創設されました～

一定の要件を満たす場合には、給付金等が支給されます。

給付金制度のしくみ

給付金制度のしくみは、以下のとおりです。



※「① 給付金の請求」に関し、厚生労働省から請求者の方にご連絡し、不足書類や追加資料の提出をお願いをする場合があります。

※認定・不認定の結果については、書面でご連絡します。

給付金及び追加給付金（給付金等）の対象者

以下の①～③の要件を満たす方が対象となります。

- ① 次の表の期間ごとに、表に記載している石綿にさらされる建設業務に従事することにより、
- ② 石綿関連疾病にかかった
- ③ 労働者や、一人親方・中小事業主（家族従事者等を含む）であること

期間	業務
昭和47年10月1日～昭和50年9月30日	石綿の吹付け作業に係る建設業務
昭和50年10月1日～平成16年9月30日	一定の屋内作業場で行われた作業に係る建設業務

※ 表の期間及び業務は、最高裁判決を踏まえ定められたものです。

※ 石綿関連疾病：

- (1) 中皮腫
- (2) 肺がん
- (3) 著しい呼吸機能障害を伴うびまん性胸膜肥厚
- (4) 石綿肺（じん肺管理区分が管理2～4）
- (5) 良性石綿胸水

※ ご本人がお亡くなりになられている場合には、ご遺族（配偶者、子、父母、孫、祖父母又は兄弟姉妹）からの請求が可能です。

給付金等の主要内容

給付金の支給を希望される方からの請求に基づき、認定審査会において審査を行います。厚生労働大臣は、認定審査会の審査の結果に基づいて、病態区分に応じ、以下の給付金を支給します。

1	石綿肺管理2でじん肺法所定の合併症のない者	550万円
2	石綿肺管理2でじん肺法所定の合併症のある者	700万円
3	石綿肺管理3でじん肺法所定の合併症のない者	800万円
4	石綿肺管理3でじん肺法所定の合併症のある者	950万円
5	中皮腫、肺がん、著しい呼吸機能障害を伴うびまん性胸膜肥厚、石綿肺管理4、良性石綿胸水である者	1,150万円
6	上記1及び3により死亡した者	1,200万円
7	上記2、4及び5により死亡した者	1,300万円

※ 給付金を支給された後、症状が悪化した方には、請求に基づき、追加給付金（表における区分の差額分）を支給します。

※ 石綿にさらされる建設業務に従事した期間が一定の期間未満の方、肺がんの方で喫煙の習慣があった方については、それぞれ給付金等の額が1割減額されます。

給付金等の請求手続き

給付金の請求に必要な書類をそろえ、以下の宛先まで簡易書留やレターパックなど、配達状況や到着の確認ができる方法で郵送してください。

詳細は厚生労働省HPやパンフレット「建設アスベスト給付金制度の概要」、「建設アスベスト給付金請求の手引き」を参照してください。

〒100-8916

東京都千代田区霞が関1-2-2 中央合同庁舎第5号館

厚生労働省労働基準局労災管理課

建設アスベスト給付金担当 あて

(厚労省HP)



なお、労災保険の支給決定等を受けた後であれば、給付金等の認定審査を迅速に行うことができる場合がありますので、給付金等の請求に先んじて労災保険給付の請求をご検討ください。

労災支給決定等情報提供サービスをご活用ください

給付金の請求手続きの利便性の向上を図るため、「石綿関連疾病に関する労災保険給付の支給決定」や「石綿救済法の特別遺族給付金の支給決定」をすでに受けた方や、そのご遺族に対し、これらの支給決定情報について情報提供サービスを実施します。

- ✓ このサービスを利用いただくと、給付金の請求書記載への利用や添付書類の一部を省略することができます。
- ✓ 情報提供サービスは無料でご利用いただけます。

給付金等の請求期限

給付金等については、①石綿関連疾病にかかった旨の医師の診断日又は②石綿肺に係るじん肺管理区分の決定日（③石綿関連疾病により死亡したときは、死亡日）から20年以内に請求していただく必要があります。

相談窓口（労災保険相談ダイヤル）

相談窓口も設置しておりますので、必要に応じてご連絡ください。

0570-006031

※月曜日～金曜日 8:30～17:15（土・日・祝日・年末年始はお休みします）

※ご利用の際は、通話料がかかります。

I P 電話など、一部の電話からはご利用になれません。

宮崎労働局発表
令和4年3月4日

【照会先】

宮崎労働局労働基準部監督課
課長 森川 直哉
監察監督官 谷宮 俊実
電話 0985-38-8834
FAX 0985-38-8830

報道関係者 各位

2022年度労働基準監督官試験について

2022年度の労働基準監督官試験が下記の要領で開催されます。
試験日程、申込方法等の概要は以下のとおりです。

◆ 2022年度労働基準監督官試験(概要)

- 受験資格
- 1992(平成4)年4月2日～2001(平成13)年4月1日生まれの者
 - 2001(平成13)年4月2日以降生まれの者で次に掲げるもの
 - (1) 大学(短期大学を除く。以下同じ。)を卒業した者及び2023(令和5)年3月までに大学を卒業する見込みの者
 - (2) 人事院が(1)に掲げる者と同等の資格があると認める者

試験の区分・採用予定者数

- 1 労働基準監督A(法文系) 約 185名
- 2 労働基準監督B(理工系) 約 40名

日程

- 受験申込受付期間 令和4年3月18日(金)9:00～令和4年4月4日(月)
* 方法は専用アドレスからインターネット申込み
専用アドレス:<https://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html>
(人事院ホームページ)
- 第1次試験 令和4年6月5日(日)
第1次試験合格発表日 令和4年6月28日(火)
第2次試験 令和4年7月12日(火)～7月14日(木)
最終合格者発表日 令和4年8月16日(火)

労働基準監督官は、労働基準関係法令に基づいてあらゆる職場に立ち入り、事業主に対し法に定める基準を遵守させることにより、労働条件の確保・向上、働く人の安全や健康の確保を図ることを任務とする厚生労働省の専門職員です。

【参考】**2021年の実施結果**

	申込者数		第1次試験合格者数		最終合格者数	
労働基準監督A(法文系)	2,224	(942)	1,050	(406)	336	(151)
労働基準監督B(理工系)	669	(146)	368	(77)	160	(39)
計	2,893	(1,088)	1,418	(483)	496	(190)

()内の数字は、女性を内数で示す。

試験地

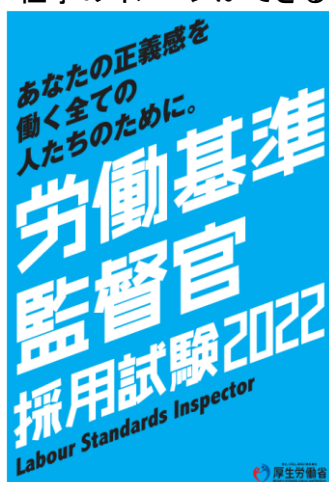
第1次 試験地	札幌市	盛岡市	仙台市	秋田市	さいたま市
	東京都	新潟市	名古屋市	金沢市	京都市
	大阪市	松江市	広島市	高松市	松山市
	福岡市	熊本市	鹿児島市	那覇市	

第2次 試験地	札幌市	仙台市	さいたま市
	東京都	名古屋市	大阪市
	広島市	高松市	福岡市
	熊本市	那覇市	

【採用パンフレット】

労働基準監督官の業務内容に興味をもっていたただけた方は、是非採用パンフレットをご覧ください。

仕事のイメージができる写真や、先輩監督官からのメッセージが掲載されています。



パンフレット(https://www.mhlw.go.jp/general/saiyo/dl/roudoukijun_220201_01.pdf)



宮崎労働局

Press Release

宮崎労働局発表
令和4年3月4日解禁

【照会先】
宮崎労働局 雇用環境・均等室
室長 狭間 美恵
監理官 中玉利 浩治
企画・調整係 飯村 祐哉
(代表電話) 0985-38-8821
(直通電話) 0985-38-8821

宮崎労働局・労働基準監督署・公共職業安定所（ハローワーク）の 行事予定（令和4年3月）

宮崎労働局（局長 田中 大介）は、宮崎労働局及び県内各労働基準監督署・各公共職業安定所（ハローワーク）の主要な行事予定を取りまとめました。

取材・報道等にご活用ください。

令和4年3月 宮崎労働局・監督署・安定所(ハローワーク)主要行事予定表

3月		主要行事(労働局・監督署・安定所)
1	火	
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	えるぼし認定書交付式(15:00~)
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	令和3年度第2回 宮崎地方労働審議会(15:00~17:00)
15	火	
16	水	
17	木	2022みやざき春のオンライン就職応援フェア(13:30~16:00 オンライン開催) 安全衛生優良企業認定交付式(13:30~)
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	
備考		



GOGO! 宮崎労働局

発行：宮崎労働局
宮崎市橘通東3-1-22
宮崎合同庁舎
TEL0985(38)8821
FAX0985(38)5028

医師の健康が危ない!

医師も「働き方改革」が必要です

医師の働き方改革に関する研修会を開催

谷宮監察監督官

医師の働き方改革の重要性を説明する



医師には適用が猶予されている時間外労働の上限規制も2024年4月より原則年間960時間以下、月に100時間以下となります。医療の質を将来にわたって確保していくためにも、医師の働き方改革は非常に重要な課題

となっています。

研修会においては、オンラインで参加していただいた100あまりの医療機関に対し、改正法の概要などを説明して医師の働き方改革の重要性を理解していただくとともに、早期の取り組みをお願いしました。

宮崎労働局は2月15日に宮崎県、宮崎県医療勤務環境改善支援センターとの共催で医療機関向けに「医師の働き方改革に関する研修会」を開催しました。

現在のコロナ禍において特に実感できることですが、医療は我々の暮らしには欠かせないものです。しかし、病院勤務の医師は勤務時間がかなり不規則で残業も多く、医師自身の健康が危うい状態ともいえます。現在、



学生からの質問に各企業が回答

企業とのパネルディスカッションをオンラインで開催

2月21日、宮崎新卒応援ハローワークは「就職活動攻略！企業に聞く就活の全貌」をオンラインで開催しました。事前に学生から寄せられた質問に対し、企業の人事担当者や若手社員が回答する形式で実施しました。

企業4社（株式会社宮崎銀行、株式会社MJC、フェニックスリゾート株式会社、宮崎県経済農業協同組合連合会）と学生63名が参加し、「応募書類は何人で見るのか?」「全員分しっかり見てくれるのか?」など、学



改正法のポイントを説明する雇用環境・均等室待鳥係員

男性の育児休業取得に向けた環境整備を

改正育児・介護休業法の説明会開催

宮崎県社会保険労務士会からの要請により、雇用環境・均等室は2月7日、4月に改正される育児・介護休業法についてオンラインで説明会を開催し、約100名が参加しました。

冒頭、男性の育児休業の取得率が令和2年度で約12%と低い水準にとどまっている一方、育児休業を希望する男性労働者の約4割が取得できていないなど、今回の改正に至る背景を説明しました。

その上で、多くの男性が取得を希望する子の出生後8週間以内に分割での取得や休業中の就業を可能とする「産後パパ育休」の他、育児休業を取得しやすい環境整備の重要性を強調しました。



生が直接聞きにくいことも司会者が一括して質問し、各企業は誠実に答えてくださいました。

学生からは就職活動に向けて「モチベーションが上がった」「不安を少し解消できた」等の声を多くいただきました。



質問に回答する各企業の担当者のみなさま

ほっと一息。ゆっくり休めば、この春がもっと楽しくなる。

新しい働き方・休み方を実践するために、年次有給休暇を上手に活用しましょう

受賞おめでとうございます

長年の労働行政に対する顕著なご功績に対し



左から帖佐地方労災医員、田中局長、近藤労災法務専門員



左から松岡最低賃金審議会会長、田中局長、渡辺紛争調整委員

厚生労働省労働基準局長表彰として近藤日出夫労災法務専門員（近藤日出夫法律事務所）に対し、田中労働局長から表彰状が授与されました。

また、1月31日には延岡労働基準監督署で2名に対する伝達式を実施しました。厚生労働省労働基準局長表彰として松岡優子宮崎地方最低賃金審議会会長（弁護士法人西山松岡法律事務所）、宮崎労働局長感謝状として渡辺純一宮崎紛争調整委員（弁護士法人延岡総合法律事務所）に対し、

田中労働局長から表彰状及び感謝状が授与されました。

受賞された方々については長年にわたり大変お世話になりました。今後とも宮崎労働局をよろしく願いたします。

厚生労働省では、毎年、勤労感謝の日をもって、地方労働行政に対して特に顕著な貢献があった方へ厚生労働大臣等による表彰を実施し、その伝達式を1月に実施しました。

1月28日に2人の受賞者に対し、宮崎合同庁舎で実施しました。厚生労働大臣表彰として帖佐悦男地方労災委員（宮崎大学医学部附属病院長）、

わかりやすく労働法を解説

働く前に聞いてよかった！



2月10日に高千穂高校、22日に延岡商業高校、25日に宮崎海洋高校に対して労働基準監督官が講師となり、

①働く前に知っておくこと②働く時のルール③仕事を辞めるときをテーマに窓口寄せられた相談事例などを交えながらわかりやすく労働法を解説しました。

各校とも卒業を控える3年生の方々が聴講し、来年度から就職する学生、大学生となってアルバイトを考えている学生それぞれに労働法について学んでいただきました。



担当者が事例を交えて説明

障害者の雇用促進に向けて

障害者雇用促進セミナー

障害者の雇用者数は全国的に増加傾向にあり、雇用する上での配慮事項等について多くの事業所から問い合わせが寄せられている状況を踏まえ、1月26日にオンラインでの障害者雇用促進セミナーを開催し、36名が参加しました。

障害者を雇用する県内の企業等に対し「障害者であることを理由とする差別の禁止」「採用時の均等な機会の確保など合理的配慮の提供義務」「使用者による障害者虐待防止」について、事例を交えて説明しました。

参加者から「実務的な内容で大変参考になった」「認識が無いのに虐待していると判断されるなどの事例を聞くことができて良かった」など好評を得ました。



アルバイトの労働条件を確かめよう！

たしかめたん

宮崎労働局では来年度においても高校生向け労働法講話を実施する予定ですので、県内の高校においてはぜひ活用について検討をお願いいたします。



高千穂高校の講話の様子と説明する森川監督課長（右上）

参加無料
要事前予約
入退場自由

2022 春のオンライン 就職応援フェア

3月17日（木）13:30~16:00
定員300人
会場内を自由に移動。
ブースを訪問できる！
ブースを訪問すると
担当者とのビデオ通話が
立ち上がります。

報道関係者 各位

令和4年2月28日

【照会先】

職業安定局 雇用開発企画課 労働移動支援室

室長補佐 松村 岳明(内線5694)

労働移動支援係長 吉田 良輔(内線5787)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3502)6781

雇用を守る在籍型出向、活用広がる

～産業雇用安定助成金の創設から1年、対象者が1万人を超えました～

厚生労働省では、在籍型出向で雇用維持に取り組む事業主を「産業雇用安定助成金」で支援しています。この助成金は、新型コロナウイルスの影響で事業活動の一時的な縮小を余儀なくされた事業主が、在籍型出向により労働者の雇用を維持する場合に、出向元と出向先の双方の事業主に対して助成するものです。

このたび、産業雇用安定助成金の創設から1年で、1万人を超える方の在籍型出向に活用いただきました。モチベーション維持やスキルアップなどの様々なメリットがあったと、活用した企業・労働者双方から高い評価をいただいています。

制度創設の令和3年2月5日から1年が経過した翌年2月4日までに、事業主から都道府県労働局に提出のあった「産業雇用安定助成金出向実施計画届」を取りまとめましたので、取り組みの事例と併せてご紹介します。

【産業雇用安定助成金活用状況のポイント、在籍型出向のメリット】

- 1年間で1万人以上の労働者が本助成金を活用した在籍型出向を実施しています。
- 大企業のみならず中小企業にも幅広く活用されています。
- コロナによる経済活動への影響を反映して、出向元はいわゆる人流を支える観光や交通が多く、出向先は物流を支える産業や非対面系の業務が多くなっています。
- 出向を実施した企業（出向元・出向先）や労働者の9割以上が好評価しています。
- 「仕事内容に親和性のある企業に出向して即戦力として活躍している事例」や「異業種の企業に出向して受入企業の人手不足解消や出向労働者のキャリア形成につながっている事例」など、様々な形で活用されています。
- 在籍型出向の主なメリットは次のようなことが挙げられます。
 - ・ 出向元企業：労働意欲の維持・向上、能力開発効果
 - ・ 出向先企業：自社従業員の業務負担軽減、即戦力の確保
 - ・ 出向労働者：能力開発・キャリアアップ、雇用の維持

厚生労働省では、今後も労働者の雇用維持に取り組む事業主の方に在籍型出向を活用いただけるよう、事例の共有や各種支援策の周知を図っていきます。詳細は別紙1・2および厚生労働省ホームページを参照ください。

【産業雇用安定助成金ホームページ】

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000082805_00008.html

【在籍型出向支援】

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/jigyounushi/page06_00001.html

産業雇用安定助成金の活用状況

詳細は別添1参照

【産業雇用安定助成金活用状況のポイント】

- 出向実施計画届受理件数：出向労働者数 10,440 人
出向元事業所数 1,063 事業所
出向先事業所数 1,746 事業所
- 企業規模別：中小企業から中小企業への出向が最多の 4,456 人 (43%)
- 業種別：出向元の最多は運輸業・郵便業 (4,103 人)
出向先の最多は製造業 (2,085 人)
出向成立の最多は製造業⇒製造業 (1,271 人)
異業種への出向割合は 62.9%

○出向実施計画届受理件数

1年間で1千以上の事業所の1万人以上の労働者が本助成金を活用した在籍型出向を実施している。

- 出向実施計画届受理件数は、制度創設の令和3年2月5日から1年が経過した令和4年2月4日までに、出向労働者数 10,440 人分、出向元事業所数 1,063 所分、出向先事業所数 1,746 所分となっている。

○企業規模別

大企業のみならず中小企業にも幅広く活用されている。

- 企業規模別に見ると、出向元・出向先ともに中小企業の方が多く、出向元における中小企業割合は約 62%、出向先における中小企業割合は約 58%となっている。
- 中小企業から中小企業への出向が最多の 4,456 人 (43%)、以下、大企業から大企業への出向が 2,271 人 (22%)、中小企業から大企業への出向が 1,992 人 (19%)、大企業から中小企業への出向が 1,606 人 (15%) となっている。

○産業別

コロナによる経済活動への影響を反映して、出向元はいわゆる人流を支える観光や交通が多く、出向先は物流を支える産業や非対面系の業務が多い。

- 日本標準産業分類 (大分類) 別に見ると、出向元の最多は運輸業・郵便業 (4,103 人)、出向先の最多は製造業 (2,085 人) となっている。
(参考) 出向成立の最多は製造業⇒製造業 (1,271 人)、異業種への出向割合は 62.9%
- 出向元は上位 6 業種で全体の約 93%、出向先は上位 6 業種で全体の約 77%を占めている。
- 出向元が出向先を上回るのは、「運輸業・郵便業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス、娯楽業」
- 日本標準産業分類 (中分類) 別に見ると、出向元の最多は運輸に付帯するサービス業 (2,646 人)、次いで宿泊業 (1,028 人)、出向先の最多はその他の事業サービス業 (1,107 人)、次いで道路貨物運送業 (956 人) となっている。

利用者等の声

○在籍型出向のメリット

出向を実施した企業（出向元・出向先）や労働者の9割以上が好評価。また、「仕事内容に親和性のある企業に出向して即戦力として活躍している事例」や「異業種の企業に出向して受入企業の人手不足解消や出向労働者のキャリア形成につながっている事例」など、様々な形で活用されている。

産業雇用安定助成金を活用して在籍型出向を実施した企業（出向元・出向先）や出向労働者に対して実施したアンケート調査（令和3年8月厚生労働省調べ）によると、在籍型出向のメリットは主に以下が挙げられる。 詳細は別添2参照

- 出向元企業 労働意欲の維持・向上（63%）、能力開発効果（59%）

【利用者の声】 詳細は別添3参照

- ・ 出向は、休業しなくてよいため、良い刺激となり、事業主・労働者の不安が軽減された。（事例1：飲食店⇒倉庫業）
- ・ 毎日仕事があり、厳しく高い目標の職場の中で、自らのスキルを高められる環境にいる方が労働意欲の維持・向上につながる。（事例2：製造業⇒製造業）
- ・ （食品加工等の業務から）飲食店に出向させたことで、最終消費者との会話を通じて自社商品に対する新たな発見が多くあり、出向元に戻った際に新商品の開発を進めたいと意欲を示している。（事例3：卸売業、小売業⇒飲食店）

- 出向先企業 自社従業員の業務負担軽減（75%）、即戦力の確保（52%）

【利用者の声】 詳細は別添3参照

- ・ 一時的に人材確保できることで自社従業員の負担も軽減され、自社従業員の職場定着にも繋がると思われる。（事例1：飲食店⇒倉庫業）
- ・ 中途採用の場合、技術習得まで数ヶ月を要するが、即戦力として従事していただいている。（事例4：製造業⇒製造業）
- ・ 自社になかった発想やアイデアが出るようになり、職場が活性化している。（事例5：生活関連サービス業（旅行代理店）⇒情報通信業）

- 出向労働者 能力開発・キャリアアップ（57%）、雇用の維持（46%）

【利用者の声】 詳細は別添3参照

- ・ 同じ溶接でも、使用する機械、塗料が異なり、技術面で得るところが多く、良い経験だった。（事例6：製造業（バス溶接）⇒製造業（ダンプ・クレーン車溶接））
- ・ 一番大きなものは人間関係・新しい人脈。（事例7：生活関連サービス業（旅行業）⇒サービス業（調査事務等））
- ・ 出向期間終了後は元の会社に復職できることが約束されているので安心して働いている。（事例8：生活関連サービス業（バスガイド）⇒医療福祉業（給食調理補助））
- ・ 休業の状態よりも仕事をしている方が充実していた。（事例9：生活関連サービス業（旅行代理店）⇒情報通信業）

■ 概要

新型コロナウイルス感染症の影響により事業活動の一時的な縮小を余儀なくされた事業主が、在籍型出向により労働者の雇用を維持する場合に、出向元と出向先の双方の事業主に対して、一定期間の助成を行う。

対象：雇用調整（コロナ禍において事業活動の一時的な縮小を余儀なくされた事業主が雇用の維持を図ること）を目的とする出向。

前提：雇用の維持を目的とする助成制度のため、出向期間終了後は元の事業所に戻って働くこと。

■ 助成内容等

対象労働者に係る次の経費について、出向元事業主と出向先事業主が支給申請を行い、当該申請に基づきそれぞれの事業主へ支給する（申請手続きは出向元事業主がまとめて行う）。

○ 出向運営経費

労働者（雇用保険被保険者）を在籍型出向により送り出す事業主及び当該労働者を受け入れる事業主に対して、賃金、教育訓練及び労務管理に関する調整経費など、**出向中に要する経費の一部を助成**。

	中小企業（※1）	中小企業以外（※1）
出向元が労働者の解雇などを行っていない場合	9 / 10	3 / 4
出向元が労働者の解雇などを行っている場合	4 / 5	2 / 3
上限額（出向元・先の計）	12,000円 / 1人1日当たり	

（※1）独立性が認められない事業主間の出向の場合の助成率：中小企業2/3、中小企業以外1/2

○ 出向初期経費

労働者（雇用保険被保険者）を在籍型出向により送り出す事業主及び当該労働者を受け入れる事業主に対して、就業規則や出向契約書の整備費用、出向元事業主が出向に際してあらかじめ行う教育訓練、出向先事業主が出向者を受け入れるための機器や備品の整備などの**出向の成立に要する措置を行った場合に助成**（※2）。

	出向元事業主	出向先事業主
助成額	各 10万円 / 1人当たり（定額）	
加算額（※3）	各 5万円 / 1人当たり（定額）	

（※2）独立性が認められない事業主間の出向の場合は助成対象外

（※3）出向元事業主（雇用過剰業種の企業や生産性指標要件が一定程度悪化した企業からの送り出し）

または出向先事業主（異業種からの受入れ）がそれぞれ一定の要件を満たす場合に助成額の加算を行う。

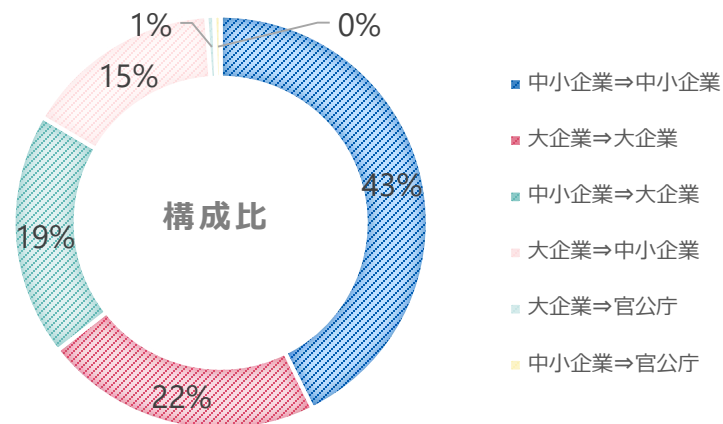
概要

- 産業雇用安定助成金の出向実施計画届受理件数は、制度創設の令和3年2月5日から1年が経過した令和4年2月4日時点までに
 出向労働者数 : **10,440人分**
 出向元事業所数 : **1,063所分**
 出向先事業所数 : **1,746所分** となっている。

企業規模別

- 企業規模別に見ると、出向元・出向先ともに中小企業の方が多く、出向元における中小企業割合は約62%、出向先における中小企業割合は約58%となっている。
- 中小企業⇒中小企業が最多の4,456人（43%）、以下、大企業⇒大企業2,271人（22%）、中小企業⇒大企業1,992人（19%）、大企業⇒中小企業1,606人（15%）

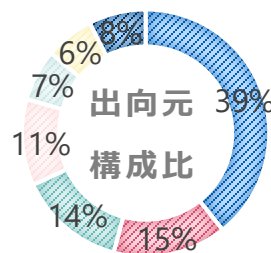
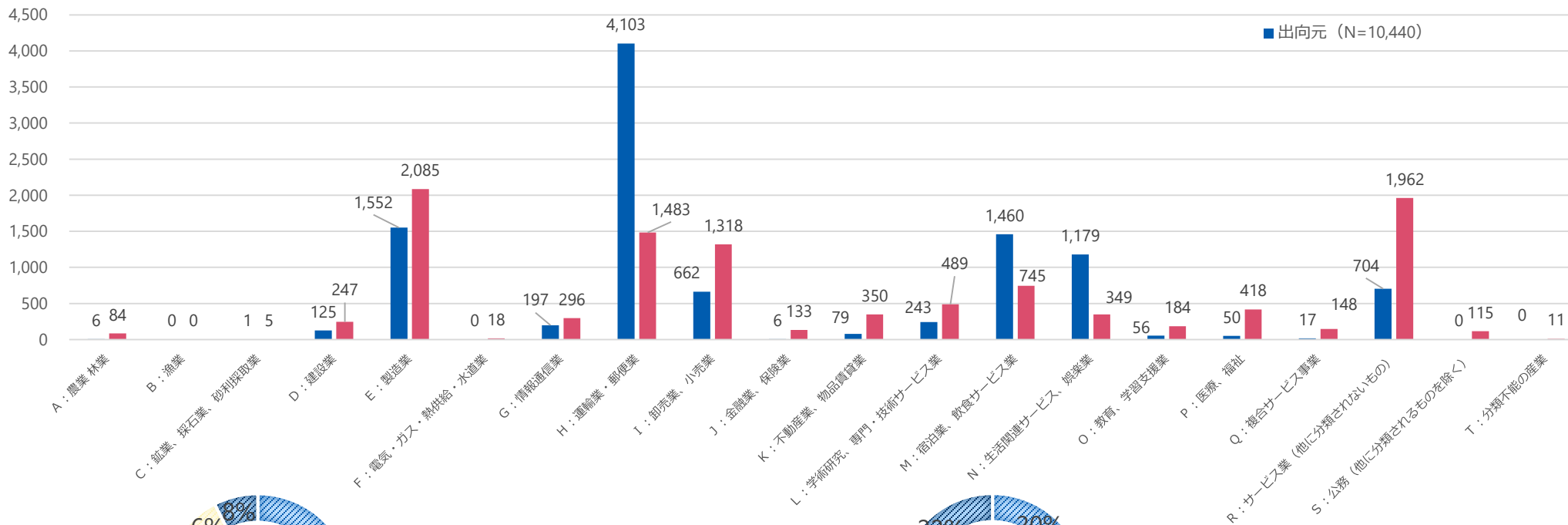
出向先 \ 出向元	大企業	中小企業	計
大企業	2,271	1,992	4,263
中小企業	1,606	4,456	6,062
官公庁	64	51	115
計	3,941	6,499	10,440



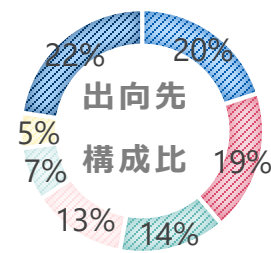
産業雇用安定助成金 出向実施計画届受理状況②

産業別

- 産業別に見ると、出向元の最多は運輸業・郵便業（4,103人）、出向先の最多は製造業（2,085人）、出向成立の最多は製造業⇒製造業（1,271人）、異業種への出向割合は62.9%
- 出向元は上位6業種で全体の約93%、出向先は上位6業種で全体の約77%を占めている
- 出向元＞出向先 H：運輸業・郵便業、M：宿泊業、飲食サービス業、N：生活関連サービス、娯楽業



- H: 運輸業・郵便業
- E: 製造業
- M: 宿泊業、飲食サービス業
- N: 生活関連サービス、娯楽業
- R: サービス業 (他に分類されないもの)
- I: 卸売業、小売業
- ほか

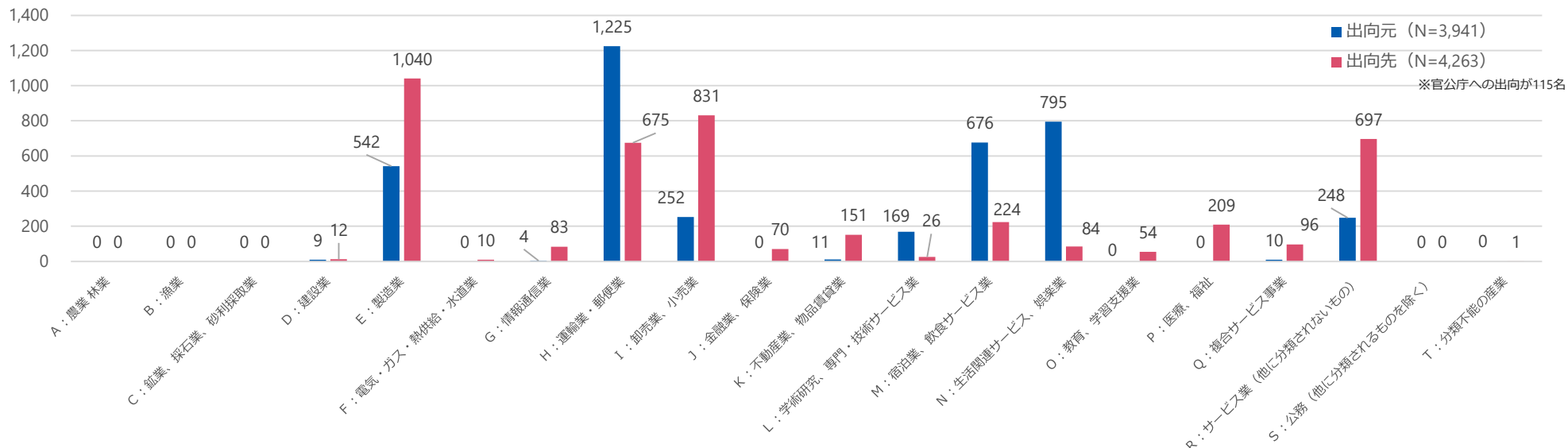


- E: 製造業
- R: サービス業 (他に分類されないもの)
- H: 運輸業・郵便業
- I: 卸売業、小売業
- M: 宿泊業、飲食サービス業
- L: 学術研究、専門・技術サービス業
- ほか

産業雇用安定助成金 出向実施計画届受理状況③

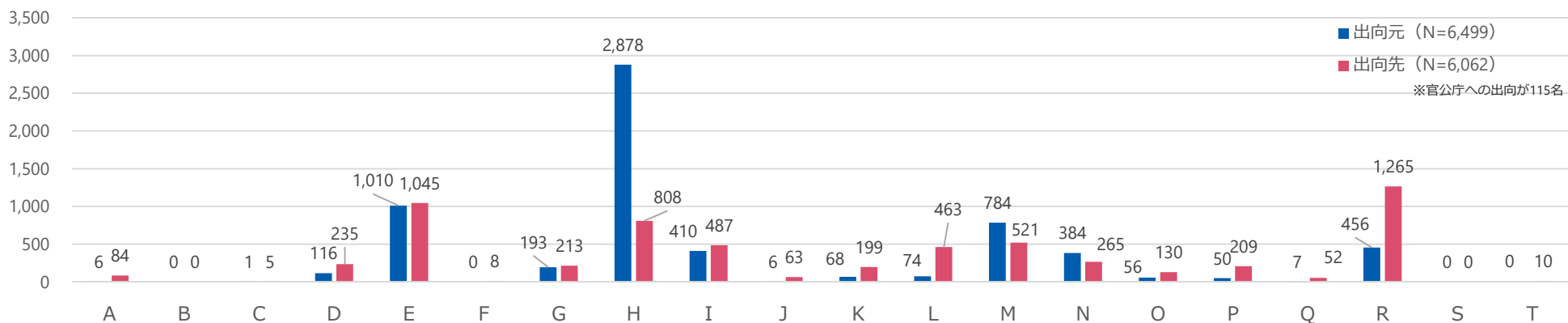
大企業：産業別

- 出向元の最多は運輸業・郵便業（1,225人）、出向先の最多は製造業（1,040人）



中小企業：産業別

- 出向元の最多は運輸業・郵便業（2,878人）、出向先の最多はサービス業（他に分類されないもの）（1,265人）



産業雇用安定助成金 出向実施計画届受理状況④

出向元：主な産業別上位5社

出向元はいわゆる人流を支える観光や交通が多い

運輸業・郵便業

	事業所名	産業分類（中分類）	送出人数
1	A社	航空運輸業	357
2	B社	運輸に付帯するサービス業	350
3	C社	運輸に付帯するサービス業	263
4	D社	運輸に付帯するサービス業	213
5	E社	運輸に付帯するサービス業	180

生活関連サービス・娯楽業

	事業所名	産業分類（中分類）	送出人数
1	A社	娯楽業	409
2	B社	その他の生活関連サービス業	108
3	C社	その他の生活関連サービス業	47
4	D社	その他の生活関連サービス業	23
5	E社	その他の生活関連サービス業	22

製造業

	事業所名	産業分類（中分類）	送出人数
1	A社	輸送用機械器具製造業	96
2	B社	輸送用機械器具製造業	84
3	C社	輸送用機械器具製造業	82
4	D社	輸送用機械器具製造業	78
5	E社	業務用機械器具製造業	75

サービス業（他に分類されないもの）

	事業所名	産業分類（中分類）	送出人数
1	A社	その他の事業サービス業	108
2	B社	その他の事業サービス業	89
3	C社	その他の事業サービス業	77
4	D社	その他の事業サービス業	59
5	E社	その他の事業サービス業	48

宿泊業・飲食サービス業

	事業所名	産業分類（中分類）	送出人数
1	A社	宿泊業	139
2	B社	宿泊業	97
3	C社	宿泊業	59
4	D社	飲食店	51
5	E社	宿泊業	49

卸売業・小売業

	事業所名	産業分類（中分類）	送出人数
1	A社	飲食料品小売業	181
2	B社	その他の小売業	45
3	C社	その他の卸売業	41
4	D社	各種商品卸売業	39
5	E社	各種商品小売業	38

産業雇用安定助成金 出向実施計画届受理状況⑤

出向先：主な産業別上位5社

出向先は物流を支える産業や非対面系の業務が多い

製造業

	事業所名	産業分類（中分類）	受入人数
1	A社	電子部品・デバイス・電子回路製造業	108
2	B社	生産用機械器具製造業	91
3	C社	輸送用機械器具製造業	80
4	D社	食品製造業	68
5	E社	化学工業	50

サービス業（他に分類されないもの）

	事業所名	産業分類（中分類）	受入人数
1	A社	その他の事業サービス業	371
2	B社	職業紹介・労働者派遣業	238
3	C社	その他の事業サービス業	129
4	D社	職業紹介・労働者派遣業	96
5	E社	その他のサービス業	68

運輸業・郵便業

	事業所名	産業分類（中分類）	受入人数
1	A社	道路貨物運送業	472
2	B社	道路貨物運送業	129
3	C社	道路貨物運送業	95
4	D社	道路貨物運送業	75
5	E社	道路旅客運送業	35

卸売業・小売業

	事業所名	産業分類（中分類）	受入人数
1	A社	各種商品小売業	199
2	B社	各種商品卸売業	148
3	C社	その他の小売業	86
4	D社	機械器具卸売業	83
5	E社	飲食料品卸売業	56

宿泊業・飲食サービス業

	事業所名	産業分類（中分類）	受入人数
1	A社	飲食店	56
2	B社	宿泊業	53
3	C社	宿泊業	46
4	D社	宿泊業	31
5	E社	飲食店	24

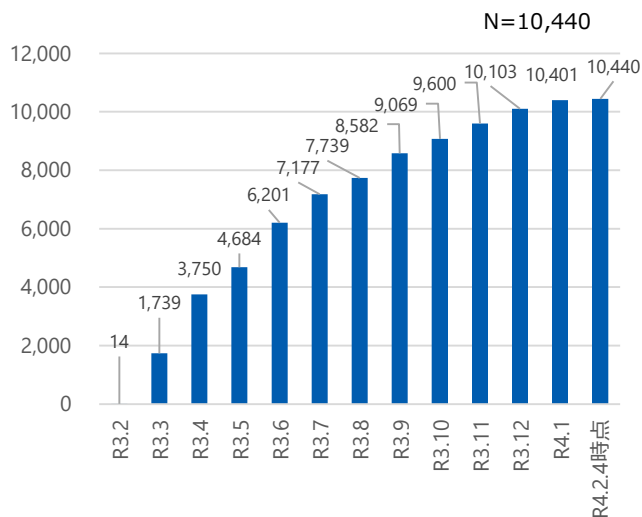
学術研究、専門・技術サービス業

	事業所名	産業分類（中分類）	受入人数
1	A社	専門サービス業	125
2	B社	技術サービス業	55
3	C社	専門サービス業	41
4	D社	専門サービス業	30
5	E社	専門サービス業	16

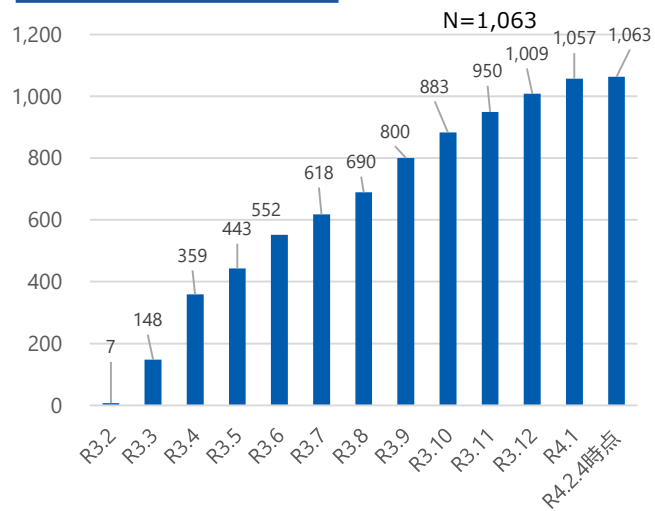
産業雇用安定助成金 出向実施計画届受理状況⑥

出向労働者数・出向元事業所数・出向先事業所数 実績の推移

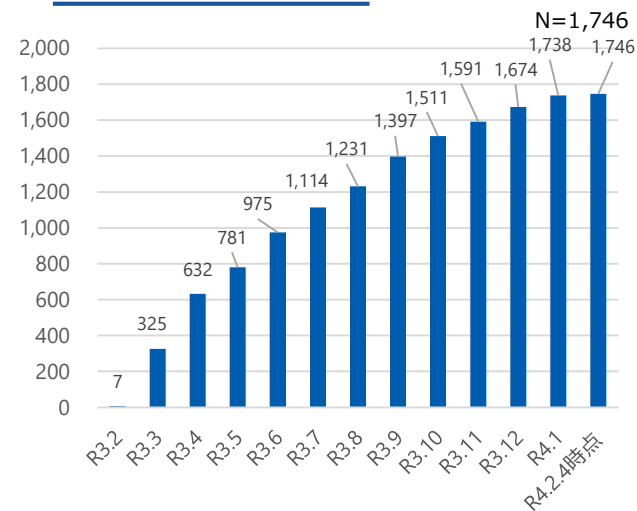
出向労働者ベース



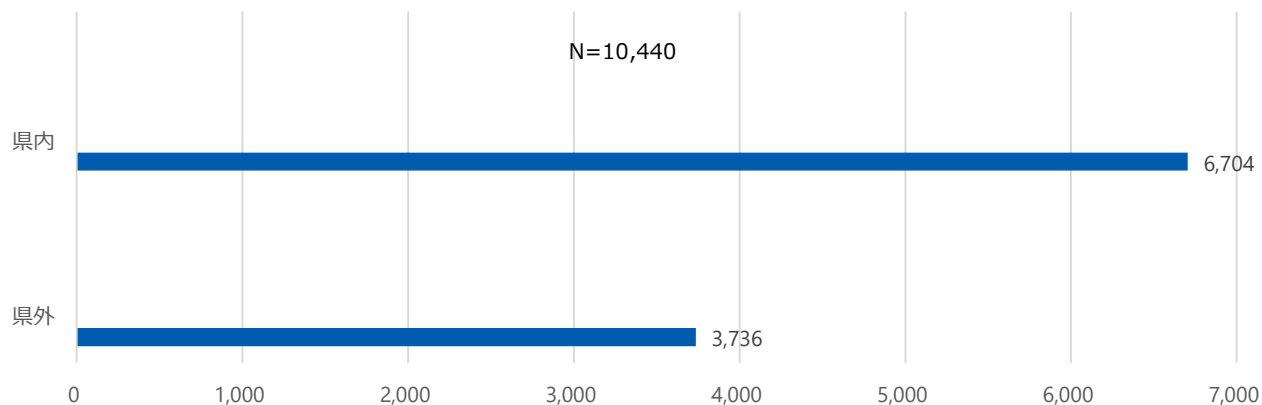
出向元事業所ベース



出向先事業所ベース



出向の成立 県をまたぐ出向（県外出向）とそれ以外（県内出向）の割合





在籍型出向を実施した企業（出向元・出向先）や出向労働者によると、在籍型出向のメリットは主に以下が挙げられます※。

【出向元企業】**労働意欲の維持・向上**（63%）、**能力開発効果**（59%）

【出向先企業】**自社従業員の業務負担軽減**（75%）、**即戦力の確保**（52%）

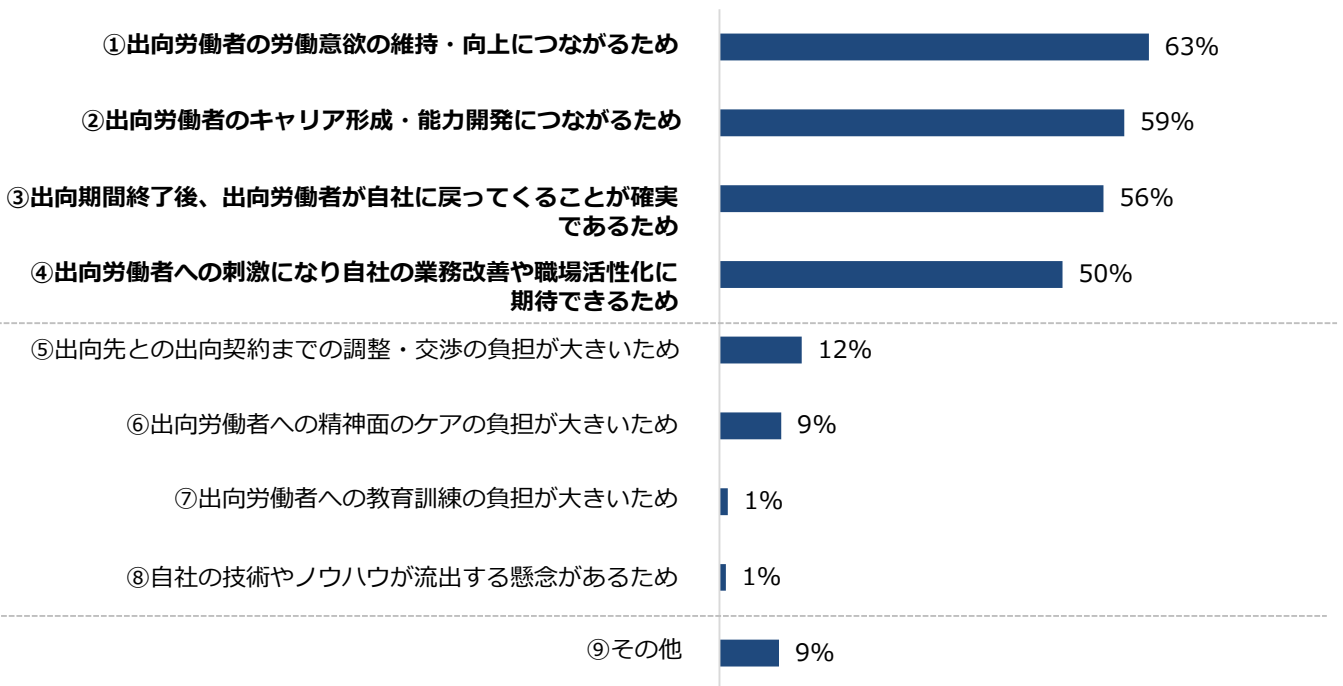
【出向労働者】**能力開発・キャリアアップ**（57%）、**雇用の維持**（46%）

※産業雇用安定助成金活用企業へのアンケート調査（令和3年8月厚生労働省調べ）

- ・調査対象：令和3年6月30日現在で産業雇用安定助成金の出向実施計画を提出した出向元・出向先企業、在籍型出向を経験された労働者
- ・調査対象事業所数：出向元企業540社、出向先企業604社、出向労働者1企業あたり1名
- ・アンケート回答数：出向元企業336社、出向先企業341社、出向労働者382名
- ・調査方法：調査対象企業に都道府県労働局からアンケート調査票を郵送配布、郵送回収

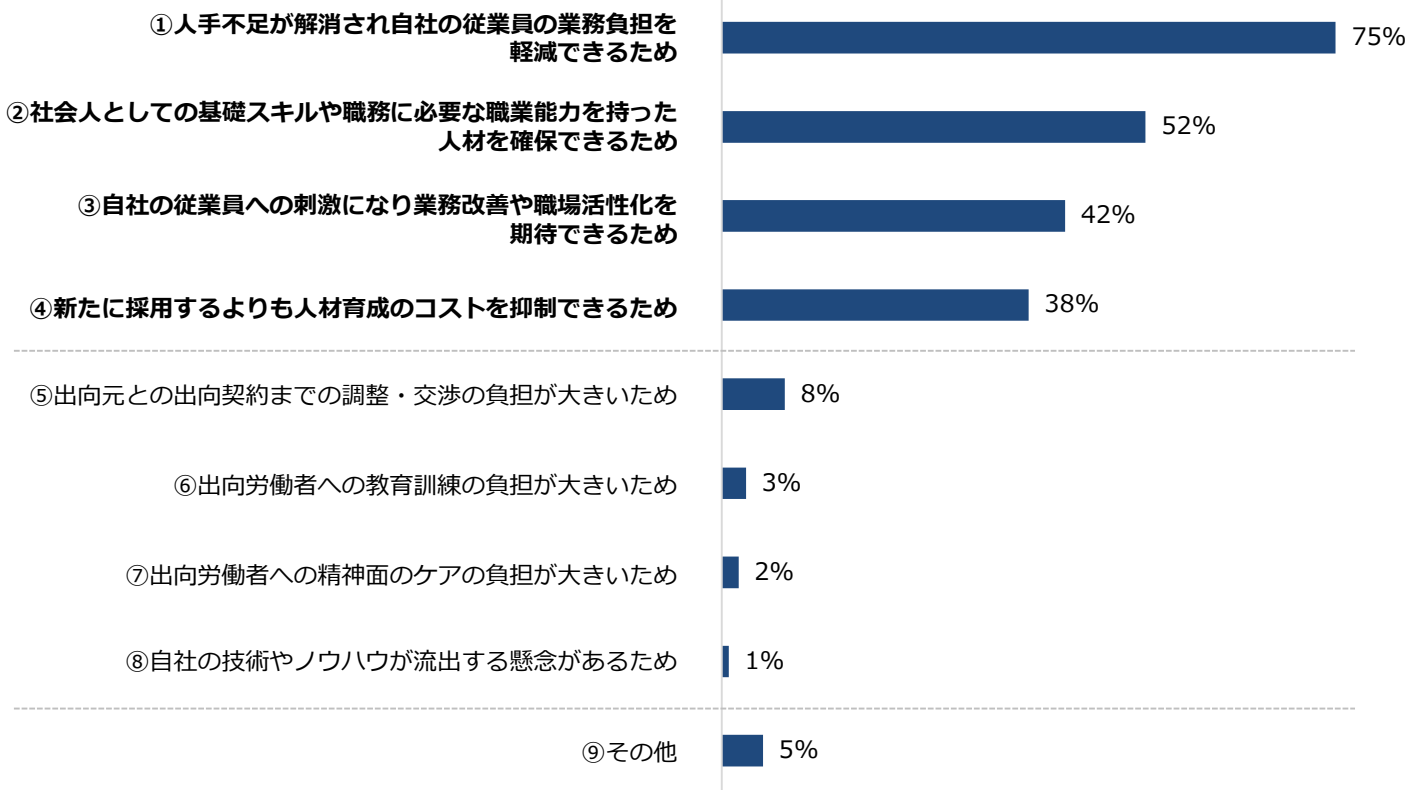
出向元企業が受けるメリット

n = 336（複数回答可）出向元企業が在籍型出向を評価する理由（①～④）、評価しない理由（⑤～⑧）



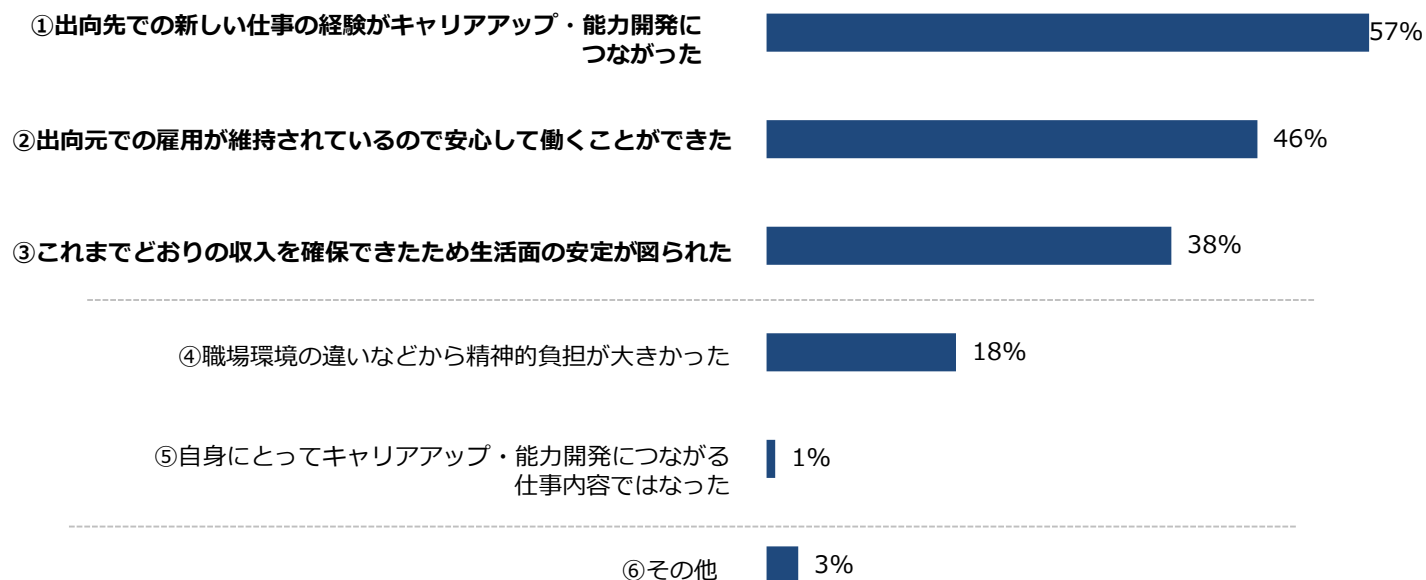
出向先企業が受けるメリット

n=341（複数回答可）出向先企業が在籍型出向を評価する理由（①～④）、評価しない理由（⑤～⑧）



出向労働者が受けるメリット

n=382（複数回答可）出向労働者が在籍型出向を評価する理由（①～③）、評価しない理由（④～⑤）



飲食店

【業務内容】 飲食店での調理・接客
【従業員数】 31名

倉庫業

【業務内容】 物流センターの構内作業
【従業員数】 360名

出向期間90日
出向労働者29名

取り組み内容

①マッチング～企業間調整	②企業間調整～契約	③契約～出向開始	④出向開始～
<p>出向元</p> <ul style="list-style-type: none"> 出向先を探して、産業雇用安定センターへ相談。 受入を希望する企業の情報提供を受け、出向先を訪問。 <p>出向先</p> <ul style="list-style-type: none"> 出向元を探して、産業雇用安定センターへ相談。 送出を希望する企業の情報提供を受ける。 社内にて出向労働者受入について協議、承諾。 出向元企業との打合せ実施。 産業雇用安定センターへ希望条件等伝え、出向元企業からの回答を待つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 労働条件などの協議のため、両社の協議を実施。 出向規定制定、出向協定の締結後、出向対象労働者本人の同意を得る。 出向契約書の作成、産業雇用安定助成金受給のための出向実施計画届の提出に関する書類の準備。 両社間において出向契約の締結。 	<ul style="list-style-type: none"> 出向元の社長自ら出向先の職場を見学。 産業雇用安定助成金受給のため、出向実施計画届を出向元から労働局に提出。 	<ul style="list-style-type: none"> 出向労働者の状況把握に努め、職場内でサポートできる体制強化を図る。 出向元に対し、出向労働者の状況など定期的に情報提供を行う。

出向元企業の声

【出向を成功させるために取り組んだこと】

- 労働者過半数代表との出向協定締結に向けた取組や出向契約書の作成。就業規則に出向規定についての記載がなかったため、社会保険労務士の助言を受けながら新たに作成した。
- 両社間において出向契約の締結後、社長自ら出向先の職場見学を行うなど、出向労働者の不安解消に努めた。

【出向を行った感想・良かったこと】

- 雇用調整助成金を活用して一部の労働者を休業させるなど、人員の調整を図っていたが、コロナの長期化により**労働者のモチベーションの低下が心配**であった。出向では**労働者が他社で勤務することで、休業しなくてよいため、良い刺激となり、事業主・労働者にとって不安が軽減**された。

出向先企業の声

【出向を行った感想・良かったこと】

- とくに繁忙期は必然的に残業が多くなってしまいう傾向にあったが、出向の活用によって**人手不足が解消され、以前と比べ深夜残業等の減少につながった**。一時的に人材を確保できることにより**自社従業員の負担も軽減され、働きやすい環境が整うなど、自社従業員の職場定着にも繋がる**と思われる。
- 異業種からの受入れであったため主に体力面で心配だったが、業務内容への理解も早く、出向者リーダーを中心に積極的に業務に取り組んでくれたことで業務を円滑に進めることができた。

出向労働者の声

【出向を経験した感想】

- 出向元では飲食店舗の管理職として勤務してきた。今回の出向で初めて物流仕分けの作業を経験し、出向先の多くの従業員の方と協力して日々の業務を完結させている。改めて**仕事を行う上での連携や協力することの重要性を再認識**することができた。
- **コロナで自宅待機の時間が長くなり、家でも居心地が悪く大変不安に思っていた**。会社から出向の話聞いた時は、体を使う仕事のため不安もあったが、実際に働いてみると、夜型の生活が朝型に変わることによって健康的になった。
- **出向が終わっても会社に戻れる保証があったため、安心して出向先で勤務することができた**。また、同じ職場の方も多く出向しており、心強かった。

【事例 2】



出向労働者への精神的ケア

製造業

【業務内容】外視検査、製造機械オペレーション等
【従業員数】150名

出向期間240日
出向労働者17名

製造業

【業務内容】精密組立
【従業員数】500名

取り組み内容

①マッチング～企業間調整	②企業間調整～契約	③契約～出向開始	④出向開始～
—	<ul style="list-style-type: none"> 業務内容のヒアリング。 出向候補者選定。 出向候補者の社員情報の提示。 費用負担等契約条件の協議。 当社社員代表（労働組合相当）と協議など。 	<ul style="list-style-type: none"> 候補者に対する在籍型出向説明会開催。 本人同意書取得。 出向先現地見学説明実施。 産業雇用安定助成金計画申請書作成について、労働局助成金センターへの相談と条件整備。 出向元、出向先双方による助成金計画申請書作成及び内容確認、計画申請。 	<ul style="list-style-type: none"> 出向先における勤怠情報の取得と出向元勤怠への変換。 給与明細の作成・給与支払い 出向先への出向費用請求。 助成金支給申請。 出向者からの課題提起対応。 不安や質問対応、必要に応じて出向先と協議、し改善要請。

【出向を成功させるために取り組んだこと】

- LINEを活用した出向者が馴染みやすいコミュニケーション環境の構築。具体的には、出向リーダー2名とのLINEグループと、出向者全員が入るグループLINEを設置した。出向元の現在の状況に関する情報も適宜発信し、出向先へ預けっぱなし感のない雰囲気づくりができた。
- 出向先責任者（本社人事部長、工場業務責任者、ライン課長）とのコミュニケーションパスの確立と、何でも相談できる人的ネットワークの構築。今回は、出向先責任者に恵まれ、理想的な連携ができていると思う。
- 精神的ケアは常に実施（実施者は出向リーダー、出向サブリーダー、出向元責任者）。
- 気持ちだけではなく、評価（お金）でも示した。

【出向を行った感想・良かったこと】

- 当社は令和2年7月から部分的な休業をしており、通常の労働ができていない。このような不安定な中で働くよりは、毎日仕事があり、厳しく高い目標の職場の中で、自らのスキルを高められる環境にいる方が労働意欲の維持・向上につながると解釈している。出向者が働く出向先は、当地域でも一流の企業で、厳しい環境であることが知れ渡っている。そのような中で、脱落者も出ずに出向を続けられていること自体、**当社の残留組に良い効果をもたらしている**と思う。また、出向者は出向先におけるメインラインで立派に活躍しており、私たちも誇らしく思う。
- 当社は、ガラスや脆性材料の切断加工と蒸着加工を主業務としているが、出向者の多くは外観検査を担当している検査員であり、良品、不良品の規格に合わせた判断力と微細な対象物のハンドリング技術には自信があったが、精密な組立業務は未経験であった。タウトに縛られるライン作業も十二分に対応できることが証明でき、**新たに微細組立の事業に進出できる可能性が出てきた**。この点で大いに貢献してくれていると思う。
- 前述の通り**新しいスキルを身につけて戻ってくるため、そのスキルを活かした新しい事業展開の可能性が広がる**。その意味でもその道の一流企業に在籍型出向する意義は極めて大きいと思う。
- 当初は、受注の急減で労働力が大幅に余剰になったことへの対策を主たる目的として交渉を始めたが、実際に進めてみると、**一流企業の文化、未経験の業務を経験できるというメリットの方が大きかった**。これによって**出向者も、出向をサポートする出向元企業の責任者クラスも開眼する機会を得た**と思う。
- 出向を開始して3ヶ月しか経っておらず、これからどうなるかは不安もあるが、現在のところ、大きな問題なしに出向が継続できていることは、出向者本人も出向元責任者である私自身も大きな自信になると思う。
- **物心両面でスキルを磨いた出向者に報いるためにも、新しい仕事を用意したい**。

出向元企業の声

【事例3】 出向労働者の経験向上・能力開発

卸売業、小売業

【業務内容】 食品加工
【従業員数】 12人

出向期間180日
出向労働者2名

宿泊業、飲食サービス業

【業務内容】 調理・接客
【従業員数】 7人

取り組み内容

①マッチング～企業間調整	②企業間調整～契約	③契約～出向開始	④出向開始～
<p>・ 出向元とは取引関係には無かったが、知人を通じて事業主同士が知り合いの間柄であった</p>	<p>・ 顧問社労士を介して複数回の協議を行った</p>	<p>出向元</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 在籍型出向の実施を検討直後から、出向候補労働者に対して出向の打診・相談を実施 <p>出向先</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出向者を受け入れるにあたり、衣服や備品等を整備 	<p>・ 出向開始後、出向元事業主が出向先就労場所を訪問して出向者と直接会い、ケアをしている（定期的に電話もしている）</p>

出向元企業の声

【出向を成功させるために取り組んだこと】

- 出向に関する規定を設けていなかったため、就業規則の整備などを実施した。
- 出向者が飲食店での勤務経験がなかったことから、実際に出向先就労場所に赴き、調理の段取りや商品提供の仕方等の訓練を複数回実施した。
- 出向元事業主も現地でその様子を確認するなどして、出向者が抱く不安等への解消に努めたほか、備品等の準備では出向者にどのようなものが必要かを確認しながら進め、必要に応じて調達・購入した。

【出向を行った感想・良かったこと】

- 出向者はこれまで食品加工ならびに取引先への納品（配送）業務に従事してきたが、飲食店における調理や商品提供の経験がなかった。そのため、最終消費者から労働者自身が加工した食品（商品）に対する感想を直接聞く機会は皆無であった。**飲食店に出向させたことで、最終消費者との会話を通じて新たな発見（気付き）が多くあり、出向元に戻った際には新たな商品開発を進めたいとの意欲を示している。**
- これまで在籍型出向に取り組んだことがなかったことから、出向者だけでなく事業所としても不安があったが、実際に出向が始まると、出向者本人による努力もあり、上手く取り組めていると思う。
- **出向者から意欲的な発言や行動がみられており、出向による成果を実感している。**

出向先企業の声

【出向を成功させるために取り組んだこと】

- 就業規則の整備、衣服や備品の整備などを実施した。
- 出向者が飲食店での勤務経験がなかったことから、実際に出向先就労場所に来てもらい、調理の段取りや商品提供の仕方等の訓練を複数回実施した。

【出向を行った感想】

- **人手不足が解消され自社の従業員の業務負担を軽減できた。**
- **新規採用するよりも人材育成のコストを抑制することができた。**
- 新たに求人募集するにあたって、自社ではどういった人材を必要としているのかを、出向者の働きから具体的にイメージ出来た。
- 今回、出向を受入れたことによって繁忙期に対応することが出来、とても喜んでいるし、当初思っていた以上に当社に貢献する働きをしてもらえた。

【事例 4】 仕事の内容の親和性・即戦力

製造業

【業務内容】 基盤組立・検査
【従業員数】 106人

出向期間140日
出向労働者10名

製造業

【業務内容】 検品・梱包
【従業員数】 38人

取り組み内容

① マッチング～企業間調整	② 企業間調整～契約	③ 契約～出向開始	④ 出向開始～
<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約しているコンサルティング会社からの紹介により、出向元と出向元が契約する会計事務所、計4社で顔合わせを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約までの調整は出向元と直接実施 ・ 出向労働者の就業場所が確保できず、賃貸契約物件を新たに探すという状況で、出向元工場建屋内の一部を借りることで協議をすすめ、出向契約とは別に賃貸契約を締結し就業場所とした 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約書類作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 申請書類作成のうえ、助成金申請 ・ 出向労働者に対して社内ルールを説明

出向先企業の声

【出向を成功させるために取り組んだこと】

- 就業規則等の整備。外部に頼まず社内でも対応したが、特に苦労したことはなかった。
- 出向労働者への精神的ケアの取組（週1回程度各個人と面談を実施）。出向労働者の中から代表者を決めて、日常的に意見・要望を取りまとめてもらい、都度相談等しながら対応している。
- 社内ルールを説明した程度。今回の出向労働者は製造業に対するスキルを持っているので、教育訓練は必要なかった。

【出向を行った感想・良かったこと】

- 中途採用で従業員を雇い入れる場合、基本ノウハウから教育し、手作業に慣れて技術を習得するまで数ヶ月を要するが、今回の出向労働者は製造業を長く経験されていることから、即戦力として従事していただけであり、大変ありがたい。
- パート労働者を新規に採用した場合と今回の出向を比較すると、想定していた以上に生産量の上回っており、売上も上がっている。
- 対象労働者の作業の様子を見て出向元事業所が持つノウハウや仕事に対する姿勢等を吸収（良いところを取り入れたい）し、社員のレベルアップを図りたいと考えているが、出向開始からまだ日が経っていないこともあり、これからの取組課題として考えていきたい。

【事例5】 出向労働者の経験向上・能力開発・出向先への職場活性化

生活関連サービス、娯楽業

【業務内容】 旅行代理店業務
【従業員数】 11名

出向期間 1年
出向労働者 2名

情報通信業

【業務内容】 インターネット通信販売
(ECビジネス企画・オペレーター)
【従業員数】 10人

取り組み内容

① マッチング～企業間調整	② 企業間調整～契約	③ 契約～出向開始	④ 出向開始～
<ul style="list-style-type: none"> 5月に産業雇用安定センターからの連絡後、出向元責任者より連絡があり、すぐに業務内容の確認などの交渉に入る 	<ul style="list-style-type: none"> 適材適所を考え（特にITスキルのある人）、履歴書・職務経歴を見ながら面談を行い人選 顧問社労士に就業規則整備、出向契約書作成等を依頼 	<ul style="list-style-type: none"> 基本合意後、契約書締結までに約30日と出向開始直前までかかった（助成金申請のための書類整備等に時間を要した） 	—

出向先企業の声

【出向を成功させるために取り組んだこと】

- 基本合意後、契約書締結まで、将来的な事業連携の提案等も含め、人材交流を戦略的に考え、出向元と人選や従事する業務等について時間をかけて調整を行った。
- 出向元には、定期的に出向者とコミュニケーションを取るよう提案しており、メンタル的なケアにも配慮している。
- インターネットでの通信販売やホームページの企画・制作の仕事の経験がないため、配置部署の周りのスタッフから必要なサポートを行っている。2～3週間後には、本人から自発的に意見が出るようになっていく。
- コミュニケーションをしっかりと取って、周りとの垣根を作らせないように配慮している。
- ITを活用する業界での仕事で得た知識や経験をもとに、旅行業（リアル、アナログの業界）の仕事に復帰したときに、新商品の企画や新たなビジネスモデルの創出に寄与できる人材として活躍してくれることを期待。

【出向を行った感想・良かったこと】

- まだ十分なコミュニケーションとは言えないものの、互いを認め合い、触発されるかたちで、今までになかった気づきを感じ始めており、変化が出てきているので良かったと考えている。
- 出向者は、出向を受け入れてくれたという感謝的な気持ちもあるのかチャレンジ精神があり、中途採用者よりも努力をしていると感じている。
- 異文化をもった人材に触発されるかたちで、自社になかった発想やアイデアが出るようになり、今までよりも自社社員から業務改善等の意見を聞くことが多くなったと感じており、職場が活性化している。
- 業界の相性が良いことから、新商品・新ビジネス開発（双方のサービス分野を統合させたパッケージ商品など）のパートナーになり得る機会が生まれ、会社間の連携や提携に発展させられる可能性がある。相手側（親会社）からも将来の業務提携の話が出ている。

出向労働者の声

【出向を経験した感想】

- IT業界のノウハウは、旅行業界において新商品の企画開発やツアー満足度を高める上で役に立つと感じている。今まで携わったことのない仕事で、見ることも聞くことが新鮮であり、貴重な経験をしていると考えている。
- 最初は出向に対して後ろ向きだったが、出向先の仕事内容をじっくり聞きチャレンジしようと思うようになった。
- はじめの2～3週間は出向先社員との温度差を感じたが、いろいろ教えてもらいながら自分の意見が言えるようになった。ミーティングの際にプレゼンの機会があり、賛同されたことが自信となっている。

【事例6】



仕事の内容の親和性・即戦力

製造業

【業務内容】 バスのボディ溶接
【従業員数】 629人

出向期間190日
出向労働者3名

製造業

【業務内容】 ダンプ・クレーン車のフレーム溶接
【従業員数】 218人

取り組み内容

①マッチング～企業間調整	②企業間調整～契約	③契約～出向開始	④出向開始～
<ul style="list-style-type: none"> 人手不足の中、出向元から積極的に持ちかけられたもの 出向元の方が出向に関する知識が高く、出向元主導により、出向元の送り出し可能人員、当社での受け入れ可能人員を十分に精査・協議しながら調整を進めた 	<ul style="list-style-type: none"> 賃金、出向期間、住居関係、その他出向条件等を協議 出向元の総務・労働グループが出向先を視察し、工場内等を写真に撮るなど事業実態を把握し、出向候補者の説明に活用して、安心感の確保に努めた 	<ul style="list-style-type: none"> 助成金の出向実施計画届を作成する際、必須となる事項について厚労省のHPを参照 出向者は、ほとんどが出向経験者で慣れているが、不安材料があればいつでも相談できるような体制作り配慮 	<ul style="list-style-type: none"> 出向期間中も出向元の総務・労働グループの担当が出向先を訪問し、出向者のフォローを実施

出向元企業の声

【出向を成功させるために取り組んだこと】

- 出向労働者と強い信頼関係を維持することを重要視した。信頼関係が維持できなければ、出向も長続きせず成功できないものとする。そのため、コミュニケーションを多くとり、絆を深めた。
- 当社の出向労働者は、ほとんどが出向経験者で慣れているということもあり、当社では特に教育訓練等は実施していなかったが、出向先で教育訓練を受けている。

【出向を行った感想・良かったこと】

- コロナの影響により仕事量が減少していた中、雇用過剰感があったため、仕事量を確保する必要があった。出向を活用し、**出向者分の仕事量を他の従業員に回せたことは大きな利点であった。**
- 出向先の仕事が、ダンプ・クレーン車の溶接で、当社の行うバスのボディ溶接と仕事が類似していたので、出向者としては仕事がやり易かった。
- 類似する仕事ではあったが、使用する機械、塗料など異なる点もあり、学ぶことが多かった。**出向元に戻って学んだことを活用していることが他の従業員の良い刺激となっており、当社としてもプラスとなった。**
- 出向先での評価は、勤勉家で仕事を支援してもらい、感謝しているとのことだった。出向期間を延長してもらいたいほどだと出向先から言われた。

出向先企業の声

【出向を成功させるために取り組んだこと】

- 出向元が主導する形で、事前に出向労働者に適した作業内容等の情報を提供してもらった。当社はそれを基に、出向者の能力等に適したところの配置等の作業計画を組んだ。
- 出向労働者の受入初日に、危険を伴う溶接の安全対策等、十分教育訓練を行った（技術はすでにありと判断した）。他の作業等については、その都度相談や、実戦での訓練を行った。
- 当社はダンプ等のフレームの溶接を行い、出向元はバスのボディ溶接を行っていた。**同じ溶接でも仕事の内容が異なるため、両社の技術能力開発につながった。**

【出向を行った感想・良かったこと】

- 助成金を活用し、援助を受けられたこと。
- **人手不足が解消されたこと。**当社は、車両関係の溶接が可能な者を希望していたところ、出向元から話があり、希望に合った人材を確保できた。
- 出向労働者を受け入れたことにより、**他の従業員に良い刺激を与えられた。**

出向労働者の声

【教育訓練に関すること】

- 仕事で分からないところは気軽に相談でき、親切に指導してくれた。
- 出向初日に、溶接に関する危険性や安全対策の教育訓練をしっかり受けた。その他細部については、その都度相談や実戦で訓練を受けた。

【出向を経験した感想】

- 出向制度を活用してもらい、**仕事が続けられたことに感謝している。**出向元の総務・労働グループの方々には、類似する仕事を探してもらおうなど苦勞を掛けたが、この制度に助けられたと思う。
- **同じ溶接でも、使用する機械、塗料が異なり、技術面で得るところが多かったため、良い経験だったと思う。**

【事例 7】 異なる分野への出向

生活関連サービス業、娯楽業

【業務内容】 旅行業のカウンター接客
(部門責任者)
【従業員数】 95人

出向期間 1年
出向労働者 1名

サービス業

【業務内容】 調査事務、プレゼン等
【従業員数】 2人

取り組み内容

①マッチング～企業間調整	②企業間調整～契約	③契約～出向開始	④出向開始～
<ul style="list-style-type: none"> ・ 出向先の同意取付 ・ 受入可能人数の確認 ・ 出向先での業務内容の確認 ・ 賃金負担割合の確認 ・ 出向者の選定着手 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出向者の同意取付 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出向者への事前研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出向者の状況や意見を随時確認。

出向元企業の声

【出向を成功させるために取り組んだこと】

- 出向先との調整において、業務内容にプレゼン業務があったことから、最低限のスキル付与のため、出向者には出向前に2日間、パワーポイントに絞ったパソコン講習を受けてもらった。

【出向を行った感想・良かったこと】

- 出向者が異なる業種、異なる職務内容を体験することができ、**これまでの業務について、今までと異なる視点を持つことができるようになった。**
- 出向者が今までとジャンルの異なる人脈、新たな人間関係を構築することができたことで、出向終了の際は、**当社での活動にも寄与するところが大きい、と期待している。**

出向先企業の声

【出向を成功させるために取り組んだこと】

- とにかく安心してもらうことが大切と考え、出向開始前から出向者と様々な手段（対面、電話、メール）でコミュニケーションをとり、職務内容を説明したり、本人の率直な気持ちを聞いたりして、不安解消に努めた。
- 出向中も、常に出向者と意見交換を欠かさないように努めている。また、業務で出向元と連絡し合っているが、連絡係を出向者をお願いして、出向元にも本人の状況が分かるようにしている。

【出向を行った感想・良かったこと】

- 新たな人材を求めて求人を出すことなく、**最小限の業務研修・業務引継で十全に業務を行ってくれる人材を確保できた。**

出向労働者の声

【企業からの支援】

- 出向開始前から、出向元、出向先ともに業務内容や出向先の様子等、情報をこまめに伝えてくれた。
- 出向開始後も同様であり、また出向元とも定期的に連絡を取り合えるため、不安はない。

【出向を通じて得られた職業能力等】

- 一番大きなものは人間関係、新しい人脈であると思っている。出向元での勤務だけでは得られなかった、様々な業界の幅広い人脈が作れたことは、出向終了後も必ず役に立つと思う。

【出向を経験した感想】

- 出向元での勤務だけでは体験できなかった、非常に貴重な経験をさせてもらっている。
- 出向元、出向先がともに不安解消に努めてくれたため、**非常に楽しく勤務できている。**
- 出向終了後もこの出向で得たものを大切にしたい。

【事例8】 短期間の人材ニーズの充足

生活関連サービス業、娯楽業

【業務内容】 バスガイド
【従業員数】 58名

出向期間 1年
出向労働者 1名

医療、福祉業

【業務内容】 給食調理補助
【従業員数】 27人

取り組み内容

① マッチング～企業間調整	② 企業間調整～契約	③ 契約～出向開始	④ 出向開始～
<ul style="list-style-type: none"> 産業雇用安定センターにマッチング紹介を依頼し、以下の事項を提示 ○求めるスキルや特性および人物像 ○職場環境および業務内容 ○勤務に関する諸条件 	<ul style="list-style-type: none"> 出向元、出向先間で出向条件、就業規則、出向期間等を協議 ・支障となる問題もなく順調に調整を終えて契約締結 	<ul style="list-style-type: none"> 出向開始に向けての職場見学および注意事項等のレクチャー 	<ul style="list-style-type: none"> 園長による個別面談（不定期）

出向先企業の声

【出向を成功させるために取り組んだこと】 （出向前）

- 出向者に従事してもらう仕事（調理補助）は特別の経験や技術を要するものではないため、人柄を最重要視し、マッチングに際して求める人物像を具体的（性別、年齢、性格等）に提示。
- 出向者の不安解消のため、事前に職場見学を実施し、仕事の進め具合と一緒に働くこととなるスタッフの人柄などを多少なりとも見てもらった。

（出向後）

- スタッフ全員が出向者にフレンドリーに接し、厳しくも親切丁寧に仕事内容を教え、サポート。

【出向を行った感想・良かったこと】

- 産休による人員不足を解消できた。
- 産業雇用安定センターから具体的な出向元事業所の紹介を受け、順調に協議・調整が進み、短期間で出向実施にこぎつけることができた。
- 求めていた人物像に合致した人材を迅速に確保できた。
- 人材不足と人材余剰をマッチングで解消して雇用を安定させられるうえ、助成金も受給できる良い制度だと思う。産休という一時的な人員不足に対して、期間限定での在籍型出向は有用であると感じている。
- コロナ禍の影響もあって人材確保は容易であると考えていたが、実際には短期間で確保するのは難しい。産業雇用安定センターにサポートしていただいたお陰であるが、想定していた以上の効果があったと思う。効果とは、短期間での適材確保、業務効率の維持、出向者の素直で陽気な人柄がもたらす給食スタッフへの刺激、好影響である。

出向労働者の声

【出向を通じて得られた職業能力等】

- 給食スタッフの方々に教えてもらった調理技術などは私生活でも役立たいと思っている。また、調理関連の資格取得にも興味が湧いてきたので、機会をつくってチャレンジしてみたいと思っている。

【出向前の不安とその後の変化】

（出向前）

- こども園という職場の環境や雰囲気、調理補助の仕事内容等が具体的にイメージできなかったため、多少の不安はあった。

（出向後）

- 事前の見学で安心感に変わった。
- 実際に出向してみて、和気あいあいとした職場の雰囲気とスタッフのみんなの優しさに触れ、今ではとても楽しく働いている。子どもたちとの直接的な接触はないが、こども園ならではの活気と騒々しさが心地よいBGMになっている。

【出向を経験した感想】

- 在籍型出向ということで、出向期間終了後は元の会社に復職できることが約束されているので安心して働いている。
- 出向先では調理補助担当ということで、厨房の掃除や食器の洗浄、野菜等の食材のカット、配膳などの仕事をしている。今までとは全く違う仕事なので最初は戸惑ったが、周囲の人たちはとても優しく、親切に教えてくれている。いい職場で働けて本当にうれしい。出向はもちろん初めてだが、良い経験になっていると思う。
- 仕事内容は日常生活の延長程度と考えていたが、給食準備では厳しい衛生管理、手際の良さ、チームワークが求められるので、そうした部分を学びたいと思っている。

【事例9】 出向労働者の経験向上・能力開発

生活関連サービス業、娯楽業

【業務内容】 旅行代理店での事務全般
 【従業員数】 6名

出向期間270日
 出向労働者1名

情報通信業

【業務内容】 事務補助、HP作成等
 【従業員数】 7人

取り組み内容

① マッチング～企業間調整	② 企業間調整～契約	③ 契約～出向開始	④ 出向開始～
<ul style="list-style-type: none"> 社労士より、在籍型出向及び産業雇用安定センターの案内を受ける 同センターに求人を登録し、出向元の紹介を複数受け選択 今後も出向者受入ニーズはあり、同センターに登録中（グループ企業間出向も検討中） 	<ul style="list-style-type: none"> 面接実施 出向元との調整（業務内容、能力開発等） 	<ul style="list-style-type: none"> 契約の締結 	<ul style="list-style-type: none"> 教育訓練をOJTとして実施中 出向元による出向者へのフォロー

出向先企業の声

【出向を成功させるために取り組んだこと】

- 社労士に相談し、産業雇用安定センターと産業雇用安定助成金を案内してもらい、同センターに登録を行った。（何社か紹介してもらった中で、候補者を決めることができた。）
- 出向者への教育訓練としては、新卒と同様のカリキュラムで、HP作成に関連するデザインソフトの習得をOJT（1～3ヶ月）として行っている。
- 上記教育内容については、契約前の調整時点で出向元と今後のキャリア形成を踏まえ業務内容と合わせて協議を行った。HP作成のスキルは、出向元に戻ってからでも役に立つという点で一致した（従来HP作成は外部委託していたが、内作が可能となる見込み）。

【出向を行った感想・良かったこと】

- デジタルサイネージを中心としたコンテンツ作成が主な事業で、コロナ禍においても一定の受注があり、人材確保の必要性を感じていた。在籍型出向により受け入れることで、**人手不足の解消に有効であった。**
- 出向者は自身の能力開発にも積極的であり、当社から新規事業を任せられるほどになっている。
- **受入れ期間が9ヶ月間の限定であっても、有益であると認識している。**
- 出向という制度は、**一般の中途採用と異なり、会社からの紹介であり、その会社での仕事ぶりや評価も踏まえ判断できる点で、安心感がある。**
- 一方、受入にあたっては「預かり物」という感覚で気を遣うこともある。
- 産業雇用安定助成金による支援は、受入企業にも支給されるため、大変有益。

出向労働者の声

【企業や公的機関からの支援】

- 出向中も、交通費は出向元の社長から手渡していただいております。その際や昼食時に色々話ができおり、こういった支援は安心感につながりありがたいと感じる。

【出向を通じて得られた職業能力等】

- デザイン制作用ソフトの使用にも慣れてきたし、**HP作成のスキルは、出向元でも役に立つと考えている。**従来、出向元では、HP作成は外部委託していたが、内作で可能となる。

【出向を経験した感想】

- **休業が続く中、働きたい、仕事がしたいという気持ちが強かった。**出向に不安はあったが、休業の状態よりも仕事をしている方が充実しており、チャレンジして良かったと思う。他の方にも薦められる。
- 出向先において、新規事業の立ち上げに関わらせていただいている。自分も興味を持てるし、**今後の役に立つと思う。**